RKU

2016
履修要綱

社会学部

流通経済大学

目　　次

学部の教育方針 …… 2

入学年度別教育課程表①～㉘ …… 5

履修の手引 …… 35

1．セメスター制 …… 37

2．単　位　制 …… 37

3．最高履修単位数 …… 37

4．3学年進級に必要な単位数 …… 38

5．卒　　業 …… 38

6．科目の履修 …… 39

7．単位の修得 …… 39

8．休講と補講 …… 40

9．出席調査 …… 40

10．災害時の授業 …… 40

11．試　　験 …… 40

12．不正行為 …… 41

13．成績評価 …… 41

14．ＧＰＡ …… 42

15．単位の認定 …… 43

16．他キャンパス受講 …… 45

17．キャンパス変更（スポーツ健康科学部は除く） …… 45

18．履修の方法【2013年度～2016年度の入学生】 …… 46

19．履修の方法【2009年度～2012年度の入学生】 …… 54

20．卒業に必要な総単位数 …… 62

21．卒業論文提出に関する注意事項 …… 66

22．資格の取得について …… 67

23．履修モデル …… 84

社会学部の教育方針

社会学部では、社会学的な素養を十分に身に付けた高度の教養人の養成を目的とする（学則第４条の２）

現代社会は、経済が世界的規模で動き、科学技術の進歩が日々の生活の利便性をどんどん高めています。そのように社会での関係が広域化し、複雑化する一方で、私たちのまわりには、これまでにはなかった問題が新たに発生したり、あるいはこれまではそれほどでもなかった問題が深刻になってきたりしています。地球の裏側の経済的出来事がすぐに身近な生活に影響します。ある国のある地域での小さなトラブルが、大きな国際紛争にも発展します。たとえば、生活環境の地域間格差の問題、少子高齢化の問題、少数者への差別や女性の社会参加の問題などは、日本だけの問題ではありません。今日を生きる私たちにとって、世界の出来事や問題は私たち自身の生き方につながっており、また、私たち自身の問題や生き方は、世界全体の人々の問題や生き方にもつながっていることを意識することが必要でしょう。

流通経済大学社会学部では、広く、人間社会のあり方や人間社会の出来事に着目し、さまざまな社会集団や組織、国や地域の歴史や文化、人間やその関係の在り方、価値観の多様性などについて学びます。社会学部全体の指導上の基本姿勢として「理論と実践の結合」「大学と社会の交流」「学問と奉仕（ボランティア活動）の統一」という柱をかかげ､社会学の基礎から現実の社会に関わる最新の社会学および関連科目を展開しています。学生のみなさんが、理論をよく学び、身近なところから問題を発見し、それに関する情報を科学的方法で収集し分析し、得られた結果から自分たちの生きる社会をより良くするための手掛かりをつかみ実践することを大切にしています。

本学社会学部では、それを社会学科と国際観光学科の二学科体制で推進していますので、以下にあげた両学科の指導方針を熟読してください。

社会学科の教育方針

教育目的（流通経済大学・学則・第４条の２）

社会学科では、産業、社会、文化、地域、教育、福祉等にかかわる諸問題に適切に対応しうる実証的な思考能力と行動力を備えた人材の養成を目的とする。

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

社会学科は、学部の教育目的の下、「産業、社会、文化、地域、教育、福祉等にかかわる諸問題に適切に対応しうる実証的な思考能力と行動力を備えた人材」を育成することを目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（社会学）の学位を授与する。

1．社会学を基盤とした実践的･実証的な社会科学の知識･技能、またその成果を社会に還元しようとする姿勢（実学主義）
2．歴史､哲学､文学､自然科学などの基礎的教養科目を幅広く受講し､多様な視点からものごとを判断する能力（教養教育）、また専門的知識を体系的に受容する姿勢
3．生涯学び成長し続けていくための土台を築き、卒業後のキャリアを自ら構想する能力（キャリア教育）
4．実習・実験に基づいた社会学、心理学、社会福祉学、保育学のいずれかひとつ、または複数についての専門的知識・技能（実践主義）
5．知識やスキルの活用能力、批判的・論理的思考力、表現能力、コミュニケーション能力、および自ら問題を発見し解決を試みる能動的な姿勢（少人数教育）

カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

社会学科では、学部の教育目的を達成するために、以下のような方針でカリキュラムを編成している。

1．社会学を基盤とし、実践的・実証的な社会科学の知識・技能を身につけることができるように社会学の基礎・調査法等の科目を配置する。
2．専門的知識を体系的に学ぶための基盤を身につけることができるように、歴史、哲学、文学、自然、健康などの教養科目（基礎・発展）・語学科目・情報処理科目・スポーツ健康科目を幅広く配置する。

3．生涯学び成長し続けていくための土台を築くことができるように、キャリア科目、インターンシップ科目を配置する。
4．社会学、心理学、社会福祉学、保育学の領域において、専門的な知識･技能を身につけることができるように、専門科目（講義）及び実習・演習科目を配置する。
5．コミュニケーション能力を育成するとともに、自ら問題を発見し解決を試みる能動的な姿勢をもつことができるように、１年次から４年次まで演習を配置する。また、卒業論文を課すことによって、各自の学習成果を社会に還元できるようにする。
6．人間・社会・自然に対する理解を深め、豊かな教養を育むために、他学部・他学科の科目を配置する。

国際観光学科の教育方針

教育目的（流通経済大学・学則・第４条の２）

国際観光学科では、観光にかかわる生活、産業、社会、文化などの分野で、柔軟な思考能力と専門的な知識を備えて活躍する国際的人材の養成を目的とする。

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

国際観光学科は、学部の教育目的の下、「観光にかかわる生活、産業、社会、文化などの分野で、柔軟な思考能力と専門的な知識を備えて活躍する国際的人材を養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識、能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（社会学）の学位を授与する。
1．観光関連サービス、地域振興、国際交流について観光学および社会学的視点からの基礎的理解
2．観光関連の多様なサービスや地域社会、国際交流の各現場での体験学習を通し得られる、円滑な人的交流のための基礎知識、技能、態度
3．国際人として必要な英語によるコミュニケーション能力
4．ネットワーク社会において必要不可欠な情報処理能力
5．国際間、地域間、地域内等における問題発見、解決能力を高めるために必要な、歴史、文化、地理的側面から幅広い視野
6．新しい観光に柔軟に対応できる創造力

カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

国際観光学科では、学部の教育目的を達成するために、以下のような方針でカリキュラムを編成している。
1．観光学および社会学的視点から、観光関連サービス、地域振興、国際交流の三つのモデルを配置する。
2．観光関連の多様なサービス、地域社会、国際交流現場における体験学習として、観光研修、観光インターンシップ、インターンシップ（海外）、海外研修を配置する。
3．英語によるコミュニケーション能力を高めるために、１年次に観光英語Ⅰ・Ⅱを配置するとともに、英語 TA Ⅰ・Ⅱ、TB Ⅰ・Ⅱ、TC Ⅰ・Ⅱ、TD Ⅰ・Ⅱ（必修）を配置し、さらに能力を高めたい学生には、英語 TE Ⅰ・Ⅱ、TF Ⅰ・Ⅱ、TG Ⅰ・Ⅱ（選択必修）を配置する。
4．観光現場での実践的な情報処理能力を高めるために、情報基礎Ⅰ・Ⅱを必修とし、ほかに実務にかかわる資格取得を目指し旅行業務論を配置する。
5．観光の専門的知識に対する理解力、問題の発見、解決能力を高めるために、４つの領域の教養基礎科目を配置する。そして、将来のキャリア形成に資する科目を配置する。
6．新しい観光に柔軟に対応できる創造力を身につけられるように、1年次から4年次までの復習科目を配置し、各自の4年間の履修の集大成を公開するものとして卒業論文を課す。

入 学 年 度 別 教 育 課 程 表

2016年度入学生

社会学科　入学年度別教育課程表

①

		1学年		2学年		3学年		4学年		摘要	
		1学年	単位数	2学年	単位数	3学年	単位数	4学年	単位数		
必修科目		1年演習(ゼミ)	4	2年演習(ゼミ)	4	3年演習(ゼミ)	4	4年演習(ゼミ)	4	16単位	必修科目30単位を履修しなければならない。
				リベラルアーツ入門	2					2単位	
		情報基礎Ⅰ・Ⅱ	各2							4単位	
		人間と社会	2					卒業論文	4	8単位	
		社会学基礎	2								
選択必修科目	外国語科目(注1)	英語AⅠ・AⅡ 英語BⅠ・BⅡ ドイツ語AⅠ・AⅡ ドイツ語BⅠ・BⅡ フランス語AⅠ・AⅡ フランス語BⅠ・BⅡ 中国語AⅠ・AⅡ 中国語BⅠ・BⅡ 朝鮮(韓国)語AⅠ・AⅡ 朝鮮(韓国)語BⅠ・BⅡ スペイン語AⅠ・AⅡ スペイン語BⅠ・BⅡ ポルトガル語・ブラジル語AⅠ・AⅡ ポルトガル語・ブラジル語BⅠ・BⅡ	各1	英語CⅠ・CⅡ 英語DⅠ・DⅡ 英語EⅠ・EⅡ ドイツ語CⅠ・CⅡ ドイツ語DⅠ・DⅡ ドイツ語EⅠ・EⅡ フランス語CⅠ・CⅡ フランス語DⅠ・DⅡ フランス語EⅠ・EⅡ 中国語CⅠ・CⅡ 中国語DⅠ・DⅡ 中国語EⅠ・EⅡ 朝鮮(韓国)語CⅠ・CⅡ 朝鮮(韓国)語DⅠ・DⅡ 朝鮮(韓国)語EⅠ・EⅡ スペイン語CⅠ・CⅡ スペイン語DⅠ・DⅡ スペイン語EⅠ・EⅡ ポルトガル語・ブラジル語CⅠ・CⅡ ポルトガル語・ブラジル語DⅠ・DⅡ ポルトガル語・ブラジル語EⅠ・EⅡ	各1						1ケ国語を選択し、10単位を履修しなければならない。
		(外)日本語AⅠ・AⅡ (外)日本語BⅠ・BⅡ	各1	(外)日本語CⅠ・CⅡ (外)日本語DⅠ・DⅡ (外)日本語EⅠ・EⅡ	各1						
	キャリア科目 キャリア形成	RKU入門	1	RKU実践					各1	6単位以上	
		キャリアデザイン		キャリアマネジメント	各2						
				キャリアカウンセリング					2		
						(外)ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ			各1		
		海外研修							2		
		資格取得	(別記1)						各1		
			(別記2)						各2		
			(別記3)						各4		
		(特)キャリア特講(基礎)	2	(特)キャリア特講(発展)	2	(特)キャリア特講(職業)	2				
		(特)グローバルコミュニケーション(基礎)	1	(特)グローバルコミュニケーション(発展)	1						
	社会・企業研究			日本通運寄付講座 業界研究特別講座		野村證券寄付講座		全国通運連盟寄付講座 ダイレクトマーケティング実践講座	各2		
				インターンシップ基礎		インターンシップ			各2		
		インターンシップ(海外)							2		
	進路支援	キャリア基礎(数理)		キャリア基礎(言語)	各1						
		キャリア発展(数理)		キャリア発展(言語)	各1						
						職業選択論			2		
	教養基礎科目 言葉や思想に関する領域	哲学Ⅰ・Ⅱ 言語論Ⅰ・Ⅱ (外)日本の思想		論理学Ⅰ・Ⅱ 現代文章論Ⅰ・Ⅱ		教育学Ⅰ・Ⅱ イスラム学Ⅰ・Ⅱ		心理学Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ	各2	24単位以上	
	社会や健康に関する領域	社会学Ⅰ・Ⅱ 生涯スポーツの理論と実技 外国文化論(アジア)Ⅰ・Ⅱ		人文地理学Ⅰ・Ⅱ スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ 外国文化論(西欧)Ⅰ・Ⅱ		経済学Ⅰ・Ⅱ 健康科学論Ⅰ・Ⅱ (外)日本の現在		法学Ⅰ・Ⅱ 日本文化論Ⅰ・Ⅱ (外)日本事情			
	自然や環境に関する領域	数学Ⅰ・Ⅱ 物質科学Ⅰ・Ⅱ		地球科学Ⅰ・Ⅱ 生命科学Ⅰ・Ⅱ		生態学Ⅰ・Ⅱ 自然地理学Ⅰ・Ⅱ		自然環境論Ⅰ・Ⅱ			
	歴史や文学に関する領域	文学(日本文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(西洋史)Ⅰ・Ⅱ		文学(外国文学)Ⅰ・Ⅱ 民俗学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(日本史)Ⅰ・Ⅱ 考古学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(東洋史)Ⅰ・Ⅱ 美術史Ⅰ・Ⅱ			
	専門基礎科目 社会学重点科目			地域社会学 経済社会学		産業社会学 社会階層論		マス・コミュニケーション論 社会システム論	各2	4単位以上	36単位以上
	社会学科基本科目	社会調査法 社会調査実践法 心理学概論Ⅰ・Ⅱ		社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ 保育原理Ⅰ・Ⅱ	各2					32単位以上	左記の科目の中から84単位以上を履修しなければならない(注2)
	方法論			計量社会学 質的調査法		社会統計学		社会データ解析	各2		
		ボランティア実践Ⅰ・Ⅱ	各1	ジェンダー論Ⅰ・Ⅱ 余暇社会学 地域空間論 現代組織論 市民社会政策論 地域づくりの社会学		開発社会学 教育社会学Ⅰ・Ⅱ 文化人類学 国際社会学 アジア社会論 就職の社会学		家族社会学Ⅰ・Ⅱ 法社会学Ⅰ・Ⅱ グローバル化と文化 社会病理学 防災社会論	各2		
				対人関係論 実践臨床心理学 性格心理学 適応の心理 発達心理学		児童心理学 社会心理学 産業組織心理学 学校心理学 親子関係の心理		臨床心理学概説 カウンセリング 学習心理学 行動分析学			
				老人福祉論 障害者福祉論 社会保障論Ⅰ・Ⅱ 保健医療		介護福祉論 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ 福祉運営管理 公的扶助論		児童・家庭福祉論 人口論 就労支援 福祉行財政と福祉計画論 医学一般			
				社会学特殊講義							
				家庭支援論 社会的養護 社会的養護内容 子どもの食と栄養	2 2 1 2	乳児保育	2				
	保育士関連科目	保育表現技術(体育)Ⅰ 保育表現技術(造形)Ⅰ 保育表現技術(音楽)Ⅰ・Ⅱ	各1	保育の心理学Ⅰ					2		
				保育の心理学Ⅱ					1		
				保育内容総論		保育課程論	2	保育実践演習	2		
				保育内容演習(健康)		保育相談支援	1				
				保育内容演習(人間関係)							
				保育内容演習(環境)	各1						
				保育内容演習(言葉)							
				保育内容演習(表現)							
				子どもの保健演習							
				子どもの保健Ⅰ・Ⅱ	各2						
				保育表現技術(体育)Ⅱ 保育表現技術(造形)Ⅱ		保育表現技術(音楽)Ⅲ	各1				
				障害児保育			2				

			1学年 1学年	単位数	2学年 2学年	単位数	3学年 3学年	単位数	4学年 4学年	単位数	摘要
選択科目	専門発展科目	社会調査士科目					社会調査実習	4			左記の科目の中から84単位以上を履修しなければならない（注２）
		社会福祉士関連科目			ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ 社会保障法Ⅰ・Ⅱ		社会福祉援助技術論（実践応用）Ⅰ・Ⅱ 社会福祉法概論Ⅰ・Ⅱ		介護概論	各2	
					社会福祉援助技術論（基礎理論）Ⅰ・Ⅱ 相談援助演習Ⅰ	各2	相談援助演習Ⅱ			2	
									相談援助演習Ⅲ	1	
							相談援助実習指導			3	
							相談援助実習			6	
		保育士関連科目			保育実習事前指導	1	保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ	各2	保育実習指導Ⅲ・Ⅳ	1	
									保育実習Ⅲ・Ⅳ	各2	
		認定心理士関連科目			心理データ解析 認知心理学 知覚心理学		健康心理学 心理学研究法Ⅰ・Ⅱ 消費者行動論Ⅰ・Ⅱ		家族心理学	各2	
							心理学実験演習			4	
	学部共通科目	経済学（注３）	統計学概論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ 西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 経済学史Ⅰ・Ⅱ 経済地理学Ⅰ・Ⅱ	各2	財政学Ⅰ・Ⅱ 日本経済論Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ 経済発展論Ⅰ・Ⅱ 情報経済論Ⅰ・Ⅱ		金融論Ⅰ・Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 公共経済学Ⅰ・Ⅱ 地域経済論Ⅰ・Ⅱ		産業組織論Ⅰ・Ⅱ マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 国際経済論Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ	各2	
		経営学（注４）	経営学総論Ⅰ・Ⅱ 簿記論Ⅰ・Ⅱ	各2	会計学Ⅰ・Ⅱ 流通論Ⅰ・Ⅱ Eビジネス論Ⅰ・Ⅱ 事業創造論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 原価計算論Ⅰ・Ⅱ 経営情報論 経営財務論Ⅰ・Ⅱ		管理会計論Ⅰ・Ⅱ ベンチャーファイナンス 財務会計論Ⅰ・Ⅱ 事業戦略論 マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 組織戦略論 経営情報システム論 流通政策論Ⅰ・Ⅱ		監査論Ⅰ・Ⅱ 上級簿記論Ⅰ・Ⅱ 上級財務会計論Ⅰ・Ⅱ ネットワーク経営論 国際小売論	各2	
		流通情報学（注５）	ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ 情報学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	グローバルロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ ヒューマンインターフェース論 ソフトウエア概論Ⅰ・Ⅱ 情報科学Ⅰ・Ⅱ		ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ 流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ 情報応用システム論 災害ロジスティクス論		ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ 通信ネットワーク概論 エルゴノミクス論	各2	
		法学（注６）	政治学Ⅰ・Ⅱ	各2	憲法Ⅰ・Ⅱ 経済法Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ		民法（財産法）Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ		商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 国際法Ⅰ・Ⅱ	各2	
		スポーツ健康科学（注７）			スポーツと政治 スポーツマネジメント論 スポーツとメディア スポーツ心理学 コーチング論		スポーツと国際協力 スポーツ社会学 発育発達老化の理論・実習 体力トレーニング論 健康づくりとジョギング		スポーツと法 スポーツと文化 スポーツ栄養学Ⅰ スポーツ外傷・障害と予防	各2	
	教養発展科目		社会倫理学Ⅰ・Ⅱ メディア論Ⅰ・Ⅱ		防災科学Ⅰ・Ⅱ 資源環境論Ⅰ・Ⅱ		現代女性論Ⅰ・Ⅱ			各2	
					英書講読Ⅰ・Ⅱ						
		外国語	英会話AⅠ・AⅡ	各1	英会話CⅠ・CⅡ	各1	英会話EⅠ・EⅡ			各1	
			留学英会話Ⅰ・Ⅱ		留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ（注８）						
			選択英語初級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語初級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語初級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語初級Ⅰ・Ⅱ		選択中国語初級Ⅰ・Ⅱ		
					選択英語中級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語中級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語中級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語中級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語中級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語中級Ⅰ・Ⅱ		
							選択英語上級Ⅰ・Ⅱ 選択フランス語上級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語上級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語上級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語上級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語上級Ⅰ・Ⅱ		
		体育	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ・Ⅱ								
	教職科目		教師論 教育原理 教育心理学 教育社会学概論		教育課程論 特別活動論 生徒指導論 教育相談 道徳教育論		視聴覚教育 教育方法学			各2	
卒業に必要な単位											124単位

（外）は外国人留学生の科目を示す。
（特）印の科目は特別奨学生の指定科目でそれ以外の学生は受講できません。
（注１）　１学年２学年を通じて同じ外国語を履修しなければならない。　日本語を母語としない外国人留学生は、１学年で（外）日本語ＡⅠ・ＡⅡ、（外）日本語ＢⅠ・ＢⅡ、２学年で（外）日本語ＣⅠ・ＣⅡ、（外）日本語ＤⅠ・ＤⅡ、（外）日本語ＥⅠ・ＥⅡを履修しなければならない。
（注２）　この欄の単位を合計すると、6 単位以上＋ 24 単位以上＋ 4 単位以上＋ 32 単位以上＝ 66 単位以上となり、84 単位にはならない。　不足分の 18 単位は、この欄の授業科目から自由に選択して履修すること。
（注３）　この欄の科目および教養基礎科目の［経済学Ⅰ・Ⅱ］から 20 単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「経済学」を修了した旨の認定を行う。
（注４）　この欄から 20 単位以上修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻［経営学］を修了した旨の認定を行う。
（注５）　この欄から 20 単位以上修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻［流通情報学］を修了した旨の認定を行う。
（注６）　この欄から 20 単位以上修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻［法学］を修了した旨の認定を行う。
（注７）　この欄から 20 単位以上修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻［スポーツ健康科学］を修了した旨の認定を行う。
（注８）　外国人留学生は「留学英会話Ⅰ・Ⅱ、留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。

	ポイント	認定単位数	資格・検定試験の種類
別記１	10	１単位	秘書技能検定準１級　秘書技能検定１級 簿記検定３級　販売士２級　秘書技能検定２級　話しことば検定３級　話しことば検定２級　日商ＰＣ（文書作成）３級　日商ＰＣ（データ活用）３級 日商ＰＣ（プレゼン資料作成）３級　MOS（スペシャルリストレベル）/MCAS（Word）　MOS（スペシャルリストレベル）/MCAS（Excel）　漢字検定準２級　ドットコムマスター BASIC
別記２	20	２単位	宅地建物取引士　簿記検定１級　販売士１級　簿記検定２級　国内旅行業務取扱管理者　話しことば検定１級　福祉住環境コーディネイター２級　日商ＰＣ（文書作成）２級　日商ＰＣ（データ活用）２級 日商ＰＣ（プレゼン資料作成）２級　経済学検定（Ｂ /B+ ランク）　経済学検定（ミクロ・マクロ）Ａランク　ファイナンシャルプランナー３級　IT パスポート　漢字検定２級　医療事務技能審査試験　ドットコムマスターシングルスター
別記３	40	４単位	社会保険労務士　行政書士　司法書士　公認会計士　税理士（1 科目のみ）　通関士　初級システムアドミニストレーター　総合旅行業務取扱管理者　基本情報技術者試験　ファイナンシャルプランナー２級　経済学検定（Ａランク以上）

社会学科　入学年度別教育課程表

		1学年		2学年		3学年		4学年		摘要	
		1学年	単位数	2学年	単位数	3学年	単位数	4学年	単位数		
必修科目		1年演習(ゼミ)	4	2年演習(ゼミ)	4	3年演習(ゼミ)	4	4年演習(ゼミ)	4	16単位	必修科目30単位を履修しなければならない。
				リベラルアーツ入門	2					2単位	
		情報基礎Ⅰ・Ⅱ	各2							4単位	
		人間と社会	2					卒業論文	4	8単位	
		社会学基礎	2								
選択必修科目	外国語科目(注1)	英語AⅠ・AⅡ 英語BⅠ・BⅡ ドイツ語AⅠ・AⅡ ドイツ語BⅠ・BⅡ フランス語AⅠ・AⅡ フランス語BⅠ・BⅡ 中国語AⅠ・AⅡ 中国語BⅠ・BⅡ 朝鮮(韓国)語AⅠ・AⅡ 朝鮮(韓国)語BⅠ・BⅡ スペイン語AⅠ・AⅡ スペイン語BⅠ・BⅡ ポルトガル語・ブラジル語AⅠ・AⅡ ポルトガル語・ブラジル語BⅠ・BⅡ	各1	英語CⅠ・CⅡ 英語DⅠ・DⅡ 英語EⅠ・EⅡ ドイツ語CⅠ・CⅡ ドイツ語DⅠ・DⅡ ドイツ語EⅠ・EⅡ フランス語CⅠ・CⅡ フランス語DⅠ・DⅡ フランス語EⅠ・EⅡ 中国語CⅠ・CⅡ 中国語DⅠ・DⅡ 中国語EⅠ・EⅡ 朝鮮(韓国)語CⅠ・CⅡ 朝鮮(韓国)語DⅠ・DⅡ 朝鮮(韓国)語EⅠ・EⅡ スペイン語CⅠ・CⅡ スペイン語DⅠ・DⅡ スペイン語EⅠ・EⅡ ポルトガル語・ブラジル語CⅠ・CⅡ ポルトガル語・ブラジル語DⅠ・DⅡ ポルトガル語・ブラジル語EⅠ・EⅡ	各1						1ケ国語を選択し、10単位を履修しなければならない。
		(外)日本語AⅠ・AⅡ (外)日本語BⅠ・BⅡ	各1	(外)日本語CⅠ・CⅡ (外)日本語DⅠ・DⅡ (外)日本語EⅠ・EⅡ	各1						
	キャリア科目 キャリア形成	RKU入門	1	RKU実践					各1	6単位以上	
		キャリアデザイン		キャリアマネジメント	各2						
				キャリアカウンセリング					2		
						(外)ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ			各1		
		海外研修							2		
		資格取得	(別記1)						各1		
			(別記2)						各2		
			(別記3)						各4		
		(特)キャリア特講(基礎)	2	(特)キャリア特講(発展)	2	(特)キャリア特講(職業)	2				
		(特)グローバルコミュニケーション(基礎)	1	(特)グローバルコミュニケーション(発展)	1						
	社会・企業研究			日本通運寄付講座 業界研究特別講座		野村證券寄付講座		全国通運連盟寄付講座 ダイレクトマーケティング実践講座	各2		
				インターンシップ基礎		インターンシップ			各2		
		インターンシップ(海外)							2		
	学科選定	ボランティア実践Ⅰ・Ⅱ	各1	就職の社会学	2						
				ボランティア活動論及び実習Ⅰ・Ⅱ	各2						
	進路支援	キャリア基礎(数理)		キャリア基礎(言語)	各1						
		キャリア発展(数理)		キャリア発展(言語)	各1						
						職業選択論			2		
						就職準備講座			1		
	教養基礎科目 言葉や思想に関する領域	哲学Ⅰ・Ⅱ 言語論Ⅰ・Ⅱ (外)日本の思想		論理学Ⅰ・Ⅱ 現代文章論Ⅰ・Ⅱ		教育学Ⅰ・Ⅱ イスラム学Ⅰ・Ⅱ		心理学Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ	各2	24単位以上	
	社会や健康に関する領域	社会学Ⅰ・Ⅱ 生涯スポーツの理論と実技 外国文化論(アジア)Ⅰ・Ⅱ		人文地理学Ⅰ・Ⅱ スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ 外国文化論(西欧)Ⅰ・Ⅱ		経済学Ⅰ・Ⅱ 健康科学論Ⅰ・Ⅱ (外)日本の現在		法学Ⅰ・Ⅱ 日本文化論Ⅰ・Ⅱ (外)日本事情			
	自然や環境に関する領域	数学Ⅰ・Ⅱ 物質科学Ⅰ・Ⅱ		地球科学Ⅰ・Ⅱ 生命科学Ⅰ・Ⅱ		生態学Ⅰ・Ⅱ 自然地理学Ⅰ・Ⅱ		自然環境論Ⅰ・Ⅱ			
	歴史や文学に関する領域	文学(日本文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(西洋史)		文学(外国文学)Ⅰ・Ⅱ 民俗学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(日本史)Ⅰ・Ⅱ 考古学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(東洋史) 美術史Ⅰ・Ⅱ			
	専門基礎科目 社会学重点科目			地域社会学 経済社会学		産業社会学 社会階層論		マス・コミュニケーション論 社会システム論	各2	4単位以上	36単位以上 左記の科目の中から84単位以上を履修しなければならない(注2)
	社会学科基本科目	社会調査法 社会調査実践法 心理学概論Ⅰ・Ⅱ		社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ 保育原理Ⅰ・Ⅱ	各2					32単位以上	
	方法論			計量社会学 質的調査法		社会統計学		社会データ解析	各2		
				ジェンダー論Ⅰ・Ⅱ 余暇社会学 地域空間論 現代組織論 市民社会政策論 地域づくりの社会学		開発社会学 教育社会学Ⅰ・Ⅱ 文化人類学 国際社会学 アジア社会論		家族社会学Ⅰ・Ⅱ 法社会学Ⅰ・Ⅱ グローバル化と文化 社会病理学 防災社会論	各2		
				対人関係論 実践臨床心理学 性格心理学 適応の心理 発達心理学		児童心理学 社会心理学 産業組織心理学 学校心理学 親子関係の心理		臨床心理学概説 カウンセリング 学習心理学 行動分析学	各2		
				老人福祉論 障害者福祉論 社会保障論Ⅰ・Ⅱ 保健医療		介護福祉論 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ 福祉運営管理 公的扶助論		児童・家庭福祉論 人口論 就労支援 福祉行財政と福祉計画論 医学一般			
				社会学特殊講義							
				家庭支援論 社会的養護 社会的養護内容 子どもの食と栄養	2 2 1 2	乳児保育	2				
	保育士関連科目	保育表現技術(体育)Ⅰ 保育表現技術(造形)Ⅰ 保育表現技術(音楽)Ⅰ・Ⅱ	各1	保育の心理学Ⅰ					2		
				保育の心理学Ⅱ					1		
				保育内容総論		保育課程論	2	保育実践演習	2		
				保育内容演習(健康)		保育相談支援	1				
				保育内容演習(人間関係)							
				保育内容演習(環境)	各1						
				保育内容演習(言葉)							
				保育内容演習(表現)							
				子どもの保健演習							
				子どもの保健Ⅰ・Ⅱ	各2						
				保育表現技術(体育)Ⅱ 保育表現技術(造形)Ⅱ		保育表現技術(音楽)Ⅲ	各1				
				障害児保育			2				

			1学年		2学年		3学年		4学年		摘要
			1学年	単位数	2学年	単位数	3学年	単位数	4学年	単位数	
選択科目	専門発展科目	社会調査士科目					社会調査実習	4			左記の科目の中から84単位以上を履修しなければならない（注２）
		社会福祉士関連科目			ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ 社会保障法Ⅰ・Ⅱ		社会福祉援助技術論（実践応用）Ⅰ・Ⅱ 社会福祉法概論Ⅰ・Ⅱ		介護概論	各2	
					社会福祉援助技術論（基礎理論）Ⅰ・Ⅱ 相談援助演習Ⅰ	各2	相談援助演習Ⅱ			2	
									相談援助演習Ⅲ	1	
							相談援助実習指導			3	
							相談援助実習			6	
		保育士関連科目			保育実習事前指導	1	保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ	各2	保育実習指導Ⅲ・Ⅳ 保育実習Ⅲ・Ⅳ	1 各2	
		認定心理士関連科目			心理データ解析 認知心理学 知覚心理学		健康心理学 心理学研究法Ⅰ・Ⅱ 消費者行動論Ⅰ・Ⅱ		家族心理学	各2	
							心理学実験演習			4	
		レクリエーション資格科目			キャンプ実習		スキー・スノーボード実習			各1	
					救急教育					2	
		旅行資格関連科目	旅行業務論（業法）Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（約款）Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（国内地理）		旅行業務論（国内料金）Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（海外地理）		旅行業務論（国際運賃・料金）Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（海外旅行実務）Ⅰ・Ⅱ		旅行業務論（GDS・中級）Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（GDS・上級）Ⅰ・Ⅱ	各1	
		観光学	観光学概論	2	観光社会学 観光教育論 観光地理 文化と観光 西欧文化論		観光行動論 観光交流論 観光人類学 観光心理学 アメリカ文化論		空間観光論 南欧文化論	各2	
	学部共通科目	経済学（注３）	統計学概論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ 西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 経済学史Ⅰ・Ⅱ 経済地理学Ⅰ・Ⅱ	各2	財政学Ⅰ・Ⅱ 日本経済論Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ 経済発展論Ⅰ・Ⅱ 情報経済論Ⅰ・Ⅱ		金融論Ⅰ・Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 公共経済学Ⅰ・Ⅱ 地域経済論Ⅰ・Ⅱ		産業組織論Ⅰ・Ⅱ マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 国際経済論Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ	各2	
		経営学（注４）	経営学総論Ⅰ・Ⅱ 簿記論Ⅰ・Ⅱ	各2	会計学Ⅰ・Ⅱ 流通論Ⅰ・Ⅱ Eビジネス論Ⅰ・Ⅱ 事業創造論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 原価計算論Ⅰ・Ⅱ 経営情報論 経営財務論Ⅰ・Ⅱ		管理会計論Ⅰ・Ⅱ ベンチャーファイナンス 財務会計論Ⅰ・Ⅱ 事業戦略論 マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 組織戦略論 経営情報システム論 流通政策論Ⅰ・Ⅱ		監査論Ⅰ・Ⅱ 上級簿記論Ⅰ・Ⅱ 上級財務会計論Ⅰ・Ⅱ ネットワーク経営論 国際小売論	各2	
		流通情報学（注５）	ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ 情報学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	グローバルロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ ヒューマンインターフェース論 ソフトウエア概論Ⅰ・Ⅱ 情報科学Ⅰ・Ⅱ		ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ 流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ 情報応用システム論 災害ロジスティクス論		ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ 通信ネットワーク概論 エルゴノミクス論	各2	
		法学（注６）	政治学Ⅰ・Ⅱ	各2	憲法Ⅰ・Ⅱ 経済法Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ		民法（財産法）Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ		商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 国際法Ⅰ・Ⅱ	各2	
		スポーツ健康科学（注７）			スポーツと政治 スポーツマネジメント論 スポーツとメディア スポーツ心理学 コーチング論		スポーツと国際協力 スポーツ社会学 発育発達老化の理論・実習 体力トレーニング論 健康づくりとジョギング		スポーツと法 スポーツと文化 スポーツ栄養学Ⅰ スポーツ外傷・障害と予防	各2	
	教養発展科目		社会倫理学Ⅰ・Ⅱ メディア論Ⅰ・Ⅱ		防災科学Ⅰ・Ⅱ 資源環境論Ⅰ・Ⅱ		現代女性論Ⅰ・Ⅱ			各2	
					歴史学特殊講義（東洋史） 英書講読Ⅰ・Ⅱ		歴史学特殊講義（日本史）Ⅰ・Ⅱ		歴史学特殊講義（西洋史）		
		外国語	英会話ＡⅠ・ＡⅡ	各1	英会話ＣⅠ・ＣⅡ	各1	英会話ＥⅠ・ＥⅡ			各1	
			留学英会話Ⅰ・Ⅱ		留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ（注８）						
			選択英語初級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語初級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語初級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語初級Ⅰ・Ⅱ		選択中国語初級Ⅰ・Ⅱ		
					選択英語中級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語中級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語中級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語中級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語中級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語中級Ⅰ・Ⅱ		
							選択英語上級Ⅰ・Ⅱ 選択フランス語上級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語上級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語上級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語上級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語上級Ⅰ・Ⅱ		
		体育	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ・Ⅱ								
	教職科目		教師論 教育原理 教育心理学 教育社会学概論		教育課程論 特別活動論 生徒指導論 教育相談 道徳教育論		視聴覚教育 教育方法学			各2	
卒業に必要な単位											124単位

（外）は外国人留学生の科目を示す。
（特）印の科目は特別奨学生の指定科目でそれ以外の学生は受講できません。
（注１）　１学年２学年を通じて同じ外国語を履修しなければならない。　日本語を母語としない外国人留学生は、１学年で（外）日本語ＡⅠ・ＡⅡ、（外）日本語ＢⅠ・ＢⅡ、２学年で（外）日本語ＣⅠ・ＣⅡ、（外）日本語ＤⅠ・ＤⅡ、（外）日本語ＥⅠ・ＥⅡを履修しなければならない。
（注２）　この欄の単位を合計すると、６単位以上＋４単位以上＋32単位以上＝66単位以上となり、84単位にはならない。　不足分の18単位は、この欄の授業科目から自由に選択して履修すること。
（注３）　この欄の科目および教養基礎科目の［経済学Ⅰ・Ⅱ］から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「経済学」を修了した旨の認定を行う。
（注４）　この欄から20単位以上修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻［経営学］を修了した旨の認定を行う。
（注５）　この欄から20単位以上修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻［流通情報学］を修了した旨の認定を行う。
（注６）　この欄から20単位以上修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻［法学］を修了した旨の認定を行う。
（注７）　この欄から20単位以上修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻［スポーツ健康科学］を修了した旨の認定を行う。
（注８）　外国人留学生は「留学英会話Ⅰ・Ⅱ、留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。

	ポイント	認定単位数	資格・検定試験の種類
別記１	10	１単位	秘書技能検定準１級　秘書技能検定１級 簿記検定３級　販売士２級　秘書技能検定２級　話しことば検定３級　話しことば検定２級　日商ＰＣ（文書作成）３級　日商ＰＣ（データ活用）３級 日商ＰＣ（プレゼン資料作成）３級　MOS（スペシャルリストレベル）/MCAS（Word）　MOS（スペシャルリストレベル）/MCAS（Excel）　漢字検定準２級　ドットコムマスター BASIC
別記２	20	２単位	宅地建物取引士　簿記検定１級　販売士１級　簿記検定２級　国内旅行業務取扱管理者　話しことば検定１級　福祉住環境コーディネイター２級 日商ＰＣ（文書作成）２級　日商ＰＣ（データ活用）２級 日商ＰＣ（プレゼン資料作成）２級　経済学検定（Ｂ/B+ ランク）　経済学検定（ミクロ・マクロ）Ａランク　ファイナンシャルプランナー３級　ITパスポート　漢字検定２級　医療事務技能審査試験　ドットコムマスターシングルスター
別記３	40	４単位	社会保険労務士　行政書士　司法書士　公認会計士　税理士（1科目のみ）　通関士　初級システムアドミニストレーター　総合旅行業務取扱管理者 基本情報技術者試験　ファイナンシャルプランナー２級　経済学検定（Ａランク以上）

社会学科　入学年度別教育課程表

		1学年		2学年		3学年		4学年		摘要	
		1学年	単位数	2学年	単位数	3学年	単位数	4学年	単位数		
必修科目		1年演習(ゼミ)	4	2年演習(ゼミ)	4	3年演習(ゼミ)	4	4年演習(ゼミ)	4	16単位	必修科目30単位を履修しなければならない。
				リベラルアーツ入門	2					2単位	
		情報基礎Ⅰ・Ⅱ	各2							4単位	
		人間と社会	2					卒業論文	4	8単位	
		社会学基礎	2								
選択必修科目	外国語科目(注1)	英語AⅠ・AⅡ 英語BⅠ・BⅡ ドイツ語AⅠ・AⅡ ドイツ語BⅠ・BⅡ フランス語AⅠ・AⅡ フランス語BⅠ・BⅡ 中国語AⅠ・AⅡ 中国語BⅠ・BⅡ 朝鮮(韓国)語AⅠ・AⅡ 朝鮮(韓国)語BⅠ・BⅡ スペイン語AⅠ・AⅡ スペイン語BⅠ・BⅡ ポルトガル語・ブラジル語AⅠ・AⅡ ポルトガル語・ブラジル語BⅠ・BⅡ	各1	英語CⅠ・CⅡ 英語DⅠ・DⅡ 英語EⅠ・EⅡ ドイツ語CⅠ・CⅡ ドイツ語DⅠ・DⅡ ドイツ語EⅠ・EⅡ フランス語CⅠ・CⅡ フランス語DⅠ・DⅡ フランス語EⅠ・EⅡ 中国語CⅠ・CⅡ 中国語DⅠ・DⅡ 中国語EⅠ・EⅡ 朝鮮(韓国)語CⅠ・CⅡ 朝鮮(韓国)語DⅠ・DⅡ 朝鮮(韓国)語EⅠ・EⅡ スペイン語CⅠ・CⅡ スペイン語DⅠ・DⅡ スペイン語EⅠ・EⅡ ポルトガル語・ブラジル語CⅠ・CⅡ ポルトガル語・ブラジル語DⅠ・DⅡ ポルトガル語・ブラジル語EⅠ・EⅡ	各1							1ケ国語を選択し、10単位を履修しなければならない。
		(外)日本語AⅠ・AⅡ (外)日本語BⅠ・BⅡ	各1	(外)日本語CⅠ・CⅡ (外)日本語DⅠ・DⅡ (外)日本語EⅠ・EⅡ	各1						
	キャリア科目 キャリア形成	RKU入門	1	RKU実践					各1	6単位以上	
		キャリアデザイン		キャリアマネジメント	各2						
				キャリアカウンセリング					2		
						(外)ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ			各1		
		海外研修							2		
		資格取得	(別記1)						各1		
			(別記2)						各2		
			(別記3)						各4		
		(特)キャリア特講(基礎)	2	(特)キャリア特講(発展)	2	(特)キャリア特講(職業)	2				
		(特)グローバルコミュニケーション(基礎)	1	(特)グローバルコミュニケーション(発展)	1						
	社会・企業研究			日本通運寄付講座Ⅰ・Ⅱ		野村證券寄付講座 業界研究特別講座		全国通運連盟寄付講座 ダイレクトマーケティング実践講座	各2		
				インターンシップ基礎		インターンシップ			各2		
		インターンシップ(海外)							2		
	学科選定	ボランティア実践Ⅰ・Ⅱ	各1	就職の社会学	2						
				ボランティア活動論及び実習Ⅰ・Ⅱ	各2						
	進路支援	キャリア基礎(数理)		キャリア基礎(言語)	各1						
		キャリア発展(数理)		キャリア発展(言語)	各1						
						職業選択論			2		
						就職準備講座			1		
	教養基礎科目 言葉や思想に関する領域	哲学Ⅰ・Ⅱ 言語論Ⅰ・Ⅱ (外)日本の思想		論理学Ⅰ・Ⅱ 現代文章論Ⅰ・Ⅱ		教育学Ⅰ・Ⅱ イスラム学Ⅰ・Ⅱ		心理学Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ	各2	24単位以上	
	社会や健康に関する領域	社会学Ⅰ・Ⅱ 生涯スポーツの理論と実技 外国文化論(アジア)Ⅰ・Ⅱ		人文地理学Ⅰ・Ⅱ スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ 外国文化論(西欧)Ⅰ・Ⅱ		経済学Ⅰ・Ⅱ 健康科学論Ⅰ・Ⅱ (外)日本の現在		法学Ⅰ・Ⅱ 日本文化論Ⅰ・Ⅱ (外)日本事情			
	自然や環境に関する領域	数学Ⅰ・Ⅱ 物質科学Ⅰ・Ⅱ		地球科学Ⅰ・Ⅱ 生命科学Ⅰ・Ⅱ		生態学Ⅰ・Ⅱ 自然地理学Ⅰ・Ⅱ		自然環境論Ⅰ・Ⅱ			
	歴史や文学に関する領域	文学(日本文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(西洋史)		文学(外国文学)Ⅰ・Ⅱ 民俗学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(日本史)Ⅰ・Ⅱ 考古学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(東洋史) 美術史Ⅰ・Ⅱ			
	専門基礎科目 社会学重点科目			地域社会学 経済社会学		産業社会学 社会階層論		マス・コミュニケーション論 社会システム論	各2	4単位以上	36単位以上
	社会学科基本科目	社会調査法 社会調査実践法 心理学概論Ⅰ・Ⅱ		社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ 保育原理Ⅰ・Ⅱ	各2					32単位以上	左記の科目の中から84単位以上を履修しなければならない(注2)
	方法論			計量社会学 質的調査法		社会統計学		社会データ解析	各2		
				ジェンダー論Ⅰ・Ⅱ 余暇社会学 地域空間論 現代組織論 市民社会政策論 地域づくりの社会学		開発社会学 教育社会学Ⅰ・Ⅱ 文化人類学 国際社会学 アジア社会論		家族社会学Ⅰ・Ⅱ 法社会学Ⅰ・Ⅱ グローバル化と文化 社会病理学 防災社会論	各2		
				対人関係論 実践臨床心理学 性格心理学 適応の心理 発達心理学		児童心理学 社会心理学 産業組織心理学 学校心理学 親子関係の心理		臨床心理学概説 カウンセリング 学習心理学 行動分析学			
				老人福祉論 障害者福祉論 社会保障論Ⅰ・Ⅱ 保健医療		介護福祉論 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ 福祉運営管理 公的扶助論		児童・家庭福祉論 人口論 就労支援 福祉行財政と福祉計画論 医学一般			
				社会学特殊講義							
				家庭支援論 社会的養護 社会的養護内容 子どもの食と栄養	2 2 1 2	乳児保育	2				
	保育士関連科目	保育表現技術(体育)Ⅰ 保育表現技術(造形)Ⅰ 保育表現技術(音楽)Ⅰ・Ⅱ	各1	保育の心理学Ⅰ					2		
				保育の心理学Ⅱ					1		
				保育内容総論		障害児保育	各2	保育実践演習	2		
				保育内容演習(健康)		保育課程論					
				保育内容演習(人間関係)		保育相談支援	1				
				保育内容演習(環境)	各1						
				保育内容演習(言葉)							
				保育内容演習(表現)							
				子どもの保健演習							
				子どもの保健Ⅰ・Ⅱ	各2						
				保育表現技術(体育)Ⅱ 保育表現技術(造形)Ⅱ		保育表現技術(音楽)Ⅲ	各1				

			1学年 1学年	単位数	2学年 2学年	単位数	3学年 3学年	単位数	4学年 4学年	単位数	摘要
選択科目	専門発展科目	社会調査士科目					社会調査実習	4			左記の科目の中から84単位以上を履修しなければならない（注２）
		社会福祉士関連科目			ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ 社会保障法Ⅰ・Ⅱ		社会福祉援助技術論（実践応用）Ⅰ・Ⅱ 社会福祉法概論Ⅰ・Ⅱ		介護概論	各2	
					社会福祉援助技術論（基礎理論）Ⅰ・Ⅱ 相談援助演習Ⅰ	各2	相談援助演習Ⅱ			2	
									相談援助演習Ⅲ	1	
							相談援助実習指導			3	
							相談援助実習			6	
		保育士関連科目			保育実習事前指導	1	保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ	各2	保育実習指導Ⅲ・Ⅳ 保育実習Ⅲ・Ⅳ	1 各2	
		認定心理士関連科目			心理データ解析 認知心理学 知覚心理学		健康心理学 心理学研究法Ⅰ・Ⅱ 消費者行動論Ⅰ・Ⅱ		家族心理学	各2	
							心理学実験演習			4	
		レクリエーション資格科目			キャンプ実習		スキー・スノーボード実習			各1	
					救急教育					2	
		旅行資格関連科目	旅行業務論（業法）Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（約款）Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（国内地理）		旅行業務論（国内料金）Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（海外地理） 旅行業務論（GDS・中級）Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（GDS・上級）Ⅰ・Ⅱ		旅行業務論（国際運賃・料金）Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（海外旅行実務）Ⅰ・Ⅱ		旅行業務論（CRS・国内）Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（CRS・国際）Ⅰ・Ⅱ	各1	
		観光学	観光学概論	2	観光社会学 観光教育論 観光地理 文化と観光 西欧文化論		観光行動論 観光交流論 観光人類学 観光心理学 アメリカ文化論		空間観光論 南欧文化論	各2	
	学部共通科目	経済学（注３）	統計学概論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ 西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 経済学史Ⅰ・Ⅱ 経済地理学Ⅰ・Ⅱ	各2	財政学Ⅰ・Ⅱ 日本経済論Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ 経済発展論Ⅰ・Ⅱ 情報経済論Ⅰ・Ⅱ		金融論Ⅰ・Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 公共経済学Ⅰ・Ⅱ 地域経済論Ⅰ・Ⅱ		産業組織論Ⅰ・Ⅱ マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 国際経済論Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ	各2	
		経営学（注４）	経営学総論Ⅰ・Ⅱ 簿記論Ⅰ・Ⅱ	各2	会計学Ⅰ・Ⅱ 流通論Ⅰ・Ⅱ Eビジネス論Ⅰ・Ⅱ 事業創造論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 原価計算論Ⅰ・Ⅱ 経営情報論 経営財務論Ⅰ・Ⅱ		管理会計論Ⅰ・Ⅱ ベンチャーファイナンス 財務会計論Ⅰ・Ⅱ 事業戦略論 マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 組織戦略論 経営情報システム論 流通政策論Ⅰ・Ⅱ		監査論Ⅰ・Ⅱ 上級簿記論Ⅰ・Ⅱ 上級財務会計論Ⅰ・Ⅱ ネットワーク経営論 国際小売論	各2	
		流通情報学（注５）	ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ 情報学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	グローバルロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ ヒューマンインターフェース論 ソフトウエア概論Ⅰ・Ⅱ 情報科学Ⅰ・Ⅱ		ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ 流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ 情報応用システム論 災害ロジスティクス論		ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ 通信ネットワーク概論 エルゴノミクス論	各2	
		法学（注６）	政治学Ⅰ・Ⅱ	各2	憲法Ⅰ・Ⅱ 経済法Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ		民法（財産法）Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ		商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 国際法Ⅰ・Ⅱ	各2	
		スポーツ健康科学（注７）			スポーツと政治 スポーツマネジメント論 スポーツとメディア スポーツ心理学 コーチング論		スポーツと国際協力 スポーツ社会学 発育発達老化の理論・実習 体力トレーニング論 健康づくりとジョギング		スポーツと法 スポーツと文化 スポーツ栄養学Ⅰ スポーツ外傷・障害と予防	各2	
	教養発展科目		社会倫理学Ⅰ・Ⅱ メディア論Ⅰ・Ⅱ		防災科学Ⅰ・Ⅱ 資源環境論Ⅰ・Ⅱ		現代女性論Ⅰ・Ⅱ			各2	
					歴史学特殊講義（東洋史） 英書講読Ⅰ・Ⅱ		歴史学特殊講義（日本史）Ⅰ・Ⅱ		歴史学特殊講義（西洋史）		
		外国語	英会話ＡⅠ・ＡⅡ	各1	英会話ＣⅠ・ＣⅡ	各1	英会話ＥⅠ・ＥⅡ			各1	
			留学英会話Ⅰ・Ⅱ		留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ（注８）						
			選択英語初級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語初級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語初級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語初級Ⅰ・Ⅱ		選択中国語初級Ⅰ・Ⅱ		
					選択英語中級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語中級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語中級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語中級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語中級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語中級Ⅰ・Ⅱ		
							選択英語上級Ⅰ・Ⅱ 選択フランス語上級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語上級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語上級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語上級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語上級Ⅰ・Ⅱ		
		体育	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ・Ⅱ								
	教職科目		教師論 教育原理 教育心理学 教育社会学概論		教育課程論 特別活動論 生徒指導論 教育相談 道徳教育論		視聴覚教育 教育方法学			各2	
卒業に必要な単位											124単位

（外）は外国人留学生の科目を示す。
（特）印の科目は特別奨学生の指定科目でそれ以外の学生は受講できません。
（注１）　１学年２学年を通じて同じ外国語を履修しなければならない。　日本語を母語としない外国人留学生は、１学年で（外）日本語ＡⅠ・ＡⅡ、（外）日本語ＢⅠ・ＢⅡ、２学年で（外）日本語ＣⅠ・ＣⅡ、（外）日本語ＤⅠ・ＤⅡ、（外）日本語ＥⅠ・ＥⅡを履修しなければならない。
（注２）　この欄の単位を合計すると、6 単位以上＋ 24 単位以上＋ 4 単位以上＋ 32 単位以上＝ 66 単位以上となり、84 単位にはならない。　不足分の 18 単位は、この欄の授業科目から自由に選択して履修すること。
（注３）　この欄の科目および教養基礎科目の［経済学Ⅰ・Ⅱ］から 20 単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「経済学」を修了した旨の認定を行う。
（注４）　この欄から 20 単位以上修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻［経営学］を修了した旨の認定を行う。
（注５）　この欄から 20 単位以上修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻［流通情報学］を修了した旨の認定を行う。
（注６）　この欄から 20 単位以上修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻［法学］を修了した旨の認定を行う。
（注７）　この欄から 20 単位以上修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻［スポーツ健康科学］を修了した旨の認定を行う。
（注８）　外国人留学生は「留学英会話Ⅰ・Ⅱ、留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。

	ポイント	認定単位数	資格・検定試験の種類
別記１	10	１単位	秘書技能検定準１級　秘書技能検定１級 簿記検定３級　アクセス検定国内２級　アクセス検定国際２級　販売士２級　秘書技能検定２級　話しことば検定３級　話しことば検定２級　日商ＰＣ（文書作成）３級　日商ＰＣ（データ活用）３級 日商ＰＣ（プレゼン資料作成）３級　MOS（スペシャルリストレベル）/MCAS（Word）　MOS（スペシャルリストレベル）/MCAS（Excel）　漢字検定準２級　ドットコムマスター BASIC
別記２	20	２単位	宅地建物取引士（旧名称：宅地建物取引主任者）　簿記検定１級　販売士１級　簿記検定２級　アクセス検定国内１級　アクセス検定国際１級　国内旅行業務取扱管理者　話しことば検定１級　福祉住環境コーディネイター２級　日商ＰＣ（文書作成）２級　日商ＰＣ（データ活用）２級 日商ＰＣ（プレゼン資料作成）２級　経済学検定（Ｂ/Ｂ+ ランク）　経済学検定（ミクロ・マクロ）Ａランク　ファイナンシャルプランナー３級　ITパスポート　漢字検定２級　医療事務技能審査試験　ドットコムマスターシングルスター
別記３	40	４単位	社会保険労務士　行政書士　司法書士　公認会計士　税理士（１科目のみ）　通関士　初級システムアドミニストレーター　総合旅行業務取扱管理者　基本情報技術者試験　ファイナンシャルプランナー２級　経済学検定（Ａランク以上）

社会学科　入学年度別教育課程表

		1学年		2学年		3学年		4学年		摘要	
		1学年	単位数	2学年	単位数	3学年	単位数	4学年	単位数		
必修科目		1年演習(ゼミ)	4	2年演習(ゼミ)	4	3年演習(ゼミ)	4	4年演習(ゼミ)	4	16単位	必修科目30単位を履修しなければならない。
				リベラルアーツ入門	2					2単位	
		情報基礎Ⅰ・Ⅱ	各2							4単位	
		人間と社会	2					卒業論文	4	8単位	
		社会学基礎	2								
選択必修科目	外国語科目(注1)	英語AⅠ・AⅡ 英語BⅠ・BⅡ ドイツ語AⅠ・AⅡ ドイツ語BⅠ・BⅡ フランス語AⅠ・AⅡ フランス語BⅠ・BⅡ 中国語AⅠ・AⅡ 中国語BⅠ・BⅡ 朝鮮(韓国)語AⅠ・AⅡ 朝鮮(韓国)語BⅠ・BⅡ スペイン語AⅠ・AⅡ スペイン語BⅠ・BⅡ ポルトガル語・ブラジル語AⅠ・AⅡ ポルトガル語・ブラジル語BⅠ・BⅡ	各1	英語CⅠ・CⅡ 英語DⅠ・DⅡ 英語EⅠ・EⅡ ドイツ語CⅠ・CⅡ ドイツ語DⅠ・DⅡ ドイツ語EⅠ・EⅡ フランス語CⅠ・CⅡ フランス語DⅠ・DⅡ フランス語EⅠ・EⅡ 中国語CⅠ・CⅡ 中国語DⅠ・DⅡ 中国語EⅠ・EⅡ 朝鮮(韓国)語CⅠ・CⅡ 朝鮮(韓国)語DⅠ・DⅡ 朝鮮(韓国)語EⅠ・EⅡ スペイン語CⅠ・CⅡ スペイン語DⅠ・DⅡ スペイン語EⅠ・EⅡ ポルトガル語・ブラジル語CⅠ・CⅡ ポルトガル語・ブラジル語DⅠ・DⅡ ポルトガル語・ブラジル語EⅠ・EⅡ	各1						1ケ国語を選択し、10単位を履修しなければならない。
		(外)日本語AⅠ・AⅡ (外)日本語BⅠ・BⅡ	各1	(外)日本語CⅠ・CⅡ (外)日本語DⅠ・DⅡ (外)日本語EⅠ・EⅡ	各1						
	キャリア科目 キャリア形成	RKU入門	1	RKU実践					各1	6単位以上	
		キャリアデザイン		キャリアマネジメント	各2						
				キャリアカウンセリング					2		
						(外)ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ			各1		
		海外研修							2		
		資格取得	(別記1)						各1		
			(別記2)						各2		
			(別記3)						各4		
		(特)キャリア特講(基礎)	2	(特)キャリア特講(発展)	2	(特)キャリア特講(職業)	2				
		(特)グローバルコミュニケーション(基礎)	1	(特)グローバルコミュニケーション(発展)	1						
	社会・企業研究			日本通運寄付講座Ⅰ・Ⅱ 茨城県経営者協会寄付講座		野村證券寄付講座 業界研究特別講座		全国通運連盟寄付講座 ダイレクトマーケティング実践講座 (旧名称:日本通信販売協会寄付講座)	各2		
				インターンシップ基礎		インターンシップ			各2		
		インターンシップ(海外)							2		
	学科選定	ボランティア実践Ⅰ・Ⅱ	各1	就職の社会学	2						
				ボランティア活動論及び実習Ⅰ・Ⅱ	各2						
	進路支援	キャリア基礎(数理)		キャリア基礎(言語)	各1						
		キャリア発展(数理)		キャリア発展(言語)	各1						
						職業選択論			2		
						就職準備講座			1		
	教養基礎科目 言葉や思想に関する領域	哲学Ⅰ・Ⅱ 言語論Ⅰ・Ⅱ (外)日本の思想		論理学Ⅰ・Ⅱ 現代文章論Ⅰ・Ⅱ		教育学Ⅰ・Ⅱ イスラム学Ⅰ・Ⅱ		心理学Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ	各2	24単位以上	
	社会や健康に関する領域	社会学Ⅰ・Ⅱ 生涯スポーツの理論と実技 外国文化論(アジア)Ⅰ・Ⅱ		人文地理学Ⅰ・Ⅱ スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ 外国文化論(西欧)Ⅰ・Ⅱ		経済学Ⅰ・Ⅱ 健康科学論Ⅰ・Ⅱ (外)日本の現在		法学Ⅰ・Ⅱ 日本文化論Ⅰ・Ⅱ (外)日本事情			
	自然や環境に関する領域	数学Ⅰ・Ⅱ 物質科学Ⅰ・Ⅱ		地球科学Ⅰ・Ⅱ 生命科学Ⅰ・Ⅱ		生態学Ⅰ・Ⅱ 自然地理学Ⅰ・Ⅱ		自然環境論Ⅰ・Ⅱ			
	歴史や文学に関する領域	文学(日本文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(西洋史)		文学(外国文学)Ⅰ・Ⅱ 民俗学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(日本史)Ⅰ・Ⅱ 考古学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(東洋史) 美術史Ⅰ・Ⅱ			
	専門基礎科目 社会学重点科目			地域社会学 経済社会学		産業社会学 社会階層論		マス・コミュニケーション論 社会システム論	各2	4単位以上	36単位以上 左記の科目の中から84単位以上を履修しなければならない(注2)
	社会学科基本科目	社会調査法 社会調査実践法 心理学概論Ⅰ・Ⅱ		社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ 保育原理Ⅰ・Ⅱ	各2					32単位以上	
	方法論			計量社会学 質的調査法		社会統計学		社会データ解析	各2		
				ジェンダー論Ⅰ・Ⅱ 余暇社会学 地域空間論 現代組織論 市民社会政策論 地域づくりの社会学		開発社会学 教育社会学Ⅰ・Ⅱ 文化人類学 国際社会学 アジア社会論		家族社会学Ⅰ・Ⅱ 法社会学Ⅰ・Ⅱ グローバル化と文化 社会病理学 防災社会論	各2		
				対人関係論 実践臨床心理学 性格心理学 適応の心理 発達心理学		児童心理学 社会心理学 産業組織心理学 学校心理学 親子関係の心理		臨床心理学概説 カウンセリング 学習心理学 行動分析学			
				老人福祉論 障害者福祉論 社会保障論Ⅰ・Ⅱ 保健医療		介護福祉論 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ 福祉運営管理 公的扶助論		児童・家庭福祉論 人口論 就労支援 福祉行財政と福祉計画論 医学一般			
				社会学特殊講義							
				家庭支援論 社会的養護 社会的養護内容 子どもの食と栄養	2 2 1 2	乳児保育	2				
	保育士関連科目	保育表現技術(体育)Ⅰ 保育表現技術(造形)Ⅰ 保育表現技術(音楽)Ⅰ・Ⅱ	各1	保育の心理学Ⅰ					2		
				保育の心理学Ⅱ					1		
				保育内容総論		障害児保育	各2	保育実践演習	2		
				保育内容演習(健康)		保育課程論					
				保育内容演習(人間関係)		保育相談支援	1				
				保育内容演習(環境)	各1						
				保育内容演習(言葉)							
				保育内容演習(表現)							
				子どもの保健演習							
				子どもの保健Ⅰ・Ⅱ	各2						
				保育表現技術(体育)Ⅱ 保育表現技術(造形)Ⅱ		保育表現技術(音楽)Ⅲ	各1				

			1学年		2学年		3学年		4学年		摘要
			1学年	単位数	2学年	単位数	3学年	単位数	4学年	単位数	
選択科目	専門発展科目	社会調査士科目					社会調査実習	4			左記の科目の中から84単位以上を履修しなければならない（注２）
		社会福祉士関連科目			ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ 社会保障法Ⅰ・Ⅱ		社会福祉援助技術論（実践応用）Ⅰ・Ⅱ 社会福祉法概論Ⅰ・Ⅱ		介護概論	各2	
					社会福祉援助技術論（基礎理論）Ⅰ・Ⅱ 相談援助演習Ⅰ	各2	相談援助演習Ⅱ			2	
									相談援助演習Ⅲ	1	
							相談援助実習指導			3	
							相談援助実習			6	
		保育士関連科目			保育実習事前指導	1	保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ	各2	保育実習指導Ⅲ・Ⅳ	1	
									保育実習Ⅲ・Ⅳ	各2	
		認定心理士関連科目			心理データ解析 認知心理学 知覚心理学		健康心理学 心理学研究法Ⅰ・Ⅱ 消費者行動論Ⅰ・Ⅱ		家族心理学	各2	
							心理学実験演習			4	
		レクリエーション資格科目			キャンプ実習		スキー・スノーボード実習			各1	
					救急教育					2	
		旅行資格関連科目	旅行業務論（業法）Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（約款）Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（国内地理）		旅行業務論（国内料金）Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（海外地理） 旅行業務論（GDS・中級）Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（GDS・上級）Ⅰ・Ⅱ		旅行業務論（国際運賃・料金）Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（海外旅行実務）Ⅰ・Ⅱ		旅行業務論（CRS・国内）Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（CRS・国際）Ⅰ・Ⅱ	各1	
		観光学	観光学概論	2	観光社会学 観光教育論 観光地理 文化と観光 西欧文化論		観光行動論 観光交流論 観光人類学 観光心理学 アメリカ文化論		空間観光論 南欧文化論	各2	
	学部共通科目	経済学（注３）	統計学概論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ 西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 経済学史Ⅰ・Ⅱ 経済地理学Ⅰ・Ⅱ	各2	財政学Ⅰ・Ⅱ 日本経済論Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ 経済発展論Ⅰ・Ⅱ 情報経済論Ⅰ・Ⅱ		金融論Ⅰ・Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 公共経済学Ⅰ・Ⅱ 地域経済論Ⅰ・Ⅱ		産業組織論Ⅰ・Ⅱ マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 国際経済論Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ	各2	
		経営学（注４）	経営学総論Ⅰ・Ⅱ 簿記論Ⅰ・Ⅱ	各2	会計学Ⅰ・Ⅱ 流通論Ⅰ・Ⅱ Eビジネス論Ⅰ・Ⅱ 事業創造論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 原価計算論Ⅰ・Ⅱ 経営情報論 経営財務論Ⅰ・Ⅱ		管理会計論Ⅰ・Ⅱ ベンチャーファイナンス 財務会計論Ⅰ・Ⅱ 事業戦略論 マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 組織戦略論 経営情報システム論 流通政策論Ⅰ・Ⅱ		監査論Ⅰ・Ⅱ 上級簿記論Ⅰ・Ⅱ 上級財務会計論Ⅰ・Ⅱ ネットワーク経営論 国際小売論	各2	
		流通情報学（注５）	ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ 情報学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	グローバルロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ ヒューマンインターフェース論 ソフトウエア概論Ⅰ・Ⅱ 情報科学Ⅰ・Ⅱ		ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ 流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ 情報応用システム論 災害ロジスティクス論		ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ 通信ネットワーク概論 エルゴノミクス論	各2	
		法学（注６）	政治学Ⅰ・Ⅱ	各2	憲法Ⅰ・Ⅱ 経済法Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ		民法（財産法）Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ		商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 国際法Ⅰ・Ⅱ	各2	
		スポーツ健康科学（注７）			スポーツと政治 スポーツマネジメント論 スポーツとメディア スポーツ心理学 コーチング論		スポーツと国際協力 スポーツ社会学 発育発達老化の理論・実習 体力トレーニング論 健康づくりとジョギング		スポーツと法 スポーツと文化 スポーツ栄養学Ⅰ スポーツ外傷・障害と予防	各2	
	教養発展科目		社会倫理学Ⅰ・Ⅱ メディア論Ⅰ・Ⅱ		防災科学Ⅰ・Ⅱ 資源環境論Ⅰ・Ⅱ		現代女性論Ⅰ・Ⅱ			各2	
					歴史学特殊講義（東洋史） 英書講読Ⅰ・Ⅱ		歴史学特殊講義（日本史）Ⅰ・Ⅱ		歴史学特殊講義（西洋史）		
		外国語	英会話ＡⅠ・ＡⅡ	各1	英会話ＣⅠ・ＣⅡ	各1	英会話ＥⅠ・ＥⅡ			各1	
			留学英会話Ⅰ・Ⅱ		留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ（注８）						
			選択英語初級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語初級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語初級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語初級Ⅰ・Ⅱ		選択中国語初級Ⅰ・Ⅱ		
					選択英語中級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語中級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語中級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語中級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語中級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語中級Ⅰ・Ⅱ		
							選択英語上級Ⅰ・Ⅱ 選択フランス語上級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語上級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語上級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語上級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語上級Ⅰ・Ⅱ		
		体育	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ・Ⅱ								
	教職科目		教師論 教育原理 教育心理学 教育社会学概論 道徳教育論		教育課程論 特別活動論 生徒指導論 教育相談		視聴覚教育 教育方法学			各2	
卒業に必要な単位											124単位

（外）は外国人留学生の科目を示す。
（特）印の科目は特別奨学生の指定科目でそれ以外の学生は受講できません。
（注１）　１学年２学年を通じて同じ外国語を履修しなければならない。　日本語を母語としない外国人留学生は、１学年で（外）日本語ＡⅠ・ＡⅡ、（外）日本語ＢⅠ・ＢⅡ、２学年で（外）日本語ＣⅠ・ＣⅡ、（外）日本語ＤⅠ・ＤⅡ、（外）日本語ＥⅠ・ＥⅡを履修しなければならない。
（注２）　この欄の単位を合計すると、６単位以上＋24単位以上＋４単位以上＋32単位以上＝66単位以上となり、84単位にはならない。　不足分の18単位は、この欄の授業科目から自由に選択して履修すること。
（注３）　この欄の科目および教養基礎科目の［経済学Ⅰ・Ⅱ］から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「経済学」を修了した旨の認定を行う。
（注４）　この欄から20単位以上修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻［経営学］を修了した旨の認定を行う。
（注５）　この欄から20単位以上修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻［流通情報学］を修了した旨の認定を行う。
（注６）　この欄から20単位以上修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻［法学］を修了した旨の認定を行う。
（注７）　この欄から20単位以上修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻［スポーツ健康科学］を修了した旨の認定を行う。
（注８）　外国人留学生は「留学英会話Ⅰ・Ⅱ、留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。

	ポイント	認定単位数	資格・検定試験の種類
別記１	10	１単位	秘書技能検定準１級　秘書技能検定１級 簿記検定３級　アクセス検定国内３級　アクセス検定国際３級　販売士２級　秘書技能検定２級　話しことば検定３級　話しことば検定２級　日商ＰＣ（文書作成）３級　日商ＰＣ（データ活用）３級 日商ＰＣ（プレゼン資料作成）３級　MOS（スペシャルリストレベル）/MCAS（Word）　MOS（スペシャルリストレベル）/MCAS（Excel）　漢字検定準２級　ドットコムマスター BASIC
別記２	20	２単位	宅地建物取引士（旧名称：宅地建物取引主任者）　簿記検定１級　販売士１級　簿記検定２級　アクセス検定国内２級　アクセス検定国際２級　国内旅行業務取扱管理者　話しことば検定１級　福祉住環境コーディネイター２級　日商ＰＣ（文書作成）２級　日商ＰＣ（データ活用）２級 日商ＰＣ（プレゼン資料作成）２級　経済学検定（Ｂ/B+ ランク）　経済学検定（ミクロ・マクロ）Ａランク　ファイナンシャルプランナー３級　ITパスポート　漢字検定２級　医療事務技能審査試験　ドットコムマスターシングルスター
別記３	40	４単位	社会保険労務士　行政書士　司法書士　公認会計士　税理士（１科目のみ）　通関士　初級システムアドミニストレーター　アクセス検定国内準１級　アクセス検定国内１級　アクセス検定国際準１級　アクセス検定国際１級　総合旅行業務取扱管理者　基本情報技術者試験　ファイナンシャルプランナー２級 経済学検定（Ａランク以上）

2011～2012年度入学生　社会学科　入学年度別教育課程表

		1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要	
必修科目		1年基礎演習	4	2年専門演習	4	3年専門演習	4	4年専門演習	4	16単位	必修科目30単位を履修しなければならない。
		教養諸学入門	2							2単位	
		情報基礎Ⅰ	2							4単位	
		情報基礎Ⅱ	2								
		人間と社会	2					卒業論文	4	8単位	
		社会学基礎	2								
選択必修科目	外国語科目(注1)	英語AⅠ・AⅡ 英語BⅠ・BⅡ ドイツ語AⅠ・AⅡ ドイツ語BⅠ・BⅡ フランス語AⅠ・AⅡ フランス語BⅠ・BⅡ 中国語AⅠ・AⅡ 中国語BⅠ・BⅡ スペイン語AⅠ・AⅡ スペイン語BⅠ・BⅡ 朝鮮(韓国)語AⅠ・AⅡ 朝鮮(韓国)語BⅠ・BⅡ ポルトガル語・ブラジル語AⅠ・AⅡ ポルトガル語・ブラジル語BⅠ・BⅡ	各1	英語CⅠ・CⅡ 英語DⅠ・DⅡ 英語EⅠ・EⅡ ドイツ語CⅠ・CⅡ ドイツ語DⅠ・DⅡ ドイツ語EⅠ・EⅡ フランス語CⅠ・CⅡ フランス語DⅠ・DⅡ フランス語EⅠ・EⅡ 中国語CⅠ・CⅡ 中国語DⅠ・DⅡ 中国語EⅠ・EⅡ スペイン語CⅠ・CⅡ スペイン語DⅠ・DⅡ スペイン語EⅠ・EⅡ 朝鮮(韓国)語CⅠ・CⅡ 朝鮮(韓国)語DⅠ・DⅡ 朝鮮(韓国)語EⅠ・EⅡ ポルトガル語・ブラジル語CⅠ・CⅡ ポルトガル語・ブラジル語DⅠ・DⅡ ポルトガル語・ブラジル語EⅠ・EⅡ	各1						1カ国語を選択し、10単位を履修しなければならない。
		(外)日本語AⅠ・AⅡ (外)日本語BⅠ・BⅡ	各1	(外)日本語CⅠ・CⅡ (外)日本語DⅠ・DⅡ (外)日本語EⅠ・EⅡ	各1						
	キャリア科目	RKU入門	1	キャリアカウンセリング	2					4単位以上	左記科目の中から84単位以上を履修しなければならない。(注2)
		キャリアデザイン		キャリアマネジメント	各2	職業選択論			2		
		キャリア基礎Ⅰ・Ⅱ	各1	キャリア基礎(実践講座)Ⅰ・Ⅱ					各1		
		海外研修	2	就職の社会学	各2	野村證券寄付講座			各2		
		ボランティア実践Ⅰ・Ⅱ	各1	ボランティア活動論及び実習Ⅰ・Ⅱ							
				業界研究特別講座							
				茨城県経営者協会寄付講座		(外)ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ			各1		
				日本通運寄付講座Ⅰ・Ⅱ		インターンシップ(海外)			2		
				全国通運連盟寄付講座		インターンシップ(注9)			4		
				ダイレクトマーケティング実践講座(旧名称：日本通信販売協会寄付講座)					2		
				インターンシップ基礎　インターンシップ(注10)					各2		
						就職準備講座			1		
		資格関連科目(資格一般)(別記1)							各1		
		資格関連科目(資格一般)(別記2)							各2		
		資格関連科目(資格一般)(別記3)							各4		
	教養基礎科目	哲学Ⅰ・Ⅱ		論理学Ⅰ・Ⅱ		心理学Ⅰ・Ⅱ		社会学Ⅰ・Ⅱ	各2	24単位以上	
		教育学Ⅰ・Ⅱ		数学Ⅰ・Ⅱ		情報環境論Ⅰ・Ⅱ		地球科学Ⅰ・Ⅱ			
		生態学Ⅰ・Ⅱ		自然環境論Ⅰ・Ⅱ		物質科学Ⅰ・Ⅱ		生命科学Ⅰ・Ⅱ			
		言語論Ⅰ・Ⅱ		文学(日本文学)Ⅰ・Ⅱ		文学(外国文学)Ⅰ・Ⅱ		現代文章論Ⅰ・Ⅱ			
		美術史Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(日本史)Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(東洋史)		歴史学入門(西洋史)			
		イスラム学Ⅰ・Ⅱ		宗教学Ⅰ・Ⅱ		人文地理学Ⅰ・Ⅱ		自然地理学Ⅰ・Ⅱ			
		民俗学Ⅰ・Ⅱ		考古学Ⅰ・Ⅱ		健康科学論Ⅰ・Ⅱ		生涯スポーツの理論と実技			
		スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ		心と身体Ⅰ・Ⅱ		(外)日本の現在		(外)日本の思想			
		(外)日本事情									
	専門基礎科目	社会学概論		社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ	各2					36単位以上	
		心理学概論Ⅰ・Ⅱ		保育原理Ⅰ・Ⅱ							
				経済社会学		開発社会学		家族社会学Ⅰ・Ⅱ	各2		
				ジェンダー論Ⅰ・Ⅱ		教育社会学Ⅰ・Ⅱ		法社会学Ⅰ・Ⅱ			
				余暇社会学		文化人類学		グローバル化と文化			
				地域社会学Ⅰ・Ⅱ		地域社会論		マス・コミュニケーション論			
				現代組織論		国際社会学		社会病理学			
				産業社会学		社会階層論		移動の社会学			
				市民社会政策論		社会システム論		防災社会論			
				地域づくりの社会学		アジア社会論					
				対人関係論		社会心理学		臨床心理学概説			
				実践臨床心理学		産業組織心理学		カウンセリング			
				性格心理学Ⅰ・Ⅱ		教育心理学Ⅰ・Ⅱ		学習心理学Ⅰ・Ⅱ			
				発達心理学Ⅰ・Ⅱ							
				老人福祉論		介護福祉論		児童・家庭福祉論			
				障害者福祉論		地域福祉論Ⅰ・Ⅱ		人口論			
				社会保障論Ⅰ・Ⅱ		福祉運営管理		就労支援			
				保健医療		公的扶助論		福祉行財政と福祉計画論			
				社会学特殊講義							
				家庭支援論	各2	乳児保育	2				
				社会的養護							
				子どもの食と栄養							
選択科目	専門発展科目 社会調査士科目	社会調査法		社会調査実践法					各2		
				計量社会学		社会統計学		社会データ解析	各2		
				質的調査法							
						社会調査実習	4				
	専門発展科目 社会福祉士関連科目			ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ		社会福祉援助技術論(実践応用)Ⅰ・Ⅱ		医学一般	各2		
				社会保障法Ⅰ・Ⅱ		社会福祉法概論Ⅰ・Ⅱ		介護概論			
				社会福祉援助技術論(基礎理論)Ⅰ・Ⅱ	各2	相談援助演習Ⅱ			2		
				相談援助演習Ⅰ				相談援助演習Ⅲ	1		
						相談援助実習指導			3		
						相談援助実習			6		

			1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要
選択科目	専門発展科目	保育士関連科目	保育表現技術(体育)Ⅰ 保育表現技術(造形)Ⅰ 保育表現技術(音楽)Ⅰ・Ⅱ	各1	保育の心理学Ⅰ					2	左記科目の中から84単位以上を履修しなければならない。(注2)
					保育の心理学Ⅱ					1	
					保育内容総論 保育内容演習(健康) 保育内容演習(人間関係) 保育内容演習(環境) 保育内容演習(言葉) 保育内容演習(表現) 社会的養護内容 子どもの保健演習	各1	障害児保育 保育課程論	各2	保育実践演習	2	
							保育相談支援	1			
					子どもの保健Ⅰ・Ⅱ	各2					
					保育表現技術(体育)Ⅱ 保育表現技術(造形)Ⅱ		保育表現技術(音楽)Ⅲ	各1			
					保育実習事前指導	1	保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ	各2	保育実習指導Ⅲ・Ⅳ 保育実習Ⅲ・Ⅳ	1 各2	
		認定心理士関連科目			心理データ解析 健康心理学Ⅰ・Ⅱ 知覚心理学		心理学研究法Ⅰ・Ⅱ 消費者行動Ⅰ・Ⅱ		家族心理学Ⅰ・Ⅱ 認知心理学	各2	
					認定心理学		心理学実験演習			4	
		レクリエーション資格科目			キャンプ実習		スキー・スノーボード実習			各1	
					レクリエーション論		救急教育			各2	
		旅行資格関連科目	旅行業務論(業法)Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論(約款)Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論(国内地理)		旅行業務論(国内料金)Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論(海外地理) 旅行業務論(GDS・中級)Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論(GDS・上級)Ⅰ・Ⅱ		旅行業務論(国際運賃・料金)Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論(海外旅行実務)Ⅰ・Ⅱ		旅行業務論(CRS・国内)Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論(CRS・国際)Ⅰ・Ⅱ	各1	
		観光学	観光学概論	各2	観光社会学 観光教育論 観光地理 文化と観光 西欧文化論		観光行動論 観光交流論 観光人類学 観光心理学 アメリカ文化論		空間観光論 南欧文化論 ライフコースと観光	各2	
	学部共通科目	経済学(注3)	経済学概論Ⅰ・Ⅱ 統計学概論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ	各2	財政学Ⅰ・Ⅱ 日本経済論Ⅰ・Ⅱ 西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ		経済地理学Ⅰ・Ⅱ 金融論Ⅰ・Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 経済学史Ⅰ・Ⅱ		産業組織論Ⅰ・Ⅱ マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 国際経済論Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ	各2	
		経営学(注4)	経営学総論Ⅰ・Ⅱ 流通概論Ⅰ・Ⅱ 会計学総論Ⅰ・Ⅱ 簿記論Ⅰ・Ⅱ	各2	事業創造論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 事業戦略論 流通史Ⅰ・Ⅱ マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 原価計算論Ⅰ・Ⅱ 流通政策論Ⅰ・Ⅱ 経営情報論 経営財務論Ⅰ・Ⅱ 組織戦略論 経営情報システム論 財務会計論Ⅰ・Ⅱ	各2	経営史Ⅰ・Ⅱ ネットワーク経営論 管理会計論Ⅰ・Ⅱ Eビジネス概論 上級簿記論Ⅰ・Ⅱ Eコマース論		ベンチャービジネス論 上級財務会計論Ⅰ・Ⅱ 企業論Ⅰ・Ⅱ ベンチャーキャピタル論 監査論Ⅰ・Ⅱ	各2	
		流通情報学(注5)	ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ 情報学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	グローバルロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ 物流ターミナル論Ⅰ・Ⅱ ヒューマンインターフェイス論 ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ		ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ 流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ 情報応用システム論 情報科学Ⅰ・Ⅱ		ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ 通信ネットワーク概論 エルゴノミクス論 災害ロジスティクス論	各2	
		法学(注6)	法学Ⅰ・Ⅱ 政治学Ⅰ・Ⅱ	各2	憲法Ⅰ・Ⅱ 経済法Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ		民法(財産法)Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ 刑法(総論)Ⅰ・Ⅱ		商法(会社法)Ⅰ・Ⅱ 国際法Ⅰ・Ⅱ	各2	
		スポーツ健康科学(注7)			スポーツと政治 スポーツマネジメント論 スポーツとメディア スポーツ心理学 コーチング論		スポーツと国際関係 スポーツ社会学 発育発達老化の理論・実習 トレーニング論		スポーツと法 スポーツと文化 スポーツ栄養学Ⅰ スポーツ外傷・障害と予防 健康づくりとジョギング	各2	
	教養発展科目		社会倫理学Ⅰ・Ⅱ 現代女性論Ⅰ・Ⅱ		防災科学Ⅰ・Ⅱ メディア論Ⅰ・Ⅱ		日本文化論Ⅰ・Ⅱ 資源環境論Ⅰ・Ⅱ		外国文化論Ⅰ・Ⅱ	各2	
					英書講読Ⅰ・Ⅱ		歴史学特殊講義(東洋史) 歴史学特殊講義(日本史)Ⅰ・Ⅱ		歴史学特殊講義(西洋史)		
		外国語	英会話AⅠ・AⅡ	各1	英会話CⅠ・CⅡ	各1	英会話EⅠ・EⅡ			各1	
			留学英会話Ⅰ・Ⅱ		留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ(注8)					各1	
			選択英語初級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語初級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語初級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語初級Ⅰ・Ⅱ		選択中国語初級Ⅰ・Ⅱ	各1	
					選択英語中級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語中級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語中級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語中級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語中級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語中級Ⅰ・Ⅱ		
							選択英語上級Ⅰ・Ⅱ 選択フランス語上級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語上級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語上級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語上級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語上級Ⅰ・Ⅱ		
		体育	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ・Ⅱ							各1	
	教職科目		教師論 教育原理 教育心理学 教育社会学概論 道徳教育の研究	各2	教育課程論 特別活動の研究 生徒指導の研究 教育相談	各2	視聴覚教育 教育方法学	各2			
卒業に必要な単位											124単位

(外)は外国人留学生の科目を示す。
(注1) 1学年、2学年を通じて同じ外国語を履修しなければならない。日本語を母語としない外国人留学生は、1学年で(外)日本語AⅠ・AⅡ、(外)日本語BⅠ・BⅡ、2学年で(外)日本語CⅠ・CⅡ、(外)日本語DⅠ・DⅡ、(外)日本語EⅠ・EⅡを履修しなければならない。
(注2) この欄の単位数を合計すると、4単位以上＋24単位以上＋36単位以上＝64単位以上となり、84単位以上にはならない。不足分の20単位は、この欄の授業科目から自由に選択して履修すること。
(注3) この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「経済学」を修了した旨の認定を行う。
(注4) この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「経営学」を修了した旨の認定を行う。
(注5) この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「流通情報学」を修了した旨の認定を行う。
(注6) この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「法学」を修了した旨の認定を行う。
(注7) この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「スポーツ健康科学」を修了した旨の認定を行う。
(注8) 外国人留学生は「留学英会話Ⅰ・Ⅱ」及び「留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。
(注9) 2011年度入学生に適用する。
(注10) 2012年度入学生に適用する。

別記1	秘書技能検定準1級　秘書技能検定1級　簿記検定3級　アクセス検定国内3級　アクセス検定国際3級　販売士2級　秘書技能検定2級　話しことば検定3級　話しことば検定2級 日商PC(文書作成)3級　日商PC(データ活用)3級　日商PC(プレゼン資料作成)3級　MOS(スペシャリストレベル)／MCAS(Word)　MOS(スペシャリストレベル)／MCAS(Excel)　漢字検定準2級　ドットコムマスターBASIC
別記2	宅地建物取引士(旧名称：宅地建物取引主任者)　簿記検定1級　簿記検定2級　販売士1級　アクセス検定国内2級　アクセス検定国際2級　国内旅行業務取扱管理者　話しことば検定1級　福祉住環境コーディネイター2級　日商PC(文書作成)2級　日商PC(データ活用)2級　日商PC(プレゼン資料作成)2級　経済学検定(B/B+ランク)　経済学検定(ミクロ・マクロ)Aランク　ファイナンシャルプランナー3級　ITパスポート　漢字検定2級　医療事務技能審査　ドットコムマスターシングルスター
別記3	社会保険労務士 行政書士　司法書士　公認会計士　税理士(1科目のみ)　通関士　初級システムアドミニストレーター　アクセス検定国内準1級　アクセス検定国内1級　アクセス検定国際準1級　アクセス検定国際1級　総合旅行業務取扱管理者　基本情報技術者試験　ファイナンシャルプランナー2級　経済学検定(Aランク以上)

社会学科　入学年度別教育課程表

		1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要	
必修科目		1年基礎演習	4	2年専門演習	4	3年専門演習	4	4年専門演習	4	16単位	必修科目30単位を履修しなければならない。
		教養諸学入門	2							2単位	
		情報基礎Ⅰ	2							4単位	
		情報基礎Ⅱ	2								
		人間と社会	2					卒業論文	4	8単位	
		社会学基礎	2								
選択必修科目	外国語科目(注1)	英語AⅠ・AⅡ 英語BⅠ・BⅡ ドイツ語AⅠ・AⅡ ドイツ語BⅠ・BⅡ フランス語AⅠ・AⅡ フランス語BⅠ・BⅡ 中国語AⅠ・AⅡ 中国語BⅠ・BⅡ スペイン語AⅠ・AⅡ スペイン語BⅠ・BⅡ 朝鮮(韓国)語AⅠ・AⅡ 朝鮮(韓国)語BⅠ・BⅡ ポルトガル語・ブラジル語AⅠ・AⅡ ポルトガル語・ブラジル語BⅠ・BⅡ	各1	英語CⅠ・CⅡ 英語DⅠ・DⅡ 英語EⅠ・EⅡ ドイツ語CⅠ・CⅡ ドイツ語DⅠ・DⅡ ドイツ語EⅠ・EⅡ フランス語CⅠ・CⅡ フランス語DⅠ・DⅡ フランス語EⅠ・EⅡ 中国語CⅠ・CⅡ 中国語DⅠ・DⅡ 中国語EⅠ・EⅡ スペイン語CⅠ・CⅡ スペイン語DⅠ・DⅡ スペイン語EⅠ・EⅡ 朝鮮(韓国)語CⅠ・CⅡ 朝鮮(韓国)語DⅠ・DⅡ 朝鮮(韓国)語EⅠ・EⅡ ポルトガル語・ブラジル語CⅠ・CⅡ ポルトガル語・ブラジル語DⅠ・DⅡ ポルトガル語・ブラジル語EⅠ・EⅡ	各1							1カ国語を選択し、10単位を履修しなければならない。
		(外)日本語AⅠ・AⅡ (外)日本語BⅠ・BⅡ	各1	(外)日本語CⅠ・CⅡ (外)日本語DⅠ・DⅡ (外)日本語EⅠ・EⅡ	各1						
	キャリア科目	RKU入門	1	キャリアカウンセリング	2					4単位以上	
		キャリアデザイン キャリアマネジメント			各2	職業選択論			2		
		海外研修	2	就職の社会学	各2						
		ボランティア実践Ⅰ・Ⅱ	各1	ボランティア活動論及び実習Ⅰ・Ⅱ							
				茨城県経営者協会寄付講座	2	野村證券寄付講座　日本通運寄付講座Ⅰ・Ⅱ 全国通運連盟寄付講座			各2		
		キャリア基礎Ⅰ・Ⅱ	各1	キャリア基礎(実践講座)Ⅰ・Ⅱ	各1						
				ダイレクトマーケティング実践講座(旧名称：日本通信販売協会寄付講座)　業界研究特別講座							
						(外)ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ			各1		
						インターンシップ			4		
						インターンシップ(海外)			2		
						就職準備講座			1		
		資格関連科目(資格一般)(別記1)							各1		
		資格関連科目(資格一般)(別記2)							各2		
		資格関連科目(資格一般)(別記3)							各4		
	教養基礎科目	哲学Ⅰ・Ⅱ 教育学Ⅰ・Ⅱ 生態学Ⅰ・Ⅱ 言語論Ⅰ・Ⅱ 美術史Ⅰ・Ⅱ イスラム学Ⅰ・Ⅱ 民俗学Ⅰ・Ⅱ スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ (外)日本事情		論理学Ⅰ・Ⅱ 数学Ⅰ・Ⅱ 自然環境論Ⅰ・Ⅱ 文学(日本文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(日本史)Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ 考古学Ⅰ・Ⅱ 心と身体Ⅰ・Ⅱ		心理学Ⅰ・Ⅱ 情報環境論Ⅰ・Ⅱ 物質科学Ⅰ・Ⅱ 文学(外国文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(東洋史) 人文地理学Ⅰ・Ⅱ 健康科学論Ⅰ・Ⅱ (外)日本の現在		社会学Ⅰ・Ⅱ 地球科学Ⅰ・Ⅱ 生命科学Ⅰ・Ⅱ 現代文章論Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(西洋史) 自然地理学Ⅰ・Ⅱ 生涯スポーツの理論と実技 (外)日本の思想	各2	24単位以上	左記科目の中から84単位以上を履修しなければならない。(注2)
	専門基礎科目	社会学概論 心理学概論Ⅰ・Ⅱ 保育原理Ⅰ・Ⅱ		社会システム論 社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ	各2					36単位以上	
				経済社会学 ジェンダー論Ⅰ・Ⅱ 余暇社会学 地域社会学Ⅰ・Ⅱ 現代組織論 産業社会学 市民社会政策論		開発社会学 教育社会学Ⅰ・Ⅱ 文化人類学 地域社会論 国際社会学 社会階層論 防災社会論		家族社会学Ⅰ・Ⅱ 法社会学Ⅰ・Ⅱ グローバル化と文化 マス・コミュニケーション論 社会病理学 社会教育施設論及び実習Ⅰ・Ⅱ 国際交流論Ⅰ・Ⅱ	各2		
				対人関係論 実践臨床心理学 性格心理学Ⅰ・Ⅱ 発達心理学Ⅰ・Ⅱ		社会心理学 産業組織心理学 教育心理学Ⅰ・Ⅱ		臨床心理学概説 カウンセリング 学習心理学Ⅰ・Ⅱ			
				老人福祉論 障害者福祉論 社会保障論Ⅰ・Ⅱ 保健医療		介護福祉論 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ 福祉運営管理 公的扶助論		児童・家庭福祉論 人口論 就労支援 福祉行財政と福祉計画論			
				社会学特殊講義							
				家族援助論 養護原理 精神保健 小児栄養	各2	乳児保育	2				
選択科目	専門発展科目 社会調査士科目	社会調査法		社会調査実践法					各2		
				計量社会学 質的調査法		社会統計学		社会データ解析	各2		
						社会調査実習	4				
	専門発展科目 社会福祉士関連科目			ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ 社会保障法Ⅰ・Ⅱ		社会福祉援助技術論(実践応用)Ⅰ・Ⅱ 社会福祉法概論Ⅰ・Ⅱ		医学一般	各2		
				社会福祉援助技術論(基礎理論)Ⅰ・Ⅱ 相談援助演習Ⅰ	各2	相談援助演習Ⅱ			2		
								相談援助演習Ⅲ	1		
						相談援助実習指導			3		
						相談援助実習			6		

			1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要
選択科目	専門発展科目	保育士関連科目	基礎技能（体育）Ⅰ 基礎技能（造形）Ⅰ 基礎技能(音楽)Ⅰ・Ⅱ	各1	保育内容総論 保育内容の指導法（健康） 保育内容の指導法(人間関係) 保育内容の指導法（環境） 保育内容の指導法（言葉） 保育内容の指導法（表現） 養護内容　小児保健実習	各1	障害児保育	1	保育総合演習	2	左記科目の中から84単位以上を履修しなければならない。(注２)
					小児保健Ⅰ・Ⅱ	各2			保育実習Ⅲ 保育実習Ⅳ	各2	
					基礎技能（体育）Ⅱ 基礎技能（造形）Ⅱ		基礎技能（音楽）Ⅲ	各1			
					保育実習指導	1	保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ	各2			
		認定心理士関連科目			心理データ解析 健康心理学Ⅰ・Ⅱ		心理学研究法Ⅰ・Ⅱ 消費者行動論Ⅰ・Ⅱ		家族心理学Ⅰ・Ⅱ	各2	
							心理学実験演習			4	
		レクリエーション資格科目			スポーツ方法実習					1	
					レクリエーション論		救急教育			各2	
		旅行資格関連科目	旅行業務論(法令及び国内旅行実務) 旅行業務論(国内地理)		旅行業務論（約款） 旅行業務論(海外地理)		旅行業務論（海外旅行実務） 観光業務論（CRS・国内）		旅行業務論(国際運賃・料金) 観光業務論（CRS・国際）	各2	
			旅行業務論(GDS・中級)Ⅰ・Ⅱ		旅行業務論(GDS・上級)Ⅰ・Ⅱ					各1	
		観光学	観光学概論	2	国際観光論 観光教育論 観光文化地理（海外） 文化と観光 地域づくりの社会学 アメリカ文化論		観光行動論 観光交流論 ライフコースと観光 観光心理学 南欧文化論		空間観光論 観光文化地理（国内） 観光人類学 アジア社会と観光 西欧文化論	各2	
	学部共通科目	経済学(注3)	経済学概論Ⅰ・Ⅱ 統計学概論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ	各2	財政学Ⅰ・Ⅱ 日本経済論Ⅰ・Ⅱ 西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ		経済地理学Ⅰ・Ⅱ 金融論Ⅰ・Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 経済学史Ⅰ・Ⅱ		産業組織論Ⅰ・Ⅱ マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 国際経済論Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ	各2	
		経営学(注4)	経営学総論Ⅰ・Ⅱ 流通概論Ⅰ・Ⅱ 会計学総論Ⅰ・Ⅱ 簿記論Ⅰ・Ⅱ	各2	事業創造論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 事業戦略論 流通史Ⅰ・Ⅱ マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 原価計算論Ⅰ・Ⅱ 流通政策論Ⅰ・Ⅱ 経営情報論 経営財務論Ⅰ・Ⅱ 組織戦略論 経営情報システム論 財務会計論Ⅰ・Ⅱ	各2	経営史Ⅰ・Ⅱ ネットワーク経営論 管理会計論Ⅰ・Ⅱ Eビジネス概論 上級簿記論Ⅰ・Ⅱ Eコマース論		ベンチャービジネス論 上級財務会計論Ⅰ・Ⅱ 企業論Ⅰ・Ⅱ ベンチャーキャピタル論 監査論Ⅰ・Ⅱ	各2	
		流通情報学(注5)	ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ 情報学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	グローバルロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ 物流ターミナル論Ⅰ・Ⅱ ヒューマンインターフェイス論 ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ		ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ 流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ 情報応用システム論 情報科学Ⅰ・Ⅱ		ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ 通信ネットワーク概論 エルゴノミクス論 災害ロジスティクス論	各2	
		法学(注6)	法学Ⅰ・Ⅱ 政治学Ⅰ・Ⅱ	各2	憲法Ⅰ・Ⅱ 経済法Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ		民法（財産法）Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ		商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 国際法Ⅰ・Ⅱ	各2	
		スポーツ健康科学(注7)			スポーツと政治 スポーツマネジメント論 スポーツとメディア スポーツ心理学 コーチング論		スポーツと国際関係 スポーツ社会学 発育発達老化の理論・実習 トレーニング論		スポーツと法 スポーツと文化 スポーツ栄養学Ⅰ スポーツ外傷・障害と予防 健康づくりとジョギング	各2	
	教養発展科目		社会倫理学Ⅰ・Ⅱ 現代女性論Ⅰ・Ⅱ		防災科学Ⅰ・Ⅱ メディア論Ⅰ・Ⅱ		日本文化論Ⅰ・Ⅱ 資源環境論Ⅰ・Ⅱ		外国文化論Ⅰ・Ⅱ	各2	
					歴史学特殊講義（東洋史） 英書講読Ⅰ・Ⅱ		歴史学特殊講義(日本史)Ⅰ・Ⅱ		歴史学特殊講義（西洋史）		
		外国語	英会話AⅠ・AⅡ	各1	英会話CⅠ・CⅡ	各1	英会話EⅠ・EⅡ			各1	
			留学英会話Ⅰ・Ⅱ		留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ(注8)					各1	
			選択英語初級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語初級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語初級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語ブラジル語初級Ⅰ・Ⅱ		選択中国語初級Ⅰ・Ⅱ	各1	
					選択英語中級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語中級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語ブラジル語中級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語中級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語中級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語中級Ⅰ・Ⅱ		
							選択英語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ドイツ語上級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語上級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語上級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語上級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語ブラジル語上級Ⅰ・Ⅱ		
		体育	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ・Ⅱ							各1	
	教職科目		教師論 教育原理 教育心理学 教育社会学概論 道徳教育の研究	2 2 2 2 2	教育課程論 特別活動の研究 生徒指導の研究 教育相談	2 2 2 2	視聴覚教育 教育方法学	2 2			
卒業に必要な単位											124単位

(外) は外国人留学生の科目を示す。
(注１)　１学年、２学年を通じて同じ外国語を履修しなければならない。日本語を母語としない外国人留学生は、１学年で（外）日本語ＡⅠ・ＡⅡ、(外) 日本語ＢⅠ・ＢⅡ、２学年で (外) 日本語ＣⅠ・ＣⅡ、(外) 日本語ＤⅠ・ＤⅡ、(外) 日本語ＥⅠ・ＥⅡを履修しなければならない。
(注２)　この欄の単位数を合計すると、４単位以上＋24単位以上＋36単位以上＝64単位以上となり、84単位以上にはならない。不足分の20単位は、この欄の授業科目から自由に選択して履修すること。
(注３)　この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「経済学」を修了した旨の認定を行う。
(注４)　この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「経営学」を修了した旨の認定を行う。
(注５)　この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「流通情報学」を修了した旨の認定を行う。
(注６)　この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「法学」を修了した旨の認定を行う。
(注７)　この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「スポーツ健康科学」を修了した旨の認定を行う。
(注８)　外国人留学生は「留学英会話Ⅰ・Ⅱ」及び「留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。

別記１	秘書技能検定準１級　秘書技能検定１級　簿記検定３級　アクセス検定国内３級　アクセス検定国際３級　販売士２級　秘書技能検定２級　話しことば検定３級　話しことば検定２級　日商PC(文書作成)３級　日商PC(データ活用)３級　日商PC(プレゼン資料作成)３級　MOS(スペシャリストレベル)／MCAS(Word)　MOS(スペシャリストレベル)／MCAS (Excel)　漢字検定準２級　ドットコムマスターBASIC
別記２	宅地建物取引士（旧名称：宅地建物取引主任者）　簿記検定１級　簿記検定２級　販売士１級　アクセス検定国内２級　アクセス検定国際２級　国内旅行業務取扱管理者　話しことば検定１級　福祉住環境コーディネイター２級　日商PC（文書作成）２級　日商PC（データ活用）２級　日商PC（プレゼン資料作成）２級　経済学検定(B/B⁺ランク)　経済学検定（ミクロ・マクロ）Ａランク　ファイナンシャルプランナー３級　ITパスポート　漢字検定２級　医療事務技能審査　ドットコムマスターシングルスター
別記３	社会保険労務士 行政書士　司法書士　公認会計士　税理士（１科目のみ）　通関士　初級システムアドミニストレーター　アクセス検定国内準１級　アクセス検定国内１級　アクセス検定国際準１級　アクセス検定国際１級　総合旅行業務取扱管理者　基本情報技術者試験　ファイナンシャルプランナー２級 経済学検定（Ａランク以上）

社会学科　入学年度別教育課程表

		1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要	
必修科目		1年基礎演習	4	2年専門演習	4	3年専門演習	4	4年専門演習	4	16単位	必須科目30単位を履修しなければならない。
		教養諸学入門	2							2単位	
		情報基礎Ⅰ	2							4単位	
		情報基礎Ⅱ	2								
		人間と社会	2					卒業論文	4	8単位	
		社会学基礎	2								
選択必修科目	外国語科目(注1)	英語AⅠ・AⅡ 英語BⅠ・BⅡ ドイツ語AⅠ・AⅡ ドイツ語BⅠ・BⅡ フランス語AⅠ・AⅡ フランス語BⅠ・BⅡ 中国語AⅠ・AⅡ 中国語BⅠ・BⅡ スペイン語AⅠ・AⅡ スペイン語BⅠ・BⅡ 朝鮮(韓国)語AⅠ・AⅡ 朝鮮(韓国)語BⅠ・BⅡ ポルトガル語・ブラジル語AⅠ・AⅡ ポルトガル語・ブラジル語BⅠ・BⅡ	各1	英語CⅠ・CⅡ 英語DⅠ・DⅡ 英語EⅠ・EⅡ ドイツ語CⅠ・CⅡ ドイツ語DⅠ・DⅡ ドイツ語EⅠ・EⅡ フランス語CⅠ・CⅡ フランス語DⅠ・DⅡ フランス語EⅠ・EⅡ 中国語CⅠ・CⅡ 中国語DⅠ・DⅡ 中国語EⅠ・EⅡ スペイン語CⅠ・CⅡ スペイン語DⅠ・DⅡ スペイン語EⅠ・EⅡ 朝鮮(韓国)語CⅠ・CⅡ 朝鮮(韓国)語DⅠ・DⅡ 朝鮮(韓国)語EⅠ・EⅡ ポルトガル語・ブラジル語CⅠ・CⅡ ポルトガル語・ブラジル語DⅠ・DⅡ ポルトガル語・ブラジル語EⅠ・EⅡ	各1						1カ国語を選択し、10単位を履修しなければならない。
		(外)日本語AⅠ・AⅡ (外)日本語BⅠ・BⅡ	各1	(外)日本語CⅠ・CⅡ (外)日本語DⅠ・DⅡ (外)日本語EⅠ・EⅡ	各1						
	キャリア科目	RKU入門	1							4単位以上	
		キャリアデザイン キャリアマネジメント	各2	キャリアカウンセリング 就職の社会学	各2						
		ボランティア実践Ⅰ・Ⅱ	各1	ボランティア活動論及び実習Ⅰ・Ⅱ							
		キャリア基礎Ⅰ・Ⅱ	各1	キャリア基礎(実践講座)Ⅰ・Ⅱ	各1	野村證券寄付講座 全国通運連盟寄付講座		日本通運寄付講座Ⅰ・Ⅱ	各2		
		海外研修	2	茨城県経営者協会寄付講座	2	(外)ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ			各1		
						インターンシップ			4		
						インターンシップ(海外)			2		
						就職準備講座			1		
		資格関連科目(資格一般)(別記1)							各1		
		資格関連科目(資格一般)(別記2)							各2		
		資格関連科目(資格一般)(別記3)							各4		
	教養基礎科目	哲学Ⅰ・Ⅱ 教育学Ⅰ・Ⅱ 生態学Ⅰ・Ⅱ 言語論Ⅰ・Ⅱ 美術史Ⅰ・Ⅱ イスラム学Ⅰ・Ⅱ 民俗学Ⅰ・Ⅱ スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ (外)日本事情		論理学Ⅰ・Ⅱ 数学Ⅰ・Ⅱ 自然環境論Ⅰ・Ⅱ 文学(日本文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(日本史)Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ 考古学Ⅰ・Ⅱ 心と身体Ⅰ・Ⅱ		心理学Ⅰ・Ⅱ 情報環境論Ⅰ・Ⅱ 物質科学Ⅰ・Ⅱ 文学(外国文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(東洋史) 人文地理学Ⅰ・Ⅱ 健康科学論Ⅰ・Ⅱ (外)日本の現在		社会学Ⅰ・Ⅱ 地球科学Ⅰ・Ⅱ 生命科学Ⅰ・Ⅱ 現代文章論Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(西洋史) 自然地理学Ⅰ・Ⅱ 生涯スポーツの理論と実技 (外)日本の思想	各2	24単位以上	左記科目の中から84単位以上を履修しなければならない。(注2)
	専門基礎科目	社会学概論 心理学概論Ⅰ・Ⅱ 保育原理Ⅰ・Ⅱ		社会システム論 社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ	各2					36単位以上	
				経済社会学 ジェンダー論Ⅰ・Ⅱ 余暇社会学 地域社会学Ⅰ・Ⅱ 現代組織論 産業社会学		開発社会学 教育社会学Ⅰ・Ⅱ 文化人類学 地域社会論 国際社会学 社会階層論		家族社会学Ⅰ・Ⅱ 法社会学Ⅰ・Ⅱ グローバル化と文化 マス・コミュニケーション論 社会病理学 市民社会政策論 防災社会論	各2		
				対人関係論 実践臨床心理学 性格心理学Ⅰ・Ⅱ 発達心理学Ⅰ・Ⅱ		社会心理学 産業組織心理学 教育心理学Ⅰ・Ⅱ		臨床心理学概説 カウンセリング 学習心理学Ⅰ・Ⅱ			
				老人福祉論 障害者福祉論 社会保障論Ⅰ・Ⅱ 保健医療		介護福祉論 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ 福祉運営管理 公的扶助論		児童・家庭福祉論 人口論 就労支援 福祉行財政と福祉計画論			
				社会学特殊講義							
				家族援助論 養護原理 精神保健 小児栄養	各2	乳児保育	2				
選択科目	専門発展科目 社会調査士科目	社会調査法		社会調査実践法					各2		
				計量社会学 質的調査法		社会統計学		社会データ解析	各2		
						社会調査実習	4				
	専門発展科目 社会福祉士関連科目			ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ 社会保障法Ⅰ・Ⅱ		社会福祉援助技術論(実践応用)Ⅰ・Ⅱ 社会福祉法概論Ⅰ・Ⅱ		医学一般	各2		
				社会福祉援助技術論(基礎理論)Ⅰ・Ⅱ 相談援助演習Ⅰ	各2	相談援助演習Ⅱ			2		
								相談援助演習Ⅲ	1		
						相談援助実習指導			3		
						相談援助実習			6		

			1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要	
選択科目	専門発展科目	保育士関連科目	基礎技能（体育）Ⅰ 基礎技能（造形）Ⅰ 基礎技能(音楽)Ⅰ・Ⅱ	各1	保育内容総論 保育内容の指導法（健康） 保育内容の指導法(人間関係) 保育内容の指導法（環境） 保育内容の指導法（言葉） 保育内容の指導法（表現） 養護内容　小児保健実習	各1	障害児保育	1	保育総合演習	2		左記科目の中から84単位以上を履修しなければならない。(注２)
					小児保健Ⅰ・Ⅱ	各2			保育実習Ⅲ 保育実習Ⅳ	各2		
					基礎技能（体育）Ⅱ 基礎技能（造形）Ⅱ		基礎技能（音楽）Ⅲ	各1				
					保育実習指導	1	保育実習Ⅰ 保育実習Ⅱ	各2				
		認定心理士関連科目			心理データ解析 健康心理学Ⅰ・Ⅱ		心理学研究法Ⅰ・Ⅱ 消費者行動論Ⅰ・Ⅱ		家族心理学Ⅰ・Ⅱ	各2		
							心理学実験演習			4		
		社会教育主事科目			生涯学習概論Ⅰ・Ⅱ 企業内教育論		社会教育計画Ⅰ・Ⅱ 社会教育施設論及び実習Ⅰ・Ⅱ		国際交流論Ⅰ・Ⅱ	各2		
		レクリエーション資格科目			スポーツ方法実習					1		
					レクリエーション論		救急教育			各2		
		旅行資格関連科目	旅行業務論(法令及び国内旅行実務) 旅行業務論(国内地理)		旅行業務論（約款） 旅行業務論（海外地理）		旅行業務論（海外旅行実務） 観光業務論（CRS・国内）		旅行業務論(国際運賃・料金) 観光業務論（CRS・国際）	各2		
			旅行業務論(GDS・中級)Ⅰ・Ⅱ		旅行業務論(GDS・上級)Ⅰ・Ⅱ					各1		
		観光学	観光学概論	2	国際観光論 観光教育論 観光文化地理（海外） 文化と観光 地域づくりの社会学		観光行動論 観光交流論 ライフコースと観光 観光心理学 南欧文化論		空間観光論 観光文化地理（国内） 観光人類学 アジア社会と観光	各2		
	学部共通科目	経済学(注3)	経済学概論Ⅰ・Ⅱ 統計学概論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ	各2	財政学Ⅰ・Ⅱ 日本経済論Ⅰ・Ⅱ 西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ		経済地理学Ⅰ・Ⅱ 金融論Ⅰ・Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 経済学史Ⅰ・Ⅱ		産業組織論Ⅰ・Ⅱ マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 国際経済論Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ	各2		
		経営学(注4)	経営学総論Ⅰ・Ⅱ 流通概論Ⅰ・Ⅱ 会計学総論Ⅰ・Ⅱ 簿記論Ⅰ・Ⅱ	各2	事業創造論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 事業戦略論 流通史Ⅰ・Ⅱ マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 原価計算論Ⅰ・Ⅱ 流通政策論Ⅰ・Ⅱ 経営情報論 経営財務論Ⅰ・Ⅱ 組織戦略論 経営情報システム論 財務会計論Ⅰ・Ⅱ	各2	経営史Ⅰ・Ⅱ ネットワーク経営論 管理会計論Ⅰ・Ⅱ Eビジネス概論 上級簿記論Ⅰ・Ⅱ Eコマース論		ベンチャービジネス論 上級財務会計論Ⅰ・Ⅱ 企業論Ⅰ・Ⅱ ベンチャーキャピタル論 監査論Ⅰ・Ⅱ	各2		
		流通情報学(注5)	ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ 情報学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	グローバルロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ 物流ターミナル論Ⅰ・Ⅱ ヒューマンインターフェイス論 ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ		ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ 流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ 情報応用システム論 情報科学Ⅰ・Ⅱ		ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ 通信ネットワーク概論 エルゴノミクス論 災害ロジスティクス論	各2		
		法学(注6)	法学Ⅰ・Ⅱ 政治学Ⅰ・Ⅱ	各2	憲法Ⅰ・Ⅱ 経済法Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ		民法（財産法）Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ		商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 国際法Ⅰ・Ⅱ	各2		
		スポーツ健康科学(注7)			スポーツ文化論 スポーツマネジメント論 発育・発達論 スポーツ産業論 スポーツ心理学		スポーツトレーニング論 スポーツジャーナリズム論 スポーツ外傷・障害と予防 スポーツと法 スポーツメディア論		スポーツ・ジェンダー論(スポーツと女性) コーチ学 健康づくりとジョギング スポーツと栄養Ⅰ スポーツと余暇	各2		
	教養発展科目		社会倫理学Ⅰ・Ⅱ 現代女性論Ⅰ・Ⅱ		防災科学Ⅰ・Ⅱ メディア論Ⅰ・Ⅱ		日本文化論Ⅰ・Ⅱ 資源環境論Ⅰ・Ⅱ		外国文化論Ⅰ・Ⅱ	各2		
					歴史学特殊講義（東洋史） 英書講読Ⅰ・Ⅱ		歴史学特殊講義(日本史)Ⅰ・Ⅱ		歴史学特殊講義（西洋史）			
		外国語	英会話ＡⅠ・ＡⅡ	各1	英会話ＣⅠ・ＣⅡ	各1	英会話ＥⅠ・ＥⅡ			各1		
			留学英会話Ⅰ・Ⅱ		留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ(注8)					各1		
			選択英語初級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語初級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語初級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語ブラジル語初級Ⅰ・Ⅱ		選択中国語初級Ⅰ・Ⅱ	各1		
					選択英語中級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語中級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語ブラジル語中級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語中級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語中級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語中級Ⅰ・Ⅱ			
							選択英語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ドイツ語上級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語上級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語上級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語上級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語ブラジル語上級Ⅰ・Ⅱ			
		体育	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ・Ⅱ							各1		
	教職科目		教師論 教育原理 教育心理学 教育社会学概論 道徳教育の研究	2 2 2 2 2	教育課程論 特別活動の研究 生徒指導の研究 教育相談	2 2 2 2	視聴覚教育 教育方法学	2 2				
卒業に必要な単位											124単位	

(外) は外国人留学生の科目を示す。
(注１)　１学年、２学年を通じて同じ外国語を履修しなければならない。日本語を母語としない外国人留学生は、１学年で (外) 日本語ＡⅠ・ＡⅡ、(外) 日本語ＢⅠ・ＢⅡ、２学年で (外) 日本語ＣⅠ・ＣⅡ、(外) 日本語ＤⅠ・ＤⅡ、(外) 日本語ＥⅠ・ＥⅡを履修しなければならない。
(注２)　この欄の単位数を合計すると、４単位以上＋24単位以上＋36単位以上＝64単位以上となり、84単位以上にはならない。不足分の20単位は、この欄の授業科目から自由に選択して履修すること。
(注３)　この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「経済学」を修了した旨の認定を行う。
(注４)　この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「経営学」を修了した旨の認定を行う。
(注５)　この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「流通情報学」を修了した旨の認定を行う。
(注６)　この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「法学」を修了した旨の認定を行う。
(注７)　この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「スポーツ健康科学」を修了した旨の認定を行う。
(注８)　外国人留学生は「留学英会話Ⅰ・Ⅱ」及び「留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。

別記１	秘書技能検定準１級　秘書技能検定１級　簿記検定３級　アクセス検定国内３級　アクセス検定国際３級　販売士２級　秘書技能検定２級　話しことば検定３級　話しことば検定２級　日商 PC(文書作成)３級　日商 PC(データ活用)３級　日商 PC(プレゼン資料作成)３級　MOS(スペシャリストレベル) ／ MCAS(Word)　MOS(スペシャリストレベル) ／ MCAS (Excel)　漢字検定準２級　ドットコムマスター BASIC
別記２	宅地建物取引士 (旧名称：宅地建物取引主任者)　簿記検定１級　簿記検定２級　販売士１級　アクセス検定国内２級　アクセス検定国際２級　国内旅行業務取扱管理者　話しことば検定１級　福祉住環境コーディネイター２級　日商 PC (文書作成) ２級　日商 PC (データ活用) ２級　日商 PC (プレゼン資料作成) ２級　経済学検定 (B/B+ ランク)　経済学検定 (ミクロ・マクロ) Ａランク　ファイナンシャルプランナー３級　ITパスポート　漢字検定２級　医療事務技能審査　ドットコムマスターシングルスター
別記３	社会保険労務士 行政書士　司法書士　公認会計士　税理士 (１科目のみ)　通関士　初級システムアドミニストレーター　アクセス検定国内準１級　アクセス検定国内１級　アクセス検定国際準１級　アクセス検定国際１級　総合旅行業務取扱管理者　基本情報技術者試験　ファイナンシャルプランナー２級　経済学検定 (Ａランク以上)

国際観光学科　入学年度別教育課程表

		1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要	
必修科目		1年演習(ゼミ)	4	2年演習(ゼミ)	4	3年演習(ゼミ)	4	4年演習(ゼミ)	4	16単位	必修科目40単位（外国人留学生は46単位）を履修しなければならない。
				リベラルアーツ入門	2					2単位	
		情報基礎Ⅰ・Ⅱ	各2							4単位	
		観光英語Ⅰ・Ⅱ	各1							2単位	
		社会学概論 観光学概論	各2							4単位	
								卒業論文	4	4単位	
	外国語(注1)	英語TAⅠ・TAⅡ 英語TBⅠ・TBⅡ	各1	英語TCⅠ・TCⅡ 英語TDⅠ・TDⅡ	各1					8単位	
		(外)日本語AⅠ・AⅡ (外)日本語BⅠ・BⅡ	各1	(外)日本語CⅠ・CⅡ (外)日本語DⅠ・DⅡ	各1					8単位	
		(外)英語TFAⅠ・TFAⅡ	各1	(外)英語TFBⅠ・TFBⅡ	各1	(外)英語TFCⅠ・TFCⅡ				6単位	
選択必修科目	外国語(注2)	ドイツ語AⅠ・AⅡ ドイツ語BⅠ・BⅡ フランス語AⅠ・AⅡ フランス語BⅠ・BⅡ 中国語AⅠ・AⅡ 中国語BⅠ・BⅡ スペイン語AⅠ・AⅡ スペイン語BⅠ・BⅡ 朝鮮（韓国）語AⅠ・AⅡ 朝鮮（韓国）語BⅠ・BⅡ ポルトガル語・ブラジル語AⅠ・AⅡ ポルトガル語・ブラジル語BⅠ・BⅡ	各1	英語TEⅠ・TEⅡ ドイツ語CⅠ・CⅡ フランス語CⅠ・CⅡ 中国語CⅠ・CⅡ スペイン語CⅠ・CⅡ 朝鮮（韓国）語CⅠ・CⅡ ポルトガル語・ブラジル語CⅠ・CⅡ	各1	英語TFⅠ・TFⅡ 英語TGⅠ・TGⅡ	各1			1カ国語を選択し、6単位（外国人留学生は履修しなくてもよい）を履修しなければならない。	
	キャリア科目 キャリア形成	RKU入門	1	RKU実践					1	6単位以上	
		キャリアデザイン		キャリアマネジメント	各2						
				キャリアカウンセリング					2		
						(外)ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ			各1		
		海外研修							2		
		資格取得	(別記1)						各1		
			(別記2)						各2		
			(別記3)						各4		
		(特)キャリア特講（基礎）	2	(特)キャリア特講（発展）	2	(特)キャリア特講（職業）	2				
		(特)グローバルコミュニケーション(基礎)	1	(特)グローバルコミュニケーション(発展)	1						
	社会・企業研究	災害ボランティアⅠ・Ⅱ							各1		
				日本通運寄付講座 ダイレクトマーケティング実践講座		野村證券寄付講座		全国通運連盟寄付講座 業界研究特別講座	各2		
				インターンシップ基礎		インターンシップ			各2		
		インターンシップ（海外）							2		
	学科選定			初級中国語会話Ⅰ・Ⅱ					各1		
						中上級中国語会話Ⅰ・Ⅱ					
	進路支援	キャリア基礎（数理） キャリア発展（数理）		キャリア基礎（言語） キャリア発展（言語）	各1						
						職業選択論			2		
	教養基礎科目 言葉や思想に関する領域	哲学Ⅰ・Ⅱ 言語論Ⅰ・Ⅱ (外)日本の思想		論理学Ⅰ・Ⅱ 現代文章論Ⅰ・Ⅱ		教育学Ⅰ・Ⅱ イスラム学Ⅰ・Ⅱ		心理学Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ	各2	20単位以上	左記の科目の中から78単位以上を履修しなければならない（注3）
	社会や健康に関する領域	社会学Ⅰ・Ⅱ 健康科学論Ⅰ・Ⅱ 外国文化論（西欧）Ⅰ・Ⅱ		経済学Ⅰ・Ⅱ 生涯スポーツの理論と実技 日本文化論Ⅰ・Ⅱ		法学Ⅰ・Ⅱ スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ (外)日本事情		人文地理学Ⅰ・Ⅱ 外国文化論(アジア)Ⅰ・Ⅱ (外)日本の現在			
	自然や環境に関する領域	数学Ⅰ・Ⅱ 物質科学Ⅰ・Ⅱ		地球科学Ⅰ・Ⅱ 生命科学Ⅰ・Ⅱ		生態学Ⅰ・Ⅱ 自然地理学Ⅰ・Ⅱ		自然環境論Ⅰ・Ⅱ			
	歴史や文学に関する領域	文学(日本文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(西洋史)Ⅰ・Ⅱ		文学(外国文学)Ⅰ・Ⅱ 民俗学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(日本史)Ⅰ・Ⅱ 考古学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(東洋史)Ⅰ・Ⅱ 美術史Ⅰ・Ⅱ			
	専門基礎科目 観光基礎科目			観光社会学 観光資源論 観光交流論 観光地理 国際関係論Ⅰ・Ⅱ アメリカ文化論		観光心理学 観光教育論 観光行動論 グローバル化と文化 南欧文化論		観光人類学 文化と観光 空間観光論 国際法Ⅰ・Ⅱ 西欧文化論	各2	34単位以上	
	観光実践科目			観光事業論 リゾートマネジメント論 旅行サービス論 まちづくりと法 危機管理と観光		観光産業論 ホスピタリティ論及び実践 観光政策論 航空・空港事業論		ホテルマネジメント論 旅行産業論 交通サービス論 観光と法	各2		
				観光研修					4		
				観光インターンシップ					4		
	社会学基礎科目	心理学概論Ⅰ・Ⅱ 社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ		経済社会学 ジェンダー論Ⅰ・Ⅱ 余暇社会学 地域空間論 国際社会学 社会システム論 アジア社会論 対人関係論 カウンセリング		開発社会学 教育社会学Ⅰ・Ⅱ 文化人類学 マスコミュニケーション論 産業社会学 市民社会政策論 防災社会論 社会心理学		家族社会学Ⅰ・Ⅱ 法社会学Ⅰ・Ⅱ 地域社会学 現代組織論 社会階層論 地域づくりの社会学 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ 産業組織心理学	各2		

			1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要
選択科目	専門発展科目	旅行資格科目	旅行業務論（業法）Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（約款）Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（国内地理）		旅行業務論（国内料金）Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（海外地理）		旅行業務論(国際運賃・料金)Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（海外旅行実務）Ⅰ・Ⅱ		旅行業務論(GDS・中級)Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（GDS・上級）Ⅰ・Ⅱ	各1	左記の科目の中から78単位以上を履修しなければならない（注3）
		レクリエーション資格科目			キャンプ実習		スキー・スノーボード実習			各1	
					救急教育					2	
		社会調査士科目			社会調査法 社会データ解析		社会調査実践法 社会統計学		質的調査法 計量社会学	各2	
							観光調査実習			4	
		社会福祉主事科目			障害者福祉論 介護福祉論 福祉行財政と福祉計画論		老人福祉論 保育原理Ⅰ・Ⅱ		公的扶助論 ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ	各2	
	学部共通科目	経済学（注4）	統計学概論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ 西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 経済学史Ⅰ・Ⅱ 経済地理学Ⅰ・Ⅱ	各2	財政学Ⅰ・Ⅱ 金融論Ⅰ・Ⅱ 産業組織論Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ		日本経済論Ⅰ・Ⅱ 社会保障論Ⅰ・Ⅱ マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 経済発展論Ⅰ・Ⅱ		国際経済論Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 情報経済論Ⅰ・Ⅱ	各2	
		経営学（注5）	経営学総論Ⅰ・Ⅱ 簿記論Ⅰ・Ⅱ	各2	会計学Ⅰ・Ⅱ 流通論Ⅰ・Ⅱ Eビジネス論Ⅰ・Ⅱ 事業創造論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 原価計算論Ⅰ・Ⅱ 経営情報論 流通政策論Ⅰ・Ⅱ		管理会計論Ⅰ・Ⅱ ベンチャーファイナンス 財務会計論Ⅰ・Ⅱ 事業戦略論 マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 組織戦略論 経営情報システム論		監査論Ⅰ・Ⅱ 上級簿記論Ⅰ・Ⅱ 上級財務会計論Ⅰ・Ⅱ ネットワーク経営論 国際小売論 経営財務論Ⅰ・Ⅱ	各2	
		流通情報学（注6）	ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ 情報学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	グローバルロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ 流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ 情報応用システム論 情報科学Ⅰ・Ⅱ		ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ 通信ネットワーク概論 エルゴノミクス論 災害ロジスティクス論		ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ ヒューマンインターフェース論 ソフトウエア概論Ⅰ・Ⅱ	各2	
		法学（注7）	政治学Ⅰ・Ⅱ	各2	憲法Ⅰ・Ⅱ 経済法Ⅰ・Ⅱ 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ		民法（財産法）Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ		商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ	各2	
		スポーツ健康科学(注8)			スポーツと政治 スポーツマネジメント論 スポーツとメディア スポーツ心理学 コーチング論		スポーツと国際協力 スポーツ社会学 発育発達老化の理論・実習 体力トレーニング論 健康づくりとジョギング		スポーツと法 スポーツと文化 スポーツ栄養学Ⅰ スポーツ外傷・障害と予防	各2	
	教養発展科目		社会倫理学Ⅰ・Ⅱ 資源環境論Ⅰ・Ⅱ		防災科学Ⅰ・Ⅱ		現代女性論Ⅰ・Ⅱ		メディア論Ⅰ・Ⅱ	各2	
					英書講読Ⅰ・Ⅱ						
		外国語(注9)	英会話AⅠ・AⅡ	各1	英会話CⅠ・CⅡ	各1	英会話EⅠ・EⅡ			各1	
			留学英会話Ⅰ・Ⅱ		留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ					各1	
			選択ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語初級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語初級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語ブラジル語初級Ⅰ・Ⅱ		選択中国語初級Ⅰ・Ⅱ		選択スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ	各1	
					選択英語中級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語中級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語中級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語中級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語中級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語中級Ⅰ・Ⅱ		
							選択英語上級Ⅰ・Ⅱ 選択フランス語上級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語上級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語上級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語上級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語上級Ⅰ・Ⅱ		
		体育	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ・Ⅱ							各1	
	教職科目		教師論 教育原理 教育心理学 教育社会学概論	各2	教育課程論 特別活動論 生徒指導論 教育相談 道徳教育論	各2	視聴覚教育 教育方法学	各2			
卒業に必要な単位											124単位以上

（外）は外国人留学生の科目を示す。
（特）印の科目は特別奨学生の指定科目でそれ以外の学生は受講できません。
（注1）　1学年で英語、2学年で英語を含めて7外国語から1外国語を履修しなければならない。日本語を母語としない外国人留学生は、1学年において「（外）日本語AⅠ・AⅡ」、「（外）日本語BⅠ・BⅡ」「（外）英語TFAⅠ・TFAⅡ」、2学年において、「（外）日本語CⅠ・CⅡ」「（外）日本語DⅠ・DⅡ」「（外）英語TFBⅠ・TFBⅡ」、3学年において「（外）英語TFCⅠ・TFCⅡ」を履修しなければならない。ただし、英語を母語とする外国人留学生、それに準ずる外国人留学生の場合には、当該学生の事情を勘案の上、別途、履修単位の振替科目を定める。
（注2）　2学年、3学年において、「TEⅠ・TEⅡ」、「TFⅠ・TFⅡ」、「TGⅠ・TGⅡ」（6単位）を選択しないものは、1学年、2学年で英語以外の同じ外国語を履修しなければならない。
（注3）　この欄の単位数を合計すると、6単位以上＋20単位以上＋34単位以上＝60単位以上となり、78単位以上にはならない。不足分の18単位は、この欄の授業科目から自由に選択して履修すること。
（注4）　この欄の科目および教養基礎科目の［経済学Ⅰ・Ⅱ］から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「経済学」を修了した旨の認定を行う。
（注5）　この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「経営学」を修了した旨の認定を行う。
（注6）　この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「流通情報学」を修了した旨の認定を行う。
（注7）　この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「法学」を修了した旨の認定を行う。
（注8）　この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「スポーツ健康科学」を修了した旨の認定を行う。
（注9）　外国人留学生は「留学英会話Ⅰ・Ⅱ」及び「留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。

	ポイント	認定単位数	資格・検定試験の種類
別記1	10	1単位	秘書技能検定準1級　秘書技能検定1級 簿記検定3級　販売士2級　秘書技能検定2級　話しことば検定3級　話しことば検定2級　日商PC（文書作成）3級　日商PC（データ活用）3級 日商PC（プレゼン資料作成）3級　MOS（スペシャルリストレベル）/MCAS（Word）　MOS（スペシャルリストレベル）/MCAS（Excel）　漢字検定準2級　ドットコムマスターBASIC
別記2	20	2単位	宅地建物取引士　簿記検定1級　販売士1級　簿記検定2級　国内旅行業務取扱管理者　話しことば検定1級　福祉住環境コーディネイター2級 日商PC（文書作成）2級　日商PC（データ活用）2級　日商PC（プレゼン資料作成）2級 経済学検定（B/B+ランク）　経済学検定（ミクロ・マクロ）Aランク　ファイナンシャルプランナー3級　ITパスポート　漢字検定2級　医療事務技能審査試験　ドットコムマスターシングルスター
別記3	40	4単位	社会保険労務士　行政書士　司法書士　公認会計士　税理士（1科目のみ）　通関士　初級システムアドミニストレーター　総合旅行業務取扱管理者 基本情報技術者試験　ファイナンシャルプランナー2級 経済学検定（Aランク以上）

国際観光学科　入学年度別教育課程表

			1学年		2学年		3学年		4学年		摘要	
			授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数	授業科目	単位数		
必修科目			1年演習(ゼミ)	4	2年演習(ゼミ)	4	3年演習(ゼミ)	4	4年演習(ゼミ)	4	16単位	必修科目40単位（外国人留学生は46単位）を履修しなければならない。
					リベラルアーツ入門	2					2単位	
			情報基礎Ⅰ・Ⅱ	各2							4単位	
			観光英語Ⅰ・Ⅱ	各1							2単位	
			社会学概論 観光学概論	各2							4単位	
									卒業論文	4	4単位	
	外国語(注1)		英語TAⅠ・TAⅡ 英語TBⅠ・TBⅡ	各1	英語TCⅠ・TCⅡ 英語TDⅠ・TDⅡ	各1					8単位	
			(外)日本語AⅠ・AⅡ (外)日本語BⅠ・BⅡ	各1	(外)日本語CⅠ・CⅡ (外)日本語DⅠ・DⅡ	各1					8単位	
			(外)英語TFAⅠ・TFAⅡ	各1	(外)英語TFBⅠ・TFBⅡ	各1	(外)英語TFCⅠ・TFCⅡ				6単位	
選択必修科目	外国語(注2)		ドイツ語AⅠ・AⅡ ドイツ語BⅠ・BⅡ フランス語AⅠ・AⅡ フランス語BⅠ・BⅡ 中国語AⅠ・AⅡ 中国語BⅠ・BⅡ スペイン語AⅠ・AⅡ スペイン語BⅠ・BⅡ 朝鮮（韓国）語AⅠ・AⅡ 朝鮮（韓国）語BⅠ・BⅡ ポルトガル語・ブラジル語AⅠ・AⅡ ポルトガル語・ブラジル語BⅠ・BⅡ	各1	英語TEⅠ・TEⅡ ドイツ語CⅠ・CⅡ フランス語CⅠ・CⅡ 中国語CⅠ・CⅡ スペイン語CⅠ・CⅡ 朝鮮（韓国）語CⅠ・CⅡ ポルトガル語・ブラジル語CⅠ・CⅡ	各1	英語TFⅠ・TFⅡ 英語TGⅠ・TGⅡ	各1			1カ国語を選択し、6単位（外国人留学生は履修しなくてもよい）を履修しなければならない。	
	キャリア科目	キャリア形成	RKU入門	1	RKU実践					1	6単位以上	
			キャリアデザイン		キャリアマネジメント	各2						
					キャリアカウンセリング					2		
							(外)ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ			各1		
			海外研修							2		
			資格取得	(別記1)						各1		
				(別記2)						各2		
				(別記3)						各4		
			(特)キャリア特講（基礎）	2	(特)キャリア特講（発展）	2	(特)キャリア特講（職業）	2				
			(特)グローバルコミュニケーション(基礎)	1	(特)グローバルコミュニケーション(発展)	1						
		社会・企業研究	災害ボランティアⅠ・Ⅱ							各1		
					日本通運寄付講座 ダイレクトマーケティング実践講座		野村證券寄付講座		全国通運連盟寄付講座 業界研究特別講座	各2		
					インターンシップ基礎		インターンシップ			各2		
			インターンシップ（海外）							2		
		学科選定			初級中国語会話Ⅰ・Ⅱ					各1		
							中上級中国語会話Ⅰ・Ⅱ					
		進路支援	キャリア基礎（数理） キャリア発展（数理）		キャリア基礎（言語） キャリア発展（言語）	各1						
							職業選択論			2		
							就職準備講座			1		
	教養基礎科目	言葉や思想に関する領域	哲学Ⅰ・Ⅱ 言語論Ⅰ・Ⅱ (外)日本の思想		論理学Ⅰ・Ⅱ 現代文章論Ⅰ・Ⅱ		教育学Ⅰ・Ⅱ イスラム学Ⅰ・Ⅱ		心理学Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ	各2	20単位以上	左記の科目の中から78単位以上を履修しなければならない（注3）
		社会や健康に関する領域	社会学Ⅰ・Ⅱ 健康科学論Ⅰ・Ⅱ 外国文化論（西欧）Ⅰ・Ⅱ		経済学Ⅰ・Ⅱ 生涯スポーツの理論と実技 日本文化論Ⅰ・Ⅱ		法学Ⅰ・Ⅱ スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ (外)日本事情		人文地理学Ⅰ・Ⅱ 外国文化論(アジア)Ⅰ・Ⅱ (外)日本の現在			
		自然や環境に関する領域	数学Ⅰ・Ⅱ 物質科学Ⅰ・Ⅱ		地球科学Ⅰ・Ⅱ 生命科学Ⅰ・Ⅱ		生態学Ⅰ・Ⅱ 自然地理学Ⅰ・Ⅱ		自然環境論Ⅰ・Ⅱ			
		歴史や文学に関する領域	文学(日本文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門（西洋史）		文学(外国文学)Ⅰ・Ⅱ 民俗学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(日本史)Ⅰ・Ⅱ 考古学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門（東洋史） 美術史Ⅰ・Ⅱ			
	専門基礎科目	観光基礎科目			観光社会学 観光資源論 観光交流論 観光地理 国際関係論Ⅰ・Ⅱ アメリカ文化論		観光心理学 観光教育論 観光行動論 グローバル化と文化 南欧文化論		観光人類学 文化と観光 空間観光論 国際法Ⅰ・Ⅱ 西欧文化論	各2	34単位以上	
		観光実践科目			観光事業論 リゾートマネジメント論 旅行サービス論 まちづくりと法 危機管理と観光		観光産業論 ホスピタリティ論及び実践 観光政策論 航空・空港事業論		ホテルマネジメント論 旅行産業論 交通サービス論 観光と法	各2		
					観光研修					4		
					観光インターンシップ					4		
		社会学基礎科目	心理学概論Ⅰ・Ⅱ 社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ		経済社会学 ジェンダー論Ⅰ・Ⅱ 余暇社会学 地域空間論 国際社会学 社会システム論 アジア社会論 対人関係論 カウンセリング		開発社会学 教育社会学Ⅰ・Ⅱ 文化人類学 マスコミュニケーション論 産業社会学 市民社会政策論 防災社会論 社会心理学		家族社会学Ⅰ・Ⅱ 法社会学Ⅰ・Ⅱ 地域社会学 現代組織論 社会階層論 地域づくりの社会学 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ 産業組織心理学	各2		

			1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要
選択科目	専門発展科目	旅行資格科目	旅行業務論（業法）Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（約款）Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（国内地理）		旅行業務論（国内料金）Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（海外地理）		旅行業務論(国際運賃・料金)Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（海外旅行実務）Ⅰ・Ⅱ		旅行業務論(GDS・中級)Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（GDS・上級）Ⅰ・Ⅱ	各1	左記の科目の中から78単位以上を履修しなければならない（注3）
		レクリエーション資格科目			キャンプ実習		スキー・スノーボード実習			各1	
					救急教育					2	
		社会調査士科目			社会調査法 社会データ解析		社会調査実践法 社会統計学		質的調査法 計量社会学	各2	
							観光調査実習			4	
		社会福祉主事科目			障害者福祉論 介護福祉論 福祉行財政と福祉計画論		老人福祉論 保育原理Ⅰ・Ⅱ		公的扶助論 ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ	各2	
	学部共通科目	経済学（注4）	統計学概論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ 西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 経済学史Ⅰ・Ⅱ 経済地理学Ⅰ・Ⅱ	各2	財政学Ⅰ・Ⅱ 金融論Ⅰ・Ⅱ 産業組織論Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ		日本経済論Ⅰ・Ⅱ 社会保障論Ⅰ・Ⅱ マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 経済発展論Ⅰ・Ⅱ		国際経済論Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 情報経済論Ⅰ・Ⅱ	各2	
		経営学（注5）	経営学総論Ⅰ・Ⅱ 簿記論Ⅰ・Ⅱ	各2	会計学Ⅰ・Ⅱ 流通論Ⅰ・Ⅱ Eビジネス論Ⅰ・Ⅱ 事業創造論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 原価計算論Ⅰ・Ⅱ 経営情報論 流通政策論Ⅰ・Ⅱ		管理会計論Ⅰ・Ⅱ ベンチャーファイナンス 財務会計論Ⅰ・Ⅱ 事業戦略論 マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 組織戦略論 経営情報システム論		監査論Ⅰ・Ⅱ 上級簿記論Ⅰ・Ⅱ 上級財務会計論Ⅰ・Ⅱ ネットワーク経営論 国際小売論 経営財務論Ⅰ・Ⅱ	各2	
		流通情報学（注6）	ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ 情報学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	グローバルロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ 流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ 情報応用システム論 情報科学Ⅰ・Ⅱ		ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ 通信ネットワーク概論 エルゴノミクス論 災害ロジスティクス論		ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ ヒューマンインターフェース論 ソフトウエア概論Ⅰ・Ⅱ	各2	
		法学（注7）	政治学Ⅰ・Ⅱ	各2	憲法Ⅰ・Ⅱ 経済法Ⅰ・Ⅱ 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ		民法（財産法）Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ		商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ	各2	
		スポーツ健康科学(注8)			スポーツと政治 スポーツマネジメント論 スポーツとメディア スポーツ心理学 コーチング論		スポーツと国際協力 スポーツ社会学 発育発達老化の理論・実習 体力トレーニング論 健康づくりとジョギング		スポーツと法 スポーツと文化 スポーツ栄養学Ⅰ スポーツ外傷・障害と予防	各2	
	教養発展科目		社会倫理学Ⅰ・Ⅱ 資源環境論Ⅰ・Ⅱ		防災科学Ⅰ・Ⅱ		現代女性論Ⅰ・Ⅱ		メディア論Ⅰ・Ⅱ	各2	
					歴史学特殊講義（東洋史） 英書講読Ⅰ・Ⅱ		歴史学特殊講義(日本史)Ⅰ・Ⅱ		歴史学特殊講義（西洋史）		
		外国語(注9)	英会話AⅠ・AⅡ	各1	英会話CⅠ・CⅡ	各1	英会話EⅠ・EⅡ			各1	
			留学英会話Ⅰ・Ⅱ		留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ					各1	
			選択ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語初級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語初級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語ブラジル語初級Ⅰ・Ⅱ		選択中国語初級Ⅰ・Ⅱ		選択スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ	各1	
					選択英語中級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語中級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語中級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語中級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語中級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語中級Ⅰ・Ⅱ		
							選択英語上級Ⅰ・Ⅱ 選択フランス語上級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語上級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語上級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語上級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語上級Ⅰ・Ⅱ		
		体育	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ・Ⅱ							各1	
	教職科目		教師論 教育原理 教育心理学 教育社会学概論	各2	教育課程論 特別活動論 生徒指導論 教育相談 道徳教育論	各2	視聴覚教育 教育方法学	各2			
卒業に必要な単位											124単位以上

（外）は外国人留学生の科目を示す。
（特）印の科目は特別奨学生の指定科目でそれ以外の学生は受講できません。
（注1）　1学年で英語、2学年で英語を含めて7外国語から1外国語を履修しなければならない。日本語を母語としない外国人留学生は、1学年において「（外）日本語AⅠ・AⅡ」、「（外）日本語BⅠ・BⅡ」「（外）英語TFAⅠ・TFAⅡ」、2学年において、「（外）日本語CⅠ・CⅡ」「（外）日本語DⅠ・DⅡ」「（外）英語TFBⅠ・TFBⅡ」、3学年において「（外）英語TFCⅠ・TFCⅡ」を履修しなければならない。ただし、英語を母語とする外国人留学生、それに準ずる外国人留学生の場合には、当該学生の事情を勘案の上、別途、履修単位の振替科目を定める。
（注2）　2学年、3学年において、「TEⅠ・TEⅡ」、「TFⅠ・TFⅡ」、「TGⅠ・TGⅡ」（6単位）を選択しないものは、1学年、2学年で英語以外の同じ外国語を履修しなければならない。
（注3）　この欄の単位数を合計すると、6単位以上＋20単位以上＋34単位以上＝60単位以上となり、78単位以上にはならない。不足分の18単位は、この欄の授業科目から自由に選択して履修すること。
（注4）　この欄の科目および教養基礎科目の［経済学Ⅰ・Ⅱ］から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「経済学」を修了した旨の認定を行う。
（注5）　この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「経営学」を修了した旨の認定を行う。
（注6）　この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「流通情報学」を修了した旨の認定を行う。
（注7）　この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「法学」を修了した旨の認定を行う。
（注8）　この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「スポーツ健康科学」を修了した旨の認定を行う。
（注9）　外国人留学生は「留学英会話Ⅰ・Ⅱ」及び「留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。

	ポイント	認定単位数	資格・検定試験の種類
別記1	10	1単位	秘書技能検定準1級　秘書技能検定1級 簿記検定3級　販売士2級　秘書技能検定2級　話しことば検定3級　話しことば検定2級　日商PC（文書作成）3級　日商PC（データ活用）3級 日商PC（プレゼン資料作成）3級　MOS（スペシャルリストレベル）/MCAS（Word）　MOS（スペシャルリストレベル）/MCAS（Excel）　漢字検定準2級　ドットコムマスターBASIC
別記2	20	2単位	宅地建物取引士　簿記検定1級　販売士1級　簿記検定2級　国内旅行業務取扱管理者　話しことば検定1級　福祉住環境コーディネイター2級 日商PC（文書作成）2級　日商PC（データ活用）2級　日商PC（プレゼン資料作成）2級 経済学検定（B/B+ランク）　経済学検定（ミクロ・マクロ）Aランク　ファイナンシャルプランナー3級　ITパスポート　漢字検定2級　医療事務技能審査試験　ドットコムマスターシングルスター
別記3	40	4単位	社会保険労務士　行政書士　司法書士　公認会計士　税理士（1科目のみ）　通関士　初級システムアドミニストレーター　総合旅行業務取扱管理者 基本情報技術者試験　ファイナンシャルプランナー2級 経済学検定（Aランク以上）

国際観光学科　入学年度別教育課程表

			1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要	
必修科目			1年演習(ゼミ)	4	2年演習(ゼミ)	4	3年演習(ゼミ)	4	4年演習(ゼミ)	4	16単位	必修科目40単位（外国人留学生は46単位）を履修しなければならない。
					リベラルアーツ入門	2					2単位	
			情報基礎Ⅰ・Ⅱ	各2							4単位	
			観光英語Ⅰ・Ⅱ	各1							2単位	
			社会学概論 観光学概論	各2							4単位	
									卒業論文	4	4単位	
	外国語(注1)		英語TAⅠ・TAⅡ 英語TBⅠ・TBⅡ	各1	英語TCⅠ・TCⅡ 英語TDⅠ・TDⅡ	各1					8単位	
			(外)日本語AⅠ・AⅡ (外)日本語BⅠ・BⅡ	各1	(外)日本語CⅠ・CⅡ (外)日本語DⅠ・DⅡ	各1					8単位	
			(外)英語TFAⅠ・TFAⅡ	各1	(外)英語TFBⅠ・TFBⅡ	各1	(外)英語TFCⅠ・TFCⅡ				6単位	
選択必修科目	外国語(注2)		ドイツ語AⅠ・AⅡ ドイツ語BⅠ・BⅡ フランス語AⅠ・AⅡ フランス語BⅠ・BⅡ 中国語AⅠ・AⅡ 中国語BⅠ・BⅡ スペイン語AⅠ・AⅡ スペイン語BⅠ・BⅡ 朝鮮(韓国)語AⅠ・AⅡ 朝鮮(韓国)語BⅠ・BⅡ ポルトガル語・ブラジル語AⅠ・AⅡ ポルトガル語・ブラジル語BⅠ・BⅡ	各1	英語TEⅠ・TEⅡ ドイツ語CⅠ・CⅡ フランス語CⅠ・CⅡ 中国語CⅠ・CⅡ スペイン語CⅠ・CⅡ 朝鮮(韓国)語CⅠ・CⅡ ポルトガル語・ブラジル語CⅠ・CⅡ	各1	英語TFⅠ・TFⅡ 英語TGⅠ・TGⅡ	各1			1カ国語を選択し、6単位（外国人留学生は履修しなくてもよい）を履修しなければならない。	
	キャリア科目	キャリア形成	RKU入門	1	RKU実践					1	6単位以上	左記の科目の中から78単位以上を履修しなければならない（注3）
			キャリアデザイン		キャリアマネジメント	各2						
					キャリアカウンセリング					2		
							(外)ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ			各1		
			海外研修							2		
			資格取得	(別記1)						各1		
				(別記2)						各2		
				(別記3)						各4		
			(特)キャリア特講(基礎)	2	(特)キャリア特講(発展)	2	(特)キャリア特講(職業)	2				
			(特)グローバルコミュニケーション(基礎)	1	(特)グローバルコミュニケーション(発展)	1						
		社会・企業研究	災害ボランティアⅠ・Ⅱ							各1		
					日本通運寄付講座Ⅰ・Ⅱ		野村證券寄付講座 ダイレクトマーケティング実践講座		全国通運連盟寄付講座 業界研究特別講座	各2		
					インターンシップ基礎		インターンシップ			各2		
			インターンシップ(海外)							2		
		学科選定			初級中国語会話Ⅰ・Ⅱ					各1		
							中上級中国語会話Ⅰ・Ⅱ					
		進路支援	キャリア基礎(数理) キャリア発展(数理)		キャリア基礎(言語) キャリア発展(言語)	各1						
							職業選択論			2		
							就職準備講座			1		
	教養基礎科目	言葉や思想に関する領域	哲学Ⅰ・Ⅱ 言語論Ⅰ・Ⅱ (外)日本の思想		論理学Ⅰ・Ⅱ 現代文章論Ⅰ・Ⅱ		教育学Ⅰ・Ⅱ イスラム学Ⅰ・Ⅱ		心理学Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ	各2	20単位以上	
		社会や健康に関する領域	社会学Ⅰ・Ⅱ 健康科学論Ⅰ・Ⅱ 外国文化論(西欧)Ⅰ・Ⅱ		経済学Ⅰ・Ⅱ 生涯スポーツの理論と実技 日本文化論Ⅰ・Ⅱ		法学Ⅰ・Ⅱ スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ (外)日本事情		人文地理学Ⅰ・Ⅱ 外国文化論(アジア)Ⅰ・Ⅱ (外)日本の現在			
		自然や環境に関する領域	数学Ⅰ・Ⅱ 物質科学Ⅰ・Ⅱ		地球科学Ⅰ・Ⅱ 生命科学Ⅰ・Ⅱ		生態学Ⅰ・Ⅱ 自然地理学Ⅰ・Ⅱ		自然環境論Ⅰ・Ⅱ			
		歴史や文学に関する領域	文学(日本文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(西洋史)		文学(外国文学)Ⅰ・Ⅱ 民俗学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(日本史)Ⅰ・Ⅱ 考古学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(東洋史) 美術史Ⅰ・Ⅱ			
	専門基礎科目	観光基礎科目			観光社会学 観光資源論 観光交流論 観光地理 国際関係論Ⅰ・Ⅱ アメリカ文化論		観光心理学 観光教育論 観光行動論 グローバル化と文化 南欧文化論		観光人類学 文化と観光 空間観光論 国際法Ⅰ・Ⅱ 西欧文化論	各2	34単位以上	
		観光実践科目			観光事業論 リゾートマネジメント論 旅行サービス論 まちづくりと法 危機管理と観光		観光産業論 ホスピタリティ論及び実践 観光政策論 航空・空港事業論		ホテルマネジメント論 旅行産業論 交通サービス論 観光と法	各2		
					観光研修					4		
					観光インターンシップ					4		
		社会学基礎科目	心理学概論Ⅰ・Ⅱ 社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ		経済社会学 ジェンダー論Ⅰ・Ⅱ 余暇社会学 地域空間論 国際社会学 社会システム論 アジア社会論 対人関係論 カウンセリング		開発社会学 教育社会学Ⅰ・Ⅱ 文化人類学 マスコミュニケーション論 産業社会学 市民社会政策論 防災社会論 社会心理学		家族社会学Ⅰ・Ⅱ 法社会学Ⅰ・Ⅱ 地域社会学 現代組織論 社会階層論 地域づくりの社会学 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ 産業組織心理学	各2		

			1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要
選択科目	専門発展科目	旅行資格科目	旅行業務論（業法）Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（約款）Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（国内地理）		旅行業務論（国内料金）Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（海外地理） 旅行業務論(GDS・中級)Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論(GDS・上級)Ⅰ・Ⅱ		旅行業務論(国際運賃・料金)Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（海外旅行実務）Ⅰ・Ⅱ		旅行業務論(CRS・国内)Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（CRS・国際）Ⅰ・Ⅱ	各1	左記の科目の中から78単位以上を履修しなければならない（注3）
		レクリエーション資格科目			キャンプ実習		スキー・スノーボード実習			各1	
					救急教育					2	
		社会調査士科目			社会調査法 社会データ解析		社会調査実践法 社会統計学		質的調査法 計量社会学	各2	
							観光調査実習			4	
		社会福祉主事科目			障害者福祉論 介護福祉論 福祉行財政と福祉計画論		老人福祉論 保育原理Ⅰ・Ⅱ		公的扶助論 ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ	各2	
	学部共通科目	経済学（注4）	統計学概論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ 西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 経済学史Ⅰ・Ⅱ 経済地理学Ⅰ・Ⅱ	各2	財政学Ⅰ・Ⅱ 金融論Ⅰ・Ⅱ 産業組織論Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ		日本経済論Ⅰ・Ⅱ 社会保障論Ⅰ・Ⅱ マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 経済発展論Ⅰ・Ⅱ		国際経済論Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 情報経済論Ⅰ・Ⅱ	各2	
		経営学（注5）	経営学総論Ⅰ・Ⅱ 簿記論Ⅰ・Ⅱ	各2	会計学Ⅰ・Ⅱ 流通論Ⅰ・Ⅱ Eビジネス論Ⅰ・Ⅱ 事業創造論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 原価計算論Ⅰ・Ⅱ 経営情報論 流通政策論Ⅰ・Ⅱ		管理会計論Ⅰ・Ⅱ ベンチャーファイナンス 財務会計論Ⅰ・Ⅱ 事業戦略論 マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 組織戦略論 経営情報システム論		監査論Ⅰ・Ⅱ 上級簿記論Ⅰ・Ⅱ 上級財務会計論Ⅰ・Ⅱ ネットワーク経営論 国際小売論 経営財務論Ⅰ・Ⅱ	各2	
		流通情報学（注6）	ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ 情報学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	グローバルロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ 流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ 情報応用システム論 情報科学Ⅰ・Ⅱ		ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ 通信ネットワーク概論 エルゴノミクス論 災害ロジスティクス論		ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ ヒューマンインターフェース論 ソフトウエア概論Ⅰ・Ⅱ	各2	
		法学（注7）	政治学Ⅰ・Ⅱ	各2	憲法Ⅰ・Ⅱ 経済法Ⅰ・Ⅱ 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ		民法（財産法）Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ		商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ	各2	
		スポーツ健康科学(注8)			スポーツと政治 スポーツマネジメント論 スポーツとメディア スポーツ心理学 コーチング論		スポーツと国際協力 スポーツ社会学 発育発達老化の理論・実習 体力トレーニング論 健康づくりとジョギング		スポーツと法 スポーツと文化 スポーツ栄養学Ⅰ スポーツ外傷・障害と予防	各2	
	教養発展科目		社会倫理学Ⅰ・Ⅱ 資源環境論Ⅰ・Ⅱ		防災科学Ⅰ・Ⅱ		現代女性論Ⅰ・Ⅱ		メディア論Ⅰ・Ⅱ	各2	
					歴史学特殊講義（東洋史） 英書講読Ⅰ・Ⅱ		歴史学特殊講義(日本史)Ⅰ・Ⅱ		歴史学特殊講義（西洋史）		
		外国語(注9)	英会話AⅠ・AⅡ	各1	英会話CⅠ・CⅡ	各1	英会話EⅠ・EⅡ			各1	
			留学英会話Ⅰ・Ⅱ		留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ					各1	
			選択ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語初級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語初級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語ブラジル語初級Ⅰ・Ⅱ		選択中国語初級Ⅰ・Ⅱ		選択スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ	各1	
					選択英語中級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語中級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語中級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語中級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語中級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語中級Ⅰ・Ⅱ		
							選択英語上級Ⅰ・Ⅱ 選択フランス語上級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語上級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語上級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語上級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語上級Ⅰ・Ⅱ		
		体育	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ・Ⅱ							各1	
	教職科目		教師論 教育原理 教育心理学 教育社会学概論	各2	教育課程論 特別活動論 生徒指導論 教育相談 道徳教育論	各2	視聴覚教育 教育方法学	2 2			
卒業に必要な単位											124単位以上

(外) は外国人留学生の科目を示す。
(特) 印の科目は特別奨学生の指定科目でそれ以外の学生は受講できません。
(注1) 1学年で英語、2学年で英語を含めて7外国語から1外国語を履修しなければならない。日本語を母語としない外国人留学生は、1学年において「(外) 日本語AⅠ・AⅡ」、「(外) 日本語BⅠ・BⅡ」「(外) 英語TFAⅠ・TFAⅡ」、2学年において、「(外) 日本語CⅠ・CⅡ」「(外) 日本語DⅠ・DⅡ」「(外) 英語TFBⅠ・TFBⅡ」、3学年において「(外) 英語TFCⅠ・TFCⅡ」を履修しなければならない。ただし、英語を母語とする外国人留学生、それに準ずる外国人留学生の場合には、当該学生の事情を勘案の上、別途、履修単位の振替科目を定める。
(注2) 2学年、3学年において、「TEⅠ・TEⅡ」、「TFⅠ・TFⅡ」、「TGⅠ・TGⅡ」(6単位) を選択しないものは、1学年、2学年で英語以外の同じ外国語を履修しなければならない。
(注3) この欄の単位数を合計すると、6単位以上＋20単位以上＋34単位以上＝60単位以上となり、78単位以上にはならない。不足分の18単位は、この欄の授業科目から自由に選択して履修すること。
(注4) この欄の科目および教養基礎科目の［経済学Ⅰ・Ⅱ］から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「経済学」を修了した旨の認定を行う。
(注5) この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「経営学」を修了した旨の認定を行う。
(注6) この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「流通情報学」を修了した旨の認定を行う。
(注7) この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「法学」を修了した旨の認定を行う。
(注8) この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「スポーツ健康科学」を修了した旨の認定を行う。
(注9) 外国人留学生は「留学英会話Ⅰ・Ⅱ」及び「留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。

	ポイント	認定単位数	資格・検定試験の種類
別記1	10	1単位	秘書技能検定準1級　秘書技能検定1級 簿記検定3級　アクセス検定国内2級　アクセス検定国際2級　販売士2級　秘書技能検定2級　話しことば検定3級　話しことば検定2級　日商PC（文書作成）3級　日商PC（データ活用）3級　日商PC（プレゼン資料作成）3級　MOS（スペシャルリストレベル）/MCAS（Word）　MOS（スペシャルリストレベル）/MCAS（Excel）　漢字検定準2級　ドットコムマスターBASIC
別記2	20	2単位	宅地建物取引士（旧名称：宅地建物取引主任者）　簿記検定1級　販売士1級　簿記検定2級　アクセス検定国内1級　アクセス検定国際1級　国内旅行業務取扱管理者　話しことば検定1級　福祉住環境コーディネイター2級　日商PC（文書作成）2級　日商PC（データ活用）2級　日商PC（プレゼン資料作成）2級 経済学検定（B/B+ランク）　経済学検定（ミクロ・マクロ）Aランク　ファイナンシャルプランナー3級　ITパスポート　漢字検定2級　医療事務技能審査試験　ドットコムマスターシングルスター
別記3	40	4単位	社会保険労務士　行政書士　司法書士　公認会計士　税理士（1科目のみ）　通関士　初級システムアドミニストレーター　総合旅行業務取扱管理者　基本情報技術者試験　ファイナンシャルプランナー2級 経済学検定（Aランク以上）

国際観光学科　入学年度別教育課程表

		1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要	
必修科目		1年演習(ゼミ)	4	2年演習(ゼミ)	4	3年演習(ゼミ)	4	4年演習(ゼミ)	4	16単位	必修科目40単位（外国人留学生は46単位）を履修しなければならない。
				リベラルアーツ入門	2					2単位	
		情報基礎Ⅰ・Ⅱ	各2							4単位	
		観光英語Ⅰ・Ⅱ	各1							2単位	
		社会学概論 観光学概論	各2							4単位	
								卒業論文	4	4単位	
	外国語(注1)	英語TAⅠ・TAⅡ 英語TBⅠ・TBⅡ	各1	英語TCⅠ・TCⅡ 英語TDⅠ・TDⅡ	各1					8単位	
		(外)日本語AⅠ・AⅡ (外)日本語BⅠ・BⅡ	各1	(外)日本語CⅠ・CⅡ (外)日本語DⅠ・DⅡ	各1					8単位	
		(外)英語TFAⅠ・TFAⅡ	各1	(外)英語TFBⅠ・TFBⅡ	各1	(外)英語TFCⅠ・TFCⅡ				6単位	
選択必修科目	外国語(注2)	ドイツ語AⅠ・AⅡ ドイツ語BⅠ・BⅡ フランス語AⅠ・AⅡ フランス語BⅠ・BⅡ 中国語AⅠ・AⅡ 中国語BⅠ・BⅡ スペイン語AⅠ・AⅡ スペイン語BⅠ・BⅡ 朝鮮（韓国）語AⅠ・AⅡ 朝鮮（韓国）語BⅠ・BⅡ ポルトガル語・ブラジル語AⅠ・AⅡ ポルトガル語・ブラジル語BⅠ・BⅡ	各1	英語TEⅠ・TEⅡ ドイツ語CⅠ・CⅡ フランス語CⅠ・CⅡ 中国語CⅠ・CⅡ スペイン語CⅠ・CⅡ 朝鮮（韓国）語CⅠ・CⅡ ポルトガル語・ブラジル語CⅠ・CⅡ	各1	英語TFⅠ・TFⅡ 英語TGⅠ・TGⅡ	各1			1カ国語を選択し、6単位（外国人留学生は履修しなくてもよい）を履修しなければならない。	
	キャリア科目 キャリア形成	RKU入門	1	RKU実践					1	6単位以上	左記の科目の中から78単位以上を履修しなければならない（注3）
		キャリアデザイン		キャリアマネジメント	各2						
				キャリアカウンセリング					2		
						(外)ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ			各1		
		海外研修							2		
		資格取得	(別記1)						各1		
			(別記2)						各2		
			(別記3)						各4		
		(特)キャリア特講（基礎）	2	(特)キャリア特講（発展）	2	(特)キャリア特講（職業）	2				
		(特)グローバルコミュニケーション(基礎)	1	(特)グローバルコミュニケーション(発展)	1						
	社会・企業研究	災害ボランティアⅠ・Ⅱ							各1		
				日本通運寄付講座Ⅰ・Ⅱ 茨城県経営者協会寄付講座		野村證券寄付講座 ダイレクトマーケティング実践講座 (旧名称：日本通信販売協会寄付講座)		全国通運連盟寄付講座 業界研究特別講座	各2		
				インターンシップ基礎		インターンシップ			各2		
		インターンシップ（海外）							2		
	学科選定			初級中国語会話Ⅰ・Ⅱ					各1		
						中上級中国語会話Ⅰ・Ⅱ					
	進路支援	キャリア基礎（数理） キャリア発展（数理）		キャリア基礎（言語） キャリア発展（言語）	各1						
						職業選択論			2		
						就職準備講座			1		
	教養基礎科目 言葉や思想に関する領域	哲学Ⅰ・Ⅱ 言語論Ⅰ・Ⅱ (外)日本の思想		論理学Ⅰ・Ⅱ 現代文章論Ⅰ・Ⅱ		教育学Ⅰ・Ⅱ イスラム学Ⅰ・Ⅱ		心理学Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ	各2	20単位以上	
	社会や健康に関する領域	社会学Ⅰ・Ⅱ 健康科学論Ⅰ・Ⅱ 外国文化論（西欧）Ⅰ・Ⅱ		経済学Ⅰ・Ⅱ 生涯スポーツの理論と実技 日本文化論Ⅰ・Ⅱ		法学Ⅰ・Ⅱ スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ (外)日本事情		人文地理学Ⅰ・Ⅱ 外国文化論(アジア)Ⅰ・Ⅱ (外)日本の現在			
	自然や環境に関する領域	数学Ⅰ・Ⅱ 物質科学Ⅰ・Ⅱ		地球科学Ⅰ・Ⅱ 生命科学Ⅰ・Ⅱ		生態学Ⅰ・Ⅱ 自然地理学Ⅰ・Ⅱ		自然環境論Ⅰ・Ⅱ			
	歴史や文学に関する領域	文学(日本文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門（西洋史）		文学(外国文学)Ⅰ・Ⅱ 民俗学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門(日本史)Ⅰ・Ⅱ 考古学Ⅰ・Ⅱ		歴史学入門（東洋史） 美術史Ⅰ・Ⅱ			
	専門基礎科目 観光基礎科目			観光社会学 観光資源論 観光交流論 観光地理 国際関係論Ⅰ・Ⅱ アメリカ文化論		観光心理学 観光教育論 観光行動論 グローバル化と文化 南欧文化論		観光人類学 文化と観光 空間観光論 国際法Ⅰ・Ⅱ 西欧文化論	各2	34単位以上	
	観光実践科目			観光事業論 リゾートマネジメント論 旅行サービス論 まちづくりと法 危機管理と観光		観光産業論 ホスピタリティ論及び実践 観光政策論 航空・空港事業論		ホテルマネジメント論 旅行産業論 交通サービス論 観光と法	各2		
				観光研修					4		
				観光インターンシップ					4		
	社会学基礎科目	心理学概論Ⅰ・Ⅱ 社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ		経済社会学 ジェンダー論Ⅰ・Ⅱ 余暇社会学 地域空間論 国際社会学 社会システム論 アジア社会論 対人関係論 カウンセリング		開発社会学 教育社会学Ⅰ・Ⅱ 文化人類学 マスコミュニケーション論 産業社会学 市民社会政策論 防災社会論 社会心理学		家族社会学Ⅰ・Ⅱ 法社会学Ⅰ・Ⅱ 地域社会学 現代組織論 社会階層論 地域づくりの社会学 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ 産業組織心理学	各2		

			1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要	
選択科目	専門発展科目	旅行資格科目	旅行業務論（業法）Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（約款）Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（国内地理）		旅行業務論（国内料金）Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（海外地理） 旅行業務論(GDS・中級)Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論(GDS・上級)Ⅰ・Ⅱ		旅行業務論(国際運賃・料金)Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（海外旅行実務）Ⅰ・Ⅱ		旅行業務論(CRS・国内)Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論（CRS・国際）Ⅰ・Ⅱ	各1		左記の科目の中から78単位以上を履修しなければならない（注3）
		レクリエーション資格科目			キャンプ実習		スキー・スノーボード実習			各1		
					救急教育					2		
		社会調査士科目			社会調査法 社会データ解析		社会調査実践法 社会統計学		質的調査法 計量社会学	各2		
							観光調査実習			4		
		社会福祉主事科目			障害者福祉論 介護福祉論 福祉行財政と福祉計画論		老人福祉論 保育原理Ⅰ・Ⅱ		公的扶助論 ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ	各2		
	学部共通科目	経済学（注4）	統計学概論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ 西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 経済学史Ⅰ・Ⅱ 経済地理学Ⅰ・Ⅱ	各2	財政学Ⅰ・Ⅱ 金融論Ⅰ・Ⅱ 産業組織論Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ		日本経済論Ⅰ・Ⅱ 社会保障論Ⅰ・Ⅱ マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 経済発展論Ⅰ・Ⅱ		国際経済論Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ 情報経済論Ⅰ・Ⅱ	各2		
		経営学（注5）	経営学総論Ⅰ・Ⅱ 簿記論Ⅰ・Ⅱ	各2	会計学Ⅰ・Ⅱ 流通論Ⅰ・Ⅱ Eビジネス論Ⅰ・Ⅱ 事業創造論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 原価計算論Ⅰ・Ⅱ 経営情報論 流通政策論Ⅰ・Ⅱ		管理会計論Ⅰ・Ⅱ ベンチャーファイナンス 財務会計論Ⅰ・Ⅱ 事業戦略論 マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 組織戦略論 経営情報システム論		監査論Ⅰ・Ⅱ 上級簿記論Ⅰ・Ⅱ 上級財務会計論Ⅰ・Ⅱ ネットワーク経営論 国際小売論 経営財務論Ⅰ・Ⅱ	各2		
		流通情報学（注6）	ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ 情報学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	グローバルロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ 流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ 情報応用システム論 情報科学Ⅰ・Ⅱ		ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ 通信ネットワーク概論 エルゴノミクス論 災害ロジスティクス論		ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ ヒューマンインターフェース論 ソフトウエア概論Ⅰ・Ⅱ	各2		
		法学（注7）	政治学Ⅰ・Ⅱ	各2	憲法Ⅰ・Ⅱ 経済法Ⅰ・Ⅱ 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ		民法（財産法）Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ		商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ	各2		
		スポーツ健康科学(注8)			スポーツと政治 スポーツマネジメント論 スポーツとメディア スポーツ心理学 コーチング論		スポーツと国際協力 スポーツ社会学 発育発達老化の理論・実習 体力トレーニング論 健康づくりとジョギング		スポーツと法 スポーツと文化 スポーツ栄養学Ⅰ スポーツ外傷・障害と予防	各2		
	教養発展科目		社会倫理学Ⅰ・Ⅱ 資源環境論Ⅰ・Ⅱ		防災科学Ⅰ・Ⅱ		現代女性論Ⅰ・Ⅱ		メディア論Ⅰ・Ⅱ	各2		
					歴史学特殊講義（東洋史） 英書講読Ⅰ・Ⅱ		歴史学特殊講義(日本史)Ⅰ・Ⅱ		歴史学特殊講義（西洋史）			
		外国語(注9)	英会話AⅠ・AⅡ	各1	英会話CⅠ・CⅡ	各1	英会話EⅠ・EⅡ			各1		
			留学英会話Ⅰ・Ⅱ		留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ					各1		
			選択ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語初級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語初級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語ブラジル語初級Ⅰ・Ⅱ		選択中国語初級Ⅰ・Ⅱ		選択スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ	各1		
					選択英語中級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語中級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語中級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語中級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語中級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語中級Ⅰ・Ⅱ			
							選択英語上級Ⅰ・Ⅱ 選択フランス語上級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語上級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語上級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語上級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語上級Ⅰ・Ⅱ			
		体育	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ・Ⅱ							各1		
	教職科目		教師論 教育原理 教育心理学 教育社会学概論 道徳教育論	各2	教育課程論 特別活動論 生徒指導論 教育相談	各2	視聴覚教育 教育方法学	2 2				
卒業に必要な単位											124単位以上	

（外）は外国人留学生の科目を示す。
（特）印の科目は特別奨学生の指定科目でそれ以外の学生は受講できません。
（注1）　1学年で英語、2学年で英語を含めて7外国語から1外国語を履修しなければならない。日本語を母語としない外国人留学生は、1学年において「（外）日本語AⅠ・AⅡ」、「（外）日本語BⅠ・BⅡ」「（外）英語TFAⅠ・TFAⅡ」、2学年において、「（外）日本語CⅠ・CⅡ」「（外）日本語DⅠ・DⅡ」「（外）英語TFBⅠ・TFBⅡ」、3学年において「（外）英語TFCⅠ・TFCⅡ」を履修しなければならない。ただし、英語を母語とする外国人留学生、それに準ずる外国人留学生の場合には、当該学生の事情を勘案の上、別途、履修単位の振替科目を定める。
（注2）　2学年、3学年において、「TEⅠ・TEⅡ」、「TFⅠ・TFⅡ」、「TGⅠ・TGⅡ」（6単位）を選択しないものは、1学年、2学年で英語以外の同じ外国語を履修しなければならない。
（注3）　この欄の単位数を合計すると、6単位以上＋20単位以上＋34単位以上＝60単位以上となり、78単位以上にはならない。不足分の18単位は、この欄の授業科目から自由に選択して履修すること。
（注4）　この欄の科目および教養基礎科目の［経済学Ⅰ・Ⅱ］から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「経済学」を修了した旨の認定を行う。
（注5）　この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「経営学」を修了した旨の認定を行う。
（注6）　この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「流通情報学」を修了した旨の認定を行う。
（注7）　この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「法学」を修了した旨の認定を行う。
（注8）　この欄から20単位以上を修得した場合には、申請手続きをすることで卒業時に副専攻「スポーツ健康科学」を修了した旨の認定を行う。
（注9）　外国人留学生は「留学英会話Ⅰ・Ⅱ」及び「留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。

	ポイント	認定単位数	資格・検定試験の種類
別記1	10	1単位	秘書技能検定準1級　秘書技能検定1級 簿記検定3級　アクセス検定国内3級　アクセス検定国際3級　販売士2級　秘書技能検定2級　話しことば検定3級　話しことば検定2級　日商PC（文書作成）3級　日商PC（データ活用）3級　日商PC（プレゼン資料作成）3級　MOS（スペシャルリストレベル）/MCAS（Word）　MOS（スペシャルリストレベル）/MCAS（Excel）　漢字検定準2級　ドットコムマスターBASIC
別記2	20	2単位	宅地建物取引士（旧名称：宅地建物取引主任者）　簿記検定1級　販売士1級　簿記検定2級　アクセス検定国内2級　アクセス検定国際2級　国内旅行業務取扱管理者　話しことば検定1級　福祉住環境コーディネイター2級　日商PC（文書作成）2級　日商PC（データ活用）2級　日商PC（プレゼン資料作成）2級 経済学検定（B/B+ランク）　経済学検定（ミクロ・マクロ）Aランク　ファイナンシャルプランナー3級　ITパスポート　漢字検定2級　医療事務技能審査試験　ドットコムマスターシングルスター
別記3	40	4単位	社会保険労務士　行政書士　司法書士　公認会計士　税理士（1科目のみ）　通関士　初級システムアドミニストレーター　アクセス検定国内準1級　アクセス検定国内1級　アクセス検定国際準1級　アクセス検定国際1級　総合旅行業務取扱管理者　基本情報技術者試験　ファイナンシャルプランナー2級 経済学検定（Aランク以上）

国際観光学科　入学年度別教育課程表

		1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要	
必修科目		1年基礎演習	4	2年専門演習	4	3年専門演習	4	4年専門演習	4	16単位	必修科目32単位を履修しなければならない。
		教養諸学入門	各2							2単位	
		情報基礎Ⅰ・Ⅱ								4単位	
		人間と社会 観光学概論						卒業論文	4	10単位	
		観光英語Ⅰ・Ⅱ	各1								
選択必修科目	外国語（注1）	英語AⅠ・AⅡ 英語BⅠ・BⅡ ドイツ語AⅠ・AⅡ ドイツ語BⅠ・BⅡ フランス語AⅠ・AⅡ フランス語BⅠ・BⅡ 中国語AⅠ・AⅡ 中国語BⅠ・BⅡ スペイン語AⅠ・AⅡ スペイン語BⅠ・BⅡ 朝鮮(韓国)語AⅠ・AⅡ 朝鮮(韓国)語BⅠ・BⅡ ポルトガル語・ブラジル語AⅠ・AⅡ ポルトガル語・ブラジル語BⅠ・BⅡ	各1	英語CⅠ・CⅡ 英語DⅠ・DⅡ 英語EⅠ・EⅡ ドイツ語CⅠ・CⅡ ドイツ語DⅠ・DⅡ ドイツ語EⅠ・EⅡ フランス語CⅠ・CⅡ フランス語DⅠ・DⅡ フランス語EⅠ・EⅡ 中国語CⅠ・CⅡ 中国語DⅠ・DⅡ 中国語EⅠ・EⅡ スペイン語CⅠ・CⅡ スペイン語DⅠ・DⅡ スペイン語EⅠ・EⅡ 朝鮮(韓国)語CⅠ・CⅡ 朝鮮(韓国)語DⅠ・DⅡ 朝鮮(韓国)語EⅠ・EⅡ ポルトガル語・ブラジル語CⅠ・CⅡ ポルトガル語・ブラジル語DⅠ・DⅡ ポルトガル語・ブラジル語EⅠ・EⅡ	各1							1カ国語を選択し、10単位を履修しなければならない。
		(外)日本語AⅠ・AⅡ (外)日本語BⅠ・BⅡ	各1	(外)日本語CⅠ・CⅡ (外)日本語DⅠ・DⅡ (外)日本語EⅠ・EⅡ	各1						
	キャリア科目	RKU入門	1	キャリアカウンセリング	2					4単位以上	
		キャリアデザイン		キャリアマネジメント	各2	職業選択論			2		
		キャリア基礎Ⅰ・Ⅱ	各1	キャリア基礎(実践講座)Ⅰ・Ⅱ					各1		
				初級中国語会話Ⅰ・Ⅱ	各1	中上級中国語会話Ⅰ・Ⅱ			各1		
				日本通運寄付講座Ⅰ・Ⅱ	各2	野村證券寄付講座			2		
				全国通運連盟寄付講座							
				業界研究特別講座		ダイレクトマーケティング実践講座（旧名称：日本通信販売協会寄付講座）			各2		
		海外研修	2	茨城県経営者協会寄付講座	2	(外)ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ			各1		
				インターシップ基礎　インターシップ(注9)					各2		
						インターシップ（注10）			4		
						インターンシップ（海外）			2		
		災害ボランティアⅠ・Ⅱ			各1	就職準備講座			1		
		資格関連科目(資格一般)(別記1)							各1		
		資格関連科目(資格基礎)(別記2)							各2		
		資格関連科目(資格専門)(別記3)							各4		
	教養基礎科目	哲学Ⅰ・Ⅱ 教育学Ⅰ・Ⅱ 生態学Ⅰ・Ⅱ 言語論Ⅰ・Ⅱ 美術史Ⅰ・Ⅱ イスラム学Ⅰ・Ⅱ 民俗学Ⅰ・Ⅱ スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ (外)日本事情		論理学Ⅰ・Ⅱ 数学Ⅰ・Ⅱ 自然環境論Ⅰ・Ⅱ 文学(日本文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(日本史)Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ 考古学Ⅰ・Ⅱ 心と身体Ⅰ・Ⅱ		心理学Ⅰ・Ⅱ 情報環境論Ⅰ・Ⅱ 物質科学Ⅰ・Ⅱ 文学(外国文学)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門（東洋史） 人文地理学Ⅰ・Ⅱ 健康科学論Ⅰ・Ⅱ (外)日本の現在		社会学Ⅰ・Ⅱ 地球科学Ⅰ・Ⅱ 生命科学Ⅰ・Ⅱ 現代文章論Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門（西洋史） 自然地理学Ⅰ・Ⅱ 生涯スポーツの理論と実技 (外)日本の思想	各2	24単位以上	左記科目の中から82単位以上を履修しなければならない。(注2)
	専門基礎科目 観光研究科目			観光社会学 観光資源論 文化と観光 観光行動論 南欧文化論		観光心理学 観光教育論 ライフコースと観光 空間観光論 国際法Ⅰ・Ⅱ 西欧文化論		観光人類学 障害者旅行論 観光交流論 観光地理 国際関係論Ⅰ・Ⅱ アメリカ文化論	各2	34単位以上	
	観光実践科目			観光産業論 観光事業論 ホスピタリティ論及び実践 観光政策論 航空・空港事業論		ホテルマネジメント論 旅行産業論 交通サービス論 観光と法		リゾートマネジメント論 旅行サービス論 まちづくりと法 危機管理と観光	各2		
				観光研修			4				
				観光インターンシップ					4		
	旅行資格科目	旅行業務論(業法)Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論(約款)Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論(国内地理)		旅行業務論(国内料金)Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論(海外地理) 旅行業務論(GDS・中級)Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論(GDS・上級)Ⅰ・Ⅱ		旅行業務論(国際運賃・料金)Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論(海外旅行実務)Ⅰ・Ⅱ		旅行業務論(CRS・国内)Ⅰ・Ⅱ 旅行業務論(CRS・国際)Ⅰ・Ⅱ	各1		
	社会学基礎科目			経済社会学 ジェンダー論Ⅰ・Ⅱ 余暇社会学 地域社会学Ⅰ・Ⅱ 現代組織論 社会階層論 市民社会政策論 防災社会論		開発社会学 教育社会学Ⅰ・Ⅱ 文化人類学 地域社会論 国際社会学 社会システム論 地域づくりの社会学		家族社会学Ⅰ・Ⅱ 法社会学Ⅰ・Ⅱ グローバル化と文化 マス・コミュニケーション論 産業社会学 移動の社会学 アジア社会論	各2		
				心理学概論Ⅰ・Ⅱ 実践臨床心理学 カウンセリング		対人関係論 臨床心理学概説		社会心理学 産業組織心理学			
				社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ							

			1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要	
選択科目	専門発展科目	レクリエーション資格科目			キャンプ実習		スキー・スノーボード実習			各1	左記科目の中から82単位以上を履修しなければならない。（注2）	
					レクリエーション論		救急教育			各2		
		社会調査士科目			社会調査法 社会データ解析		社会調査実践法 社会統計学		質的調査法 計量社会学	各2		
							観光調査実習			4		
		社会福祉主事科目			障害者福祉論 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ		老人福祉論 介護福祉論 福祉行財政と福祉計画論		公的扶助論 保育原理Ⅰ・Ⅱ	各2		
	学部共通科目	経済学（注3）	経済学概論Ⅰ・Ⅱ 統計学概論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ	各2	財政学Ⅰ・Ⅱ 国際経済論Ⅰ・Ⅱ 社会保障論Ⅰ・Ⅱ マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ		日本経済論Ⅰ・Ⅱ 経済地理学Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ		西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 金融論Ⅰ・Ⅱ 産業組織論Ⅰ・Ⅱ 経済学史Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ	各2		
		経営学（注4）	経営学総論Ⅰ・Ⅱ 流通概論Ⅰ・Ⅱ 会計学総論Ⅰ・Ⅱ 簿記論Ⅰ・Ⅱ	各2	事業創造論Ⅰ・Ⅱ 流通政策論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 経営情報論 事業戦略論 経営財務論Ⅰ・Ⅱ 流通史Ⅰ・Ⅱ 組織戦略論 マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 経営情報システム論 原価計算論Ⅰ・Ⅱ 財務会計論Ⅰ・Ⅱ	各2	経営史Ⅰ・Ⅱ Eビジネス概論 ベンチャーキャピタル論 上級簿記論Ⅰ・Ⅱ 監査論Ⅰ・Ⅱ 企業論Ⅰ・Ⅱ Eコマース論 ベンチャービジネス論 ネットワーク経営論 上級財務会計論Ⅰ・Ⅱ 管理会計論Ⅰ・Ⅱ			各2		
		流通情報学（注5）	ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ 情報学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	グローバルロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ 物流ターミナル論Ⅰ・Ⅱ ヒューマンインターフェイス論 ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ		ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ 流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ 情報応用システム論 情報科学Ⅰ・Ⅱ		ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ 通信ネットワーク概論 エルゴノミクス論 災害ロジスティクス論	各2		
		法学（注6）	法学Ⅰ・Ⅱ 政治学Ⅰ・Ⅱ	各2	憲法Ⅰ・Ⅱ 経済法Ⅰ・Ⅱ		民法（財産法）Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ		商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ	各2		
		スポーツ健康科学（注7）			スポーツと政治 スポーツマネジメント論 スポーツとメディア スポーツ心理学 コーチング論		スポーツと国際関係 スポーツ社会学 発育発達老化の理論・実習 トレーニング論		スポーツと法 スポーツと文化 スポーツ栄養学Ⅰ スポーツ外傷・障害と予防 健康づくりとジョギング	各2		
	教養発展科目		社会倫理学Ⅰ・Ⅱ 現代女性論Ⅰ・Ⅱ		防災科学Ⅰ・Ⅱ メディア論Ⅰ・Ⅱ		日本文化論Ⅰ・Ⅱ 資源環境論Ⅰ・Ⅱ		外国文化論Ⅰ・Ⅱ	各2		
					歴史学特殊講義（東洋史） 英書講読Ⅰ・Ⅱ		歴史学特殊講義（日本史）Ⅰ・Ⅱ		歴史学特殊講義（西洋史）			
							総合教養講座Ⅰ・Ⅱ					
		外国語	英会話AⅠ・AⅡ	各1	英会話CⅠ・CⅡ	各1	英会話EⅠ・EⅡ			各1		
			留学英会話Ⅰ・Ⅱ		留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ（注8）					各1		
			選択英語初級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語初級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語初級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語初級Ⅰ・Ⅱ		選択中国語初級Ⅰ・Ⅱ	各1		
					選択英語中級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語中級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語中級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語中級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語中級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語中級Ⅰ・Ⅱ			
							選択英語上級Ⅰ・Ⅱ 選択フランス語上級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語上級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語上級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語上級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮（韓国）語上級Ⅰ・Ⅱ			
		体育	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ・Ⅱ							各1		
	教職科目		教師論 教育原理 教育心理学 教育社会学概論 道徳教育の研究	各2	教育課程論 特別活動の研究 生徒指導の研究 教育相談	各2	視聴覚教育 教育方法学	2 2				
卒業に必要な単位											124単位以上	

（外）は外国人留学生の科目を示す。
（注1） 1学年、2学年を通じて同じ外国語を履修しなければならない。日本語を母語としない外国人留学生は、1学年で（外）日本語AⅠ・AⅡ、（外）日本語BⅠ・BⅡ、2学年で（外）日本語CⅠ・CⅡ、（外）日本語DⅠ・DⅡ、（外）日本語EⅠ・EⅡを履修しなければならない。
（注2） この欄の単位数を合計すると、4単位以上＋24単位以上＋34単位以上＝62単位以上となり、82単位以上にはならない。不足分の20単位は、この欄の授業科目から自由に選択して履修すること。
（注3） この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「経済学」を修了した旨の認定を行う。
（注4） この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「経営学」を修了した旨の認定を行う。
（注5） この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「流通情報学」を修了した旨の認定を行う。
（注6） この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「法学」を修了した旨の認定を行う。
（注7） この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「スポーツ健康科学」を修了した旨の認定を行う。
（注8） 外国人留学生は「留学英会話Ⅰ・Ⅱ」及び「留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。
（注9） 2012年度入学生に適用する。
（注10） 2011年度入学生に適用する。

別記1	秘書技能検定準1級　秘書技能検定1級　簿記検定3級　アクセス検定国内3級　アクセス検定国際3級　販売士2級　秘書技能検定2級　話しことば検定3級　話しことば検定2級　日商PC（文書作成）3級　日商PC（データ活用）3級　日商PC（プレゼン資料作成）3級　MOS（スペシャリストレベル）／MCAS（Word）　MOS（スペシャリストレベル）／MCAS（Excel）　漢字検定準2級　ドットコムマスターBASIC
別記2	宅地建物取引士（旧名称：宅地建物取引主任者）　簿記検定1級　簿記検定2級　販売士1級　アクセス検定国内2級　アクセス検定国際2級　国内旅行業務取扱管理者　話しことば検定1級　福祉住環境コーディネイター2級　日商PC（文書作成）2級　日商PC（データ活用）2級　日商PC（プレゼン資料作成）2級　経済学検定（B/B+ランク）　経済学検定（ミクロ・マクロ）Aランク　ファイナンシャルプランナー3級　ITパスポート　漢字検定2級　医療事務技能審査　ドットコムマスターシングルスター
別記3	社会保険労務士 行政書士　司法書士　公認会計士　税理士（1科目のみ）　通関士　初級システムアドミニストレーター　アクセス検定国内準1級　アクセス検定国内1級　アクセス検定国際準1級　アクセス検定国際1級　総合旅行業務取扱管理者　基本情報技術者試験　ファイナンシャルプランナー2級 経済学検定（Aランク以上）

国際観光学科　入学年度別教育課程表

		1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要	
必修科目		1年基礎演習	4	2年専門演習	4	3年専門演習	4	4年専門演習	4	16単位	必修科目28単位を履修しなければならない。
		教養諸学入門	2							2単位	
		情報基礎Ⅰ 情報基礎Ⅱ	2 2							4単位	
		人間と社会	2					卒業論文	4	6単位	
選択必修科目	外国語（注1）	英語AⅠ・AⅡ 英語BⅠ・BⅡ ドイツ語AⅠ・AⅡ ドイツ語BⅠ・BⅡ フランス語AⅠ・AⅡ フランス語BⅠ・BⅡ 中国語AⅠ・AⅡ 中国語BⅠ・BⅡ スペイン語AⅠ・AⅡ スペイン語BⅠ・BⅡ 朝鮮（韓国）語AⅠ・AⅡ 朝鮮（韓国）語BⅠ・BⅡ ポルトガル語・ブラジル語AⅠ・AⅡ ポルトガル語・ブラジル語BⅠ・BⅡ	各1	英語CⅠ・CⅡ 英語DⅠ・DⅡ 英語EⅠ・EⅡ ドイツ語CⅠ・CⅡ ドイツ語DⅠ・DⅡ ドイツ語EⅠ・EⅡ フランス語CⅠ・CⅡ フランス語DⅠ・DⅡ フランス語EⅠ・EⅡ 中国語CⅠ・CⅡ 中国語DⅠ・DⅡ 中国語EⅠ・EⅡ スペイン語CⅠ・CⅡ スペイン語DⅠ・DⅡ スペイン語EⅠ・EⅡ 朝鮮（韓国）語CⅠ・CⅡ 朝鮮（韓国）語DⅠ・DⅡ 朝鮮（韓国）語EⅠ・EⅡ ポルトガル語・ブラジル語CⅠ・CⅡ ポルトガル語・ブラジル語DⅠ・DⅡ ポルトガル語・ブラジル語EⅠ・EⅡ	各1							1カ国語を選択し、10単位を履修しなければならない。
		（外）日本語AⅠ・AⅡ （外）日本語BⅠ・BⅡ	各1	（外）日本語CⅠ・CⅡ （外）日本語DⅠ・DⅡ （外）日本語EⅠ・EⅡ	各1						
	キャリア科目	RKU入門	1	キャリアカウンセリング	2					4単位以上	左記科目の中から86単位以上を履修しなければならない。（注2）
		キャリアデザイン キャリアマネジメント			各2	職業選択論			2		
				初級英会話（観光）Ⅰ・Ⅱ			各1				
						中上級英会話（観光）Ⅰ・Ⅱ			各1		
				初級中国語会話Ⅰ・Ⅱ			各1				
		キャリア基礎Ⅰ・Ⅱ	各1	キャリア基礎（実践講座）Ⅰ・Ⅱ	各1	中上級中国語会話Ⅰ・Ⅱ			各1		
						野村證券寄付講座　日本通運寄付講座Ⅰ・Ⅱ 全国通運連盟寄付講座			各2		
				ダイレクトマーケティング実践講座（旧名称：日本通信販売協会寄付講座）　業界研究特別講座							
		海外研修	2	茨城県経営者協会寄付講座	2	（外）ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ			各1		
						インターンシップ			4		
						インターンシップ（海外）			2		
		災害ボランティアⅠ・Ⅱ			各1	就職準備講座			1		
		資格関連科目（資格一般）（別記1）							各1		
		資格関連科目（資格基礎）（別記2）							各2		
		資格関連科目（資格専門）（別記3）							各4		
	教養基礎科目	哲学Ⅰ・Ⅱ 教育学Ⅰ・Ⅱ 生態学Ⅰ・Ⅱ 言語論Ⅰ・Ⅱ 美術史Ⅰ・Ⅱ イスラム学Ⅰ・Ⅱ 民俗学Ⅰ・Ⅱ スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ （外）日本事情		論理学Ⅰ・Ⅱ 数学Ⅰ・Ⅱ 自然環境論Ⅰ・Ⅱ 文学（日本文学）Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門（日本史）Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ 考古学Ⅰ・Ⅱ 心と身体Ⅰ・Ⅱ		心理学Ⅰ・Ⅱ 情報環境論Ⅰ・Ⅱ 物質科学Ⅰ・Ⅱ 文学（外国文学）Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門（東洋史） 人文地理学Ⅰ・Ⅱ 健康科学論Ⅰ・Ⅱ （外）日本の現在		社会学Ⅰ・Ⅱ 地球科学Ⅰ・Ⅱ 生命科学Ⅰ・Ⅱ 現代文章論Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門（西洋史） 自然地理学Ⅰ・Ⅱ 生涯スポーツの理論と実技 （外）日本の思想	各2	24単位以上	
	専門基礎科目　観光基礎科目	観光学概論		観光社会学		観光心理学		観光人類学	各2	4単位以上	
	専門基礎科目　観光研究科目			国際観光論 アジア社会と観光 文化と観光 観光行動論 観光文化地理（国内） 国際法1・Ⅱ アメリカ文化論		地域づくりの社会学 観光教育論 ライフコースと観光 空間観光論 観光文化地理（海外） 南欧文化論		移動と観光の社会学 障害者旅行論 観光交流論 観光地理 国際関係論Ⅰ・Ⅱ 西欧文化論	各2	34単位以上	
	専門基礎科目　観光実践科目			観光産業論 ホスピタリティ論及び実践 観光政策論 航空・空港事業論 観光と法		ホテルマネジメント論 旅行産業論 交通サービス論 観光医学		リゾートマネジメント論 旅行サービス論 まちづくりと法 危機管理と観光	各2		
				観光研修			4				
				観光インターンシップ					4		
	専門基礎科目　社会学基礎科目			余暇社会学 国際社会学 家族社会学Ⅰ・Ⅱ マス・コミュニケーション論 ジェンダー論Ⅰ・Ⅱ 地域社会論 実践臨床心理学 対人関係論 社会階層論 防災社会論		経済社会学 文化人類学 産業社会学 社会システム論 教育社会学Ⅰ・Ⅱ 心理学概論Ⅰ・Ⅱ カウンセリング 産業組織心理学 社会教育施設論及び実習Ⅰ・Ⅱ		開発社会学 グローバル化と文化 地域社会学Ⅰ・Ⅱ 現代組織論 法社会学Ⅰ・Ⅱ 臨床心理学概説 社会心理学 社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ 国際交流論Ⅰ・Ⅱ	各2		

			1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要	
選択科目	専門発展科目	旅行資格科目	旅行業務論(法令及び国内旅行実務) 旅行業務論(国内地理)		旅行業務論(約款) 旅行業務論(海外地理)		旅行業務論(海外旅行実務) 観光業務論(CRS・国内)		旅行業務論(国際運賃・料金) 観光業務論(CRS・国際)	各2		左記科目の中から86単位以上を履修しなければならない。(注2)
			旅行業務論(GDS・中級)Ⅰ・Ⅱ		旅行業務論(GDS・上級)Ⅰ・Ⅱ					各1		
			旅行業務論(業法)Ⅰ・Ⅱ		旅行業務論(国内料金)Ⅰ・Ⅱ					各1		
		レクリエーション資格科目			スポーツ方法実習					1		
					レクリエーション論		救急教育			各2		
選択科目	専門発展科目	社会調査士科目			社会調査法 社会データ解析		社会調査実践法 社会統計学		質的調査法 計量社会学	各2		
							観光調査実習			4		
		社会福祉主事科目			障害者福祉論 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ		老人福祉論 介護福祉論 福祉行財政と福祉計画論		公的扶助論 保育原理Ⅰ・Ⅱ	各2		
	学部共通科目	経済学(注3)	経済学概論Ⅰ・Ⅱ 統計学概論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ	各2	財政学Ⅰ・Ⅱ 国際経済論Ⅰ・Ⅱ 社会保障論Ⅰ・Ⅱ マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ		日本経済論Ⅰ・Ⅱ 経済地理学Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ		西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 金融論Ⅰ・Ⅱ 産業組織論Ⅰ・Ⅱ 経済学史Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ	各2		
		経営学(注4)	経営学総論Ⅰ・Ⅱ 流通概論Ⅰ・Ⅱ 会計学総論Ⅰ・Ⅱ 簿記論Ⅰ・Ⅱ	各2	事業創造論Ⅰ・Ⅱ 流通政策論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 経営情報論 事業戦略論 経営財務論Ⅰ・Ⅱ 流通史Ⅰ・Ⅱ 組織戦略論 マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 経営情報システム論 原価計算論Ⅰ・Ⅱ 財務会計論Ⅰ・Ⅱ	各2	経営史Ⅰ・Ⅱ Eビジネス概論 ベンチャーキャピタル論 上級簿記論Ⅰ・Ⅱ 監査論Ⅰ・Ⅱ 企業論Ⅰ・Ⅱ Eコマース論 ベンチャービジネス論 ネットワーク経営論 上級財務会計論Ⅰ・Ⅱ 管理会計論Ⅰ・Ⅱ			各2		
		流通情報学(注5)	ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ 情報学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	グローバルロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ 物流ターミナル論Ⅰ・Ⅱ ヒューマンインターフェイス論 ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ		ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ 流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ 情報応用システム論 情報科学Ⅰ・Ⅱ		ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ 通信ネットワーク概論 エルゴノミクス論 災害ロジスティクス論	各2		
		法学(注6)	法学Ⅰ・Ⅱ 政治学Ⅰ・Ⅱ	各2	憲法Ⅰ・Ⅱ 経済法Ⅰ・Ⅱ		民法(財産法)Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ		商法(会社法)Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ	各2		
		スポーツ健康科学(注7)			スポーツと政治 スポーツマネジメント論 スポーツとメディア スポーツ心理学 コーチング論		スポーツと国際関係 スポーツ社会学 発育発達老化の理論・実習 トレーニング論		スポーツと法 スポーツと文化 スポーツ栄養学Ⅰ スポーツ外傷・障害と予防 健康づくりとジョギング	各2		
	教養発展科目		社会倫理学Ⅰ・Ⅱ 現代女性論Ⅰ・Ⅱ		防災科学Ⅰ・Ⅱ メディア論Ⅰ・Ⅱ		日本文化論Ⅰ・Ⅱ 資源環境論Ⅰ・Ⅱ		外国文化論Ⅰ・Ⅱ	各2		
					歴史学特殊講義(東洋史) 英書講読Ⅰ・Ⅱ		歴史学特殊講義(日本史)Ⅰ・Ⅱ		歴史学特殊講義(西洋史)			
							総合教養講座Ⅰ・Ⅱ					
		外国語	英会話AⅠ・AⅡ	各1	英会話CⅠ・CⅡ	各1	英会話EⅠ・EⅡ			各1		
			留学英会話Ⅰ・Ⅱ		留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ(注8)					各1		
			選択英語初級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語初級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語初級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語初級Ⅰ・Ⅱ		選択中国語初級Ⅰ・Ⅱ	各1		
					選択英語中級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語中級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語中級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語中級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語中級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語中級Ⅰ・Ⅱ			
							選択英語上級Ⅰ・Ⅱ 選択フランス語上級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語上級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語上級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語上級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語上級Ⅰ・Ⅱ			
		体育	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ・Ⅱ							各1		
	教職科目		教師論 教育原理 教育心理学 教育社会学概論 道徳教育の研究	各2	教育課程論 特別活動の研究 生徒指導の研究 教育相談	各2	視聴覚教育 教育方法学	2 2				
卒業に必要な単位											124単位以上	

(外)は外国人留学生の科目を示す。
(注1) 1学年、2学年を通じて同じ外国語を履修しなければならない。日本語を母語としない外国人留学生は、1学年で(外)日本語AⅠ・AⅡ、(外)日本語BⅠ・BⅡ、2学年で(外)日本語CⅠ・CⅡ、(外)日本語DⅠ・DⅡ、(外)日本語EⅠ・EⅡを履修しなければならない。
(注2) この欄の単位数を合計すると、4単位以上＋24単位以上＋4単位以上＋34単位以上＝66単位以上となり、86単位以上にはならない。不足分の20単位は、この欄の授業科目から自由に選択して履修すること。
(注3) この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「経済学」を修了した旨の認定を行う。
(注4) この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「経営学」を修了した旨の認定を行う。
(注5) この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「流通情報学」を修了した旨の認定を行う。
(注6) この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「法学」を修了した旨の認定を行う。
(注7) この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「スポーツ健康科学」を修了した旨の認定を行う。
(注8) 外国人留学生は「留学英会話Ⅰ・Ⅱ」及び「留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。

別記1	秘書技能検定準1級　秘書技能検定1級　簿記検定3級　アクセス検定国内3級　アクセス検定国際3級　販売士2級　秘書技能検定2級　話しことば検定3級　話しことば検定2級　日商PC(文書作成)3級　日商PC(データ活用)3級　日商PC(プレゼン資料作成)3級　MOS(スペシャリストレベル)／MCAS(Word)　MOS(スペシャリストレベル)／MCAS(Excel)　漢字検定準2級　ドットコムマスターBASIC
別記2	宅地建物取引士(旧名称：宅地建物取引主任者)簿記検定1級　簿記検定2級　販売士1級　アクセス検定国内2級　アクセス検定国際2級　国内旅行業務取扱管理者　話しことば検定1級　福祉住環境コーディネイター2級　日商PC(文書作成)2級　日商PC(データ活用)2級　日商PC(プレゼン資料作成)2級　経済学検定(B/B+ランク)　経済学検定(ミクロ・マクロ)Aランク　ファイナンシャルプランナー3級　ITパスポート　漢字検定2級　医療事務技能審査　ドットコムマスターシングルスター
別記3	社会保険労務士 行政書士　司法書士　公認会計士　税理士(1科目のみ)　通関士　初級システムアドミニストレーター　アクセス検定国内準1級　アクセス検定国内1級　アクセス検定国際準1級　アクセス検定国際1級　総合旅行業務取扱管理者　基本情報技術者試験　ファイナンシャルプランナー2級　経済学検定(Aランク以上)

国際観光学科　入学年度別教育課程表

		1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要	
必修科目		1年基礎演習	4	2年専門演習	4	3年専門演習	4	4年専門演習	4	16単位	必修科目28単位を履修しなければならない。
		教養諸学入門	2							2単位	
		情報基礎Ⅰ 情報基礎Ⅱ	2 2							4単位	
		人間と社会	2					卒業論文	4	6単位	
選択必修科目	外国語（注1）	英語AⅠ・AⅡ 英語BⅠ・BⅡ ドイツ語AⅠ・AⅡ ドイツ語BⅠ・BⅡ フランス語AⅠ・AⅡ フランス語BⅠ・BⅡ 中国語AⅠ・AⅡ 中国語BⅠ・BⅡ スペイン語AⅠ・AⅡ スペイン語BⅠ・BⅡ 朝鮮（韓国）語AⅠ・AⅡ 朝鮮（韓国）語BⅠ・BⅡ ポルトガル語・ブラジル語AⅠ・AⅡ ポルトガル語・ブラジル語BⅠ・BⅡ	各1	英語CⅠ・CⅡ 英語DⅠ・DⅡ 英語EⅠ・EⅡ ドイツ語CⅠ・CⅡ ドイツ語DⅠ・DⅡ ドイツ語EⅠ・EⅡ フランス語CⅠ・CⅡ フランス語DⅠ・DⅡ フランス語EⅠ・EⅡ 中国語CⅠ・CⅡ 中国語DⅠ・DⅡ 中国語EⅠ・EⅡ スペイン語CⅠ・CⅡ スペイン語DⅠ・DⅡ スペイン語EⅠ・EⅡ 朝鮮（韓国）語CⅠ・CⅡ 朝鮮（韓国）語DⅠ・DⅡ 朝鮮（韓国）語EⅠ・EⅡ ポルトガル語・ブラジル語CⅠ・CⅡ ポルトガル語・ブラジル語DⅠ・DⅡ ポルトガル語・ブラジル語EⅠ・EⅡ	各1							1カ国語を選択し、10単位を履修しなければならない。
		（外）日本語AⅠ・AⅡ （外）日本語BⅠ・BⅡ	各1	（外）日本語CⅠ・CⅡ （外）日本語DⅠ・DⅡ （外）日本語EⅠ・EⅡ	各1						
	キャリア科目	RKU入門	1							4単位以上	
		キャリアデザイン キャリアマネジメント	各2	キャリアカウンセリング	2						
				初級英会話（観光）Ⅰ・Ⅱ			各1				
		キャリア基礎Ⅰ・Ⅱ	各1	キャリア基礎（実践講座）Ⅰ・Ⅱ	各1	中上級英会話（観光）Ⅰ・Ⅱ			各1		
				初級中国語会話Ⅰ・Ⅱ			各1				
						中上級中国語会話Ⅰ・Ⅱ			各1		
						野村證券寄付講座 全国通運連盟寄付講座		日本通運寄付講座Ⅰ・Ⅱ	各2		
		海外研修	2	茨城県経営者協会寄付講座	2	（外）ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ			各1		
						インターンシップ			4		
						インターンシップ（海外）			2		
		災害ボランティアⅠ・Ⅱ			各1	就職準備講座			1		
		資格関連科目（資格一般）（別記1）							各1		
		資格関連科目（資格基礎）（別記2）							各2		
		資格関連科目（資格専門）（別記3）							各4		
	教養基礎科目	哲学Ⅰ・Ⅱ 教育学Ⅰ・Ⅱ 生態学Ⅰ・Ⅱ 言語論Ⅰ・Ⅱ 美術史Ⅰ・Ⅱ イスラム学Ⅰ・Ⅱ 民俗学Ⅰ・Ⅱ スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ （外）日本事情		論理学Ⅰ・Ⅱ 数学Ⅰ・Ⅱ 自然環境論Ⅰ・Ⅱ 文学（日本文学）Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門（日本史）Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ 考古学Ⅰ・Ⅱ 心と身体Ⅰ・Ⅱ		心理学Ⅰ・Ⅱ 情報環境論Ⅰ・Ⅱ 物質科学Ⅰ・Ⅱ 文学（外国文学）Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門（東洋史） 人文地理学Ⅰ・Ⅱ 健康科学論Ⅰ・Ⅱ （外）日本の現在		社会学Ⅰ・Ⅱ 地球科学Ⅰ・Ⅱ 生命科学Ⅰ・Ⅱ 現代文章論Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門（西洋史） 自然地理学Ⅰ・Ⅱ 生涯スポーツの理論と実技 （外）日本の思想	各2	24単位以上	左記科目の中から86単位以上を履修しなければならない。（注2）
	専門基礎科目 観光基礎科目	観光学概論		観光社会学		観光心理学		観光人類学	各2	4単位以上	
	観光研究科目			国際観光論 アジア社会と観光 文化と観光 観光行動論 観光文化地理（国内） 国際法1・Ⅱ		地域づくりの社会学 観光教育論 ライフコースと観光 空間観光論 観光文化地理（海外） 南欧文化論		移動と観光の社会学 障害者旅行論 観光交流論 観光地理 国際関係論Ⅰ・Ⅱ	各2	34単位以上	
	観光実践科目			観光産業論 ホスピタリティ論及び実践 航空・空港事業論 観光と法 観光政策論		ホテルマネジメント論 旅行産業論 交通サービス論 観光医学		リゾートマネジメント論 旅行サービス論 まちづくりと法 危機管理と観光	各2		
				観光研修			4				
				観光インターンシップ					4		
	社会学基礎科目			余暇社会学 国際社会学 家族社会学Ⅰ・Ⅱ マス・コミュニケーション論 ジェンダー論Ⅰ・Ⅱ 地域社会論 実践臨床心理学 対人関係論 社会階層論		経済社会学 文化人類学 産業社会学 社会システム論 教育社会学Ⅰ・Ⅱ 心理学概論Ⅰ・Ⅱ カウンセリング 産業組織心理学 防災社会論		開発社会学 グローバル化と文化 地域社会学Ⅰ・Ⅱ 現代組織論 法社会学Ⅰ・Ⅱ 臨床心理学概説 社会心理学 社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ	各2		

			1学年 授業科目	単位数	2学年 授業科目	単位数	3学年 授業科目	単位数	4学年 授業科目	単位数	摘要	
選択科目	専門発展科目	旅行資格科目	旅行業務論(法令及び国内旅行実務) 旅行業務論(国内地理)		旅行業務論(約款) 旅行業務論(海外地理)		旅行業務論(海外旅行実務) 観光業務論(CRS・国内)		旅行業務論(国際運賃・料金) 観光業務論(CRS・国際)	各2		左記科目の中から86単位以上を履修しなければならない。(注2)
			旅行業務論(GDS・中級)Ⅰ・Ⅱ		旅行業務論(GDS・上級)Ⅰ・Ⅱ					各1		
			旅行業務論(業法)Ⅰ・Ⅱ		旅行業務論(国内料金)Ⅰ・Ⅱ					各1		
		レクリエーション資格科目			スポーツ方法実習					1		
					レクリエーション論		救急教育			各2		
	専門発展科目	社会調査士科目			社会調査法 社会データ解析		社会調査実践法 社会統計学		質的調査法 計量社会学	各2		
							観光調査実習			4		
		社会福祉主事科目			障害者福祉論 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ		老人福祉論 介護福祉論 福祉行財政と福祉計画論		公的扶助論 保育原理Ⅰ・Ⅱ	各2		
		社会教育主事科目			生涯学習概論Ⅰ・Ⅱ 企業内教育論		社会教育計画Ⅰ・Ⅱ 社会教育施設論及び実習Ⅰ・Ⅱ		国際交流論Ⅰ・Ⅱ	各2		
	学部共通科目	経済学(注3)	経済学概論Ⅰ・Ⅱ 統計学概論Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ	各2	財政学Ⅰ・Ⅱ 国際経済論Ⅰ・Ⅱ 社会保障論Ⅰ・Ⅱ マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ		日本経済論Ⅰ・Ⅱ 経済地理学Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ		西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 金融論Ⅰ・Ⅱ 産業組織論Ⅰ・Ⅱ 経済学史Ⅰ・Ⅱ 労働経済論Ⅰ・Ⅱ	各2		
		経営学(注4)	経営学総論Ⅰ・Ⅱ 流通概論Ⅰ・Ⅱ 会計学総論Ⅰ・Ⅱ 簿記論Ⅰ・Ⅱ	各2	事業創造論Ⅰ・Ⅱ 流通政策論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 経営情報論 事業戦略論 経営財務論Ⅰ・Ⅱ 流通史Ⅰ・Ⅱ 組織戦略論 マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 経営情報システム論 原価計算論Ⅰ・Ⅱ 財務会計論Ⅰ・Ⅱ	各2	経営史Ⅰ・Ⅱ Eビジネス概論 ベンチャーキャピタル論 上級簿記論Ⅰ・Ⅱ 監査論Ⅰ・Ⅱ 企業論Ⅰ・Ⅱ Eコマース論 ベンチャービジネス論 ネットワーク経営論 上級財務会計論Ⅰ・Ⅱ 管理会計論Ⅰ・Ⅱ			各2		
		流通情報学(注5)	ロジスティクス概論Ⅰ・Ⅱ 情報学概論Ⅰ・Ⅱ	各2	グローバルロジスティクス論Ⅰ・Ⅱ 物流ターミナル論Ⅰ・Ⅱ ヒューマンインターフェイス論 ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ		ロジスティクスシステム論Ⅰ・Ⅱ 流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ 情報応用システム論 情報科学Ⅰ・Ⅱ		ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ 通信ネットワーク概論 エルゴノミクス論 災害ロジスティクス論	各2		
		法学(注6)	法学Ⅰ・Ⅱ 政治学Ⅰ・Ⅱ	各2	憲法Ⅰ・Ⅱ 経済法Ⅰ・Ⅱ 刑法(総論)Ⅰ・Ⅱ		民法(財産法)Ⅰ・Ⅱ 労働法Ⅰ・Ⅱ		商法(会社法)Ⅰ・Ⅱ 法制史Ⅰ・Ⅱ	各2		
		スポーツ健康科学(注7)			スポーツ文化論 スポーツマネジメント論 発育・発達論 スポーツ産業論 スポーツ心理学		スポーツトレーニング論 スポーツジャーナリズム論 スポーツ外傷・障害と予防 スポーツと法 スポーツメディア論		スポーツ・ジェンダー論(スポーツと女性) コーチ学 健康づくりとジョギング スポーツと栄養Ⅰ スポーツと余暇	各2		
	教養発展科目		社会倫理学Ⅰ・Ⅱ 現代女性論Ⅰ・Ⅱ		防災科学Ⅰ・Ⅱ メディア論Ⅰ・Ⅱ		日本文化論Ⅰ・Ⅱ 資源環境論Ⅰ・Ⅱ		外国文化論Ⅰ・Ⅱ	各2		
					歴史学特殊講義(東洋史) 英書講読Ⅰ・Ⅱ		歴史学特殊講義(日本史)Ⅰ・Ⅱ		歴史学特殊講義(西洋史)			
							総合教養講座Ⅰ・Ⅱ					
		外国語	英会話AⅠ・AⅡ	各1	英会話CⅠ・CⅡ	各1	英会話EⅠ・EⅡ			各1		
			留学英会話Ⅰ・Ⅱ		留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ(注8)					各1		
			選択英語初級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語初級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語初級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語初級Ⅰ・Ⅱ		選択中国語初級Ⅰ・Ⅱ	各1		
					選択英語中級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語中級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語中級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語中級Ⅰ・Ⅱ		選択フランス語中級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語中級Ⅰ・Ⅱ			
							選択英語上級Ⅰ・Ⅱ 選択フランス語上級Ⅰ・Ⅱ 選択スペイン語上級Ⅰ・Ⅱ 選択ポルトガル語・ブラジル語上級Ⅰ・Ⅱ		選択ドイツ語上級Ⅰ・Ⅱ 選択中国語上級Ⅰ・Ⅱ 選択朝鮮(韓国)語上級Ⅰ・Ⅱ			
		体育	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ・Ⅱ							各1		
	教職科目		教師論 教育原理 教育心理学 教育社会学概論 道徳教育の研究	各2	教育課程論 特別活動の研究 生徒指導の研究 教育相談	各2	視聴覚教育 教育方法学	2 2				
卒業に必要な単位											124単位以上	

(外)は外国人留学生の科目を示す。
(注1) 1学年、2学年を通じて同じ外国語を履修しなければならない。日本語を母語としない外国人留学生は、1学年で(外)日本語AⅠ・AⅡ、(外)日本語BⅠ・BⅡ、2学年で(外)日本語CⅠ・CⅡ、(外)日本語DⅠ・DⅡ、(外)日本語EⅠ・EⅡを履修しなければならない。
(注2) この欄の単位数を合計すると、4単位以上＋24単位以上＋4単位以上＋34単位以上＝66単位以上となり、86単位以上にはならない。不足分の20単位は、この欄の授業科目から自由に選択して履修すること。
(注3) この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「経済学」を修了した旨の認定を行う。
(注4) この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「経営学」を修了した旨の認定を行う。
(注5) この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「流通情報学」を修了した旨の認定を行う。
(注6) この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「法学」を修了した旨の認定を行う。
(注7) この欄から20単位以上を修得した場合には、卒業時に副専攻「スポーツ健康科学」を修了した旨の認定を行う。
(注8) 外国人留学生は「留学英会話Ⅰ・Ⅱ」及び「留学中国語会話Ⅰ・Ⅱ」を履修できない。

別記1	秘書技能検定準1級　秘書技能検定1級　簿記検定3級　アクセス検定国内3級　アクセス検定国際3級　販売士2級　秘書技能検定2級　話しことば検定3級　話しことば検定2級　日商PC(文書作成)3級　日商PC(データ活用)3級　日商PC(プレゼン資料作成)3級　MOS(スペシャリストレベル)／MCAS(Word)　MOS(スペシャリストレベル)／MCAS(Excel)　漢字検定準2級　ドットコムマスターBASIC
別記2	宅地建物取引士(旧名称：宅地建物取引主任者)簿記検定1級　簿記検定2級　販売士1級　アクセス検定国内2級　アクセス検定国際2級　国内旅行業務取扱管理者　話しことば検定1級　福祉住環境コーディネイター2級　日商PC(文書作成)2級　日商PC(データ活用)2級　日商PC(プレゼン資料作成)2級　経済学検定(B/B⁺ランク)　経済学検定(ミクロ・マクロ)Aランク　ファイナンシャルプランナー3級　ITパスポート　漢字検定2級　医療事務技能審査　ドットコムマスターシングルスター
別記3	社会保険労務士 行政書士　司法書士　公認会計士　税理士(1科目のみ)　通関士　初級システムアドミニストレーター　アクセス検定国内準1級　アクセス検定国内1級　アクセス検定国際準1級　アクセス検定国際1級　総合旅行業務取扱管理者　基本情報技術者試験　ファイナンシャルプランナー2級　経済学検定(Aランク以上)

履 修 の 手 引

履修の手引

この履修要綱は、基本的に春学期入学の学生を対象としたものです。秋学期入学の学生は、別の資料も参照してください。

1.　セメスター制

本学では、セメスター制を採用しています。セメスター制とは、学年を春学期と秋学期とに分け、基本的にはそれぞれの学期（セメスター）で単位を修得し、卒業にいたる制度です。

2.　単位制

単位制とは、「教育課程表」に記載されている科目を履修し、科目ごとに定められている単位を修得して、原則として4年間のうちに、卒業に必要な単位を修得する制度です。

⑴　単位の計算方法

単位は、講義科目を基本として１単位あたり45時間の学修を必要とする内容で構成されています。２単位の授業科目は、90時間の学修時間が必要という意味です。この内、1/3は授業時間内の学修に、2/3が授業時間外の予習・復習に当てられています。単位数の多い科目は、予習・復習にそれだけ多くの学修時間をかけなければなりません。

⑵　科目の単位数

科目の単位数は、１単位、2単位、4単位のいずれかであり、「教育課程表」および履修要綱に記載されています。

授業は基本的に週１回行われ、その授業形態によって、下記のように単位数が決められています。

1)　演習（ゼミ）：通年の30回の授業で４単位。
2)　外国語科目：各学期（春、秋）15回の授業で１単位。
3)　体育科目・スポーツ実技科目：各学期（春、秋）15回の授業で１単位。
4)　情報科目：各学期（春、秋）15回の授業で２単位。
5)　講義科目：各学期（春、秋）15回の授業で２単位。
6)　実習科目：各学期（春、秋）15回の授業で２単位。

3.　最高履修単位数

年間の最高履修単位数は下表の通りです。

学部／入学年度	経済	社会	流通情報	法	スポーツ健康科学
2010以降	1・2学年　44	3・4学年　49			
2009	1・2学年　44	3・4学年　49			44

・入学生（スポーツ健康科学部は2010年度以降）の各学期の最高履修単位数は、1・2学年は26単位、3・4学年は28単位です。ただし、1・2学年では年間の最高履修単位数は44単位ですので、片方の学期で26単位を履修した場合には、もう片方の学期での最高履修単位数は18単位となります。3・4学年では年間の最高履修単位数は49単位ですので、片方の学期で28単位を履修した場合には、もう片方の学期での最高履修単位数は21単位となります。

・スポーツ健康科学部2009年度の入学生の各学期における最高履修単位数は26単位です。ただし、年間の最高履修単位数は44単位ですので、片方の学期で26単位を履修した場合には、もう片方の学期での最高履修単位数は18単位となります。

4. ３学年進級に必要な単位数

２学年終了時において、１年演習（ゼミ）・２年演習（ゼミ）を含め、40単位に達している場合に３学年への進級を認めます。

・「教育課程表」以外の科目で修得した単位は、３学年進級に必要な単位数には含まれません。

・**２年演習（ゼミ）の単位を修得できなかった場合**でも、**１年演習（ゼミ）の単位を修得した上で、**上記の表で示した単位数を満たしていれば、３学年へ進級できます。ただし、**卒業までに２年演習（ゼミ）の単位を修得しなければなりません。なお、2013年度以降の経営学科入学生は除きます。**

５. 卒業

⑴ 修業年限

４年以上在学し、卒業に必要な所定の単位を修得した学生は、「卒業」となります。卒業に必要な所定の単位が修得できずに４年の在学年数を超えて在籍する学生は、卒業に必要な単位を修得した学年で卒業となりますが、履修登録時に届出をすることにより、卒業に必要な単位を修得した学期で卒業することもできます。なお、卒業に必要な単位を満たした上で４年を超えて在学することはできません。

秋学期入学の学生も、卒業に必要な修業年限・単位は春学期入学の学生と変わりません。

⑵ 学位

卒業した学生には、次の区分に従い「卒業証書・学位記」を授与します。

学部	学科	学位
経済学部	経済学科	学士（経済学）
	経営学科	学士（経営学）
社会学部	社会学科	学士（社会学）
	国際観光学科	学士（社会学）
流通情報学部	流通情報学科	学士（流通情報学）
法学部	ビジネス法学科	学士（法学）
	自治行政学科	学士（法学）
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	学士（スポーツ健康科学）

⑶ 副専攻の認定

副専攻に関する所定の要件を満たした学生には、申請手続をすることで卒業時に「副専攻」を認定します。対象となる学部・学科および入学年度は、次の通りです。

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">学部・学科
入学年度</td><td colspan="2">経済</td><td rowspan="2">社会</td><td rowspan="2">流通情報</td><td rowspan="2">法</td><td rowspan="2">スポーツ健康科学</td></tr>
<tr><td>経済</td><td>経営</td></tr>
<tr><td rowspan="2">認定される副専攻</td><td>2010
以降</td><td rowspan="2">経営学
流通情報学
社会学
法学
スポーツ健康科学</td><td rowspan="2">経済学
流通情報学
社会学
法学
スポーツ健康科学</td><td rowspan="2">経済学
経営学
流通情報学
法学
スポーツ健康科学</td><td rowspan="2">経済学
経営学
社会学
法学
スポーツ健康科学</td><td rowspan="2">経済学
経営学
流通情報学
社会学
スポーツ健康科学</td><td>経済学
経営学
流通情報学
法学
社会学</td></tr>
<tr><td>2009</td><td>経済学
法学
社会・福祉学
観光学</td></tr>
</table>

⑷　卒業発表

卒業発表は、毎年３月および９月に行います。電話・メールなどによる問い合わせには応じられません。

⑸　卒業式

卒業が決定した学生は、卒業式に出席し、学生証と引き換えに「卒業証書・学位記」を受け取ってください。

６．科目の履修

科目の履修に際しては、教室で授業を受けるだけでなく、シラバスや教室での指導に基づいて自主的に予習・復習をしてください。また、指定された参考図書などについても学習してください。

⑴　科目の区分

各学年の学生が履修すべき科目は、「教育課程表」に記載されています。

必 修 科 目：非常に重要度の高い科目であり、指定された学年に必ず履修しなければならない科目です。指定された学年で修得できなかった場合には、原則として次年度に必ず履修しなければなりません。

選択必修科目：必修科目に次いで重要度の高い科目であり、教育課程表の摘要欄に記されている条件を満たすように科目を選択して、履修しなければならない科目です。

選 択 科 目：必ず履修しなければならない科目ではなく、自由に選択して履修することができる科目です。履修すれば卒業単位に算入されます。

自 由 科 目：成績表には記載されますが、卒業単位には算入されない科目です。また、各学年の最高履修単位数にも算入されません。ただし、スポーツ健康科学部の開講科目を他学部から自由科目として履修することはできません。

⑵　履修登録（事前登録）

科目の履修にあたっては、事前に登録をしなければなりません。この登録が完了した時点で、科目の履修が確定し、各自の時間割が決定します。ただし、一部、登録が必要でない科目もあります。

1)　各科目の時間割、担当教員等については、３月に発表します。履修ガイダンスに出席し、各自であらかじめ履修したい科目を決めておき、定められた期間に履修登録を行ってください。

2)　指定された期間に履修登録手続を怠った場合や誤った登録をした場合、その年度の履修は無効となります。

3)　履修登録は、Ring（RKU Interchange for Groups）で行います。

７．単位の修得

1)　履修登録した科目に対してのみ単位の修得が認められます。未登録科目を履修しても単位は与えられません。ただし、別に定めるところにより、単位の修得を認めることがあります（単位の認定）。

2)　登録した科目について、「S・A・B・C」いずれかの成績評価が付与された場合に、当該科目の単位の修得が認められます。「D」（不合格）または「/」（評価不能）が付与された場合には、当該科目の単位の修得は認められません。

3)　単位は、各学期（春・秋）ごとに与えられます。演習などの通年授業科目の単位は、春学期および秋学期の成績を総合して付与されます（片方の学期だけ履修しても単位は与えられません）。

4)　単位を修得できなかった科目については、再履修してください。ただし、必修以外の科目については、別の科目を選択し、履修しても構いません。

5)　一度単位を修得した科目（成績の付与された科目）については、再度履修して単位を取り直すことはできま

せん。

８. 休講と補講

休講の案内は、Ringで行います。休講となった場合には補講が行われます。補講は、原則として、当該授業のある曜日の5時限または土曜日の午前・午後（龍ケ崎キャンパス）、6時限または土曜日の午後（新松戸キャンパス）に行われます。補講の詳細については、Ringに掲載します。

９. 出席調査

授業では出席を調査します。出席調査は、パソコン・スマートフォン・携帯電話、出席カードや提出物等により行います。インターネットやWi-Fiに接続できるパソコン・スマートフォン・携帯電話等を準備してください。

10. 災害時の授業

台風や大雪、あるいは地震などにより大きな災害が発生した場合には、電車やバス等の公共交通機関が運行できなくなる事態が予測されます。その場合には、その都度、授業を実施するか否かを発表しますので、各自以下の方法で確認してください。

1）　Ring　　https://ring.rku.ac.jp/

2）　災害時連絡ダイヤル　　0297-64-0009

11. 試験

⑴　定期試験

1）　定期の試験として、春学期試験と秋学期試験があります。

　　春学期試験　７月下旬～８月上旬（約２週間）

　　秋学期試験　１月下旬～２月初旬（約２週間）

2）　試験時間割と注意事項は、各試験の１週間前までに発表しますので、各自で確認してください。

⑵　試験に関する注意事項

1）　学生証は必ず携帯し、試験監督者が見やすい場所（机の上）に常に置いてください。学生証を提示しない者は受験できません。学生証を忘れた者は、学生生活課（龍ケ崎）・学務課（新松戸）で、一日有効の仮学生証（有料）を発行してもらい受験してください。

2）　遅刻は、試験開始後20分以内に限り認めます。ただし、試験時間は延長しません。

3）　試験場からの退場は、試験開始後30分以内は許可しません。

4）　試験中は、携帯情報端末等（携帯電話・スマートフォン・通信機能付き電子辞書等）の電源を切り、カバン、バッグなどの中に入れておいてください。（時計・辞書の代わりにはできません）

5）　試験場における行動は、すべて試験監督者の指示に従ってください。

6）　試験中（定期試験および定期試験以外）に不正行為があった場合には、「試験規則」第８条により処置します。

　　不正行為とは、次のような行為です。

　　・他の学生の答案を見ること。

　　・他の学生とコミュニケーション（話、目くばせなど）をとること。

　　・カンニング・ペーパーを持ち込み、それらを見ること。

　　・許可されていないコピー、テキストなどを持ち込み、それらを見ること。

・通信機器を用いて外部と連絡をとること。
・あらかじめ机に必要事項を書いておき、それらを見ること。
・本人以外の者が代理で受験をすること。
・他の学生と物品の貸し借りをすること。
・その他、適正な成績評価を妨げる行為を行うこと。

⑶　追試験

定期試験に欠席した場合には、「試験規則」第４条、第５条により、追試験を願い出ることができます。追試験の願い出は、欠席した試験が行われた日から起算して７日以内に行わなければなりませんが、できるだけ早い時期に、必要な公的証明書などを添付して、教務課・学務課に申し出てください。入院等により登校できない場合には、教務課・学務課に電話連絡をして指示を受けてください。

⑷　再試験

再試験は原則として行いません。ただし、卒業該当年次生で、卒業に必要な単位が不足する学生に対して、次の要件をすべて満たす場合に限り、再試験の受験を認めることがあります。

1)　卒業に必要な単位数が不足する場合、その不足科目が４科目以内であること。ただし、５年以上在籍した学生の卒業に必要な単位数が不足する場合には、その不足科目が６科目以内であること。
2)　卒業年次に履修登録が行われている科目であること。
3)　出席不良等の理由で評価不能とされた科目でないこと。
4)　本人の申請があること。

⑸　レポート提出に関する注意事項

担当教員の指示によりレポートを提出するときは、次の事項に注意してください。

1)　指示した期限までに指定場所に提出してください。期限後の提出は無効となります。
2)　特別の指示のない限り、Ａ４版の用紙を使用し、とじてください。表紙には、科目名、担当教員名、課題、学生番号および氏名を黒インクで明記してください。

12. 不正行為

試験、出席調査、提出物、その他の授業の実施に係る行為において不正をしてはいけません。試験中に不正行為があった場合は、「試験規則」第８条により処置します。また、出席調査、提出物、その他の授業の実施に係る行為において不正があった場合は、「試験規則」第８条に準じて処置することがあります。

13. 成績評価

1)　成績は、授業科目ごとに行う試験（筆記試験、論文、レポート、口述試験、実技テスト）およびその他担当教員の指定する方法によって評価されます。
2)　成績は、100点法によって評価され、60点（2012年度以前入学生は50点）以上を合格とし、所定の単位が与えられます。

適用年度	2013年度以降入学生適用			
合格評価	「Ｓ」（90点以上）	「Ａ」（80点～89点）	「Ｂ」（70点～79点）	「Ｃ」（60点～69点）
不合格評価	「Ｄ」（59点以下）	「／」（評価不能）		

適用年度	2012年度以前入学生適用			
合格評価	「Ｓ」（90点以上）	「Ａ」（80点～89点）	「Ｂ」（60点～79点）	「Ｃ」（50点～59点）
不合格評価	「Ｄ」（49点以下）	「／」（評価不能）		

ただし、100点法によらず単位が認定される科目もあります。

単位認定「R」

3)　成績表は各学期終了後に交付します。ただし、通年科目（演習など）はその学年終了後に交付します。

4)　成績表は、各学期終了後に保証人（父母）宛に郵送します。

5)　成績に関して質問のある学生は、「成績確認願」を教務課・学務課に提出し、その成績の確認を求めることができます。

14. ＧＰＡ

本学では、ＧＰＡ（グレード・ポイント・アベレージ：履修科目の成績の平均値）を算出する制度を定めています。ＧＰＡは、学生の学習意欲を高めるとともに、本学が掲げる教育の質の保証についての具体化を進め、適切な修学指導に資することを目的としています。

1)　ＧＰＡの算出方法

ＧＰＡは、ＧＰＡ対象授業科目のうち、履修登録した科目についてそれぞれの単位数にグレードポイント（４、３、２、１、０のいずれか）をかけ、その合計ポイントを単位数の総和で割ったものとなります。

2)　グレードポイント

成績評価に対するグレードポイントは下表の通りです。

評価	2013年度以降入学生	2012年度以前入学生
S	4	3
A	3	3
B	2	2
C	1	1
D	0	0
/	0	0
R	適用除外	適用除外

3)　ＧＰＡ対象授業科目と適用除外科目

適用除外科目を除くすべての授業科目がＧＰＡの対象となります。

以下の科目は適用除外科目です。これらの科目にはグレードポイントが付加されず、修得単位や成績はＧＰＡの計算には使用しません。

1　合格か不合格かだけを判定する授業科目（Ｒ認定）

2　編入学または転入学した際の単位認定科目

3　本学入学前に修得した単位認定科目

4　他大学との単位互換等で修得した科目

4)　ＧＰＡの活用

ＧＰＡは、本学大学院の内部推薦基準、特別奨学生の採用基準、また学修指導や退学勧告の資料として利用されます。

15. 単位の認定

本学では、大学での正規の授業以外に、学生のキャリア開発に関連する諸活動や公的機関による資格・検定試験の合格などに単位を認定する制度を整えています。なお、各検定試験の合格証明書は、申請日から過去３年間のものを有効とします（2013年度入学生から適用）。これらについての履修登録は必要なく、それぞれの認定要件を満たした段階で申請すると、単位が認定されます。認定される単位数は、合計で60単位までです。また、認定された単位数（スポーツトレーニング実技を除く）は、学年別の最高履修単位数には含まれません。

⑴　外国語科目の単位認定

公的な機関による下の表に記した検定試験などで基準点以上の成績を修めた者が、所定の手続きを経て、その合格証（成績表・認定証など）を提出した場合には、外国語科目を履修したものとみなし、その単位を認定します。

認定科目と試験の種類 ＼ 認定単位数			1単位認定	2単位認定	4単位認定	6単位認定	8単位認定
英語	英語検定	日本英語検定協会	準2級	2級	準1級		1級
英語	TOEIC	ETS	400点以上	450点以上	550点以上		700点以上
英語	TOEIC Bridge	ETS	150点以上				
英語	TOEFL	ETS		450点以上	500点以上		550点以上
英語	TOEFL IBT	ETS		45点以上	61点以上		79点以上
中国語	中国語検定	日本中国語検定協会		準4級	4級		3級以上
中国語	漢語水平考試	漢語水平考試委員会		2級以上	4級	5級	6級以上
ドイツ語	ドイツ語技能検定	ドイツ語学文学振興会		4級	3級		2級以上
フランス語	フランス語技能検定	フランス語教育振興協会		4級	3級		2級以上
スペイン語	スペイン語技能検定	日本スペイン協会		6級	5級以上		3級以上
日本語	日本語能力	日本国際教育支援協会	2級、N2	1級、N1			
日本語	J.TEST実用日本語検定	日本語検定協会	600点以上	700点以上			
日本語	日本留学	日本学生支援機構		260点以上			

・TOEICおよびTOEFLの基準点は変更する場合があります。

・TOEICには「一般公開テスト」（SP）と「団体特別受験」（IP）の2種類があります。

＊「一般公開テスト」がいわゆるTOEICで、TOEIC運営委員会とアメリカの公的機関であるETS（Educational Testing Service）により正式な認定証が発行されます。

＊「団体特別受験」は各企業・大学が責任をもって実施する試験で、正式な認定証は発行されません（ただし、TOEIC運営委員会と実施団体による認定証は発行されます）。

＊本学では、「一般公開テスト」「団体特別受験」のどちらのスコアでも単位認定の対象とします。

・選択中国語上級Ⅰ・Ⅱの単位認定の場合は、中国語検定の準4級と漢語水平考試の2級・3級を対象としません。

1)　単位認定は、秋学期定期試験期間終了時までに申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同試験期間終了後に申請のあったものについては次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から

春学期定期試験期間終了時までに申請があった場合は春学期に行います。

2) 単位認定を希望する者は、必要事項を記入した「単位認定申請書」とそれぞれの試験の「合格証など」を教務課・学務課に提出して申請してください。卒業・進級学年の学生で卒業・進級のため単位認定が必要な場合は、必ず上記の各試験期間終了時までに申請してください。

3) 同一の外国語で複数の試験・級に合格した場合は、最上位の試験・級のみが単位認定の対象となります。すでに異なる試験・級・得点により単位認定を受けている場合は、新たに認定を受けられる単位数は、認定済みの単位数を減じた単位数です。

認定を受けられる単位数は、最高で8単位です。

4) 認定される外国語科目は学部により異なりますので、教務課・学務課にて確認してください。

5) 日本語の単位認定を行う場合は、外国語科目の「日本語」各科目のほか、キャリア科目の「（外）ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ」をも認定科目とした上で、当該学生の単位未修得科目の中から、日本語EⅡ、日本語EⅠ、日本語A・B・C・D各Ⅰ・Ⅱ、（外）ビジネス日本語の順序で単位認定を行うものとします。

(2) スポーツトレーニング実技の単位認定（スポーツ健康科学部は除く）

重点部に所属する学生について、課外活動状況により「選択スポーツトレーニング実技」を履修したものとみなし、その単位を認定します。

1) 対象学生は、ラグビーフットボール部、剣道部（男・女）、柔道部、サッカー部、陸上競技部（長距離）、アメリカンフットボール部、硬式野球部に所属する学生（マネージャーは除く）です。

2) 単位認定を希望する学生は、所定の申請書を作成し、所属する部に提出してください。各部で集約した申請書は、体育指導センターを通して、教務課へ提出されます。

3) 単位の認定は、①重点部の活動状況、②部活動への出席状況、③部の練習態度、④部の戦績などをチェックして、体育指導センターが原案を作成し、教授会の議を経て決定します。

4) １学年の春学期に１単位、秋学期に１単位を認定します。１学年で認定されなかった場合には、それ以降の学年で単位認定を申請することができます。

(3) 法学関連科目の単位認定

法学検定およびビジネス実務法務検定試験に合格した学生に、下記の通り単位の認定をします。

認定科目と検定試験の種類 ＼ 認定単位数				４単位認定	６単位認定	８単位認定
(法学部の2008年度~2012年度入学生) スポーツと法　Ⅰ・Ⅱ 法と文化(アジア)　Ⅰ・Ⅱ 法と文化(欧米)　Ⅰ・Ⅱ 現代社会と法　Ⅰ・Ⅱ (経済・社会・流通情報学部の学生) 学部共通科目の法学分野の科目	(法学部の2013年度以降入学生) スポーツと法 法学特殊講義(私法)　Ⅰ・Ⅱ 法学特殊講義(公法)　Ⅰ・Ⅱ 現代社会と法　Ⅰ・Ⅱ	法学検定	㈶日弁連法務研究財団 ㈳商事法務研究会	ベーシック ＜基礎＞ コース (旧４級)	スタンダード ＜中級＞ コース (旧３級)	アドバンスト ＜上級＞ コース (旧２級)
		ビジネス実務法務検定	東京商工会議所	３級	２級	１級

1) 単位認定は、秋学期定期試験期間終了時までに申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同試験期間終了後に申請のあったものについては次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から春学期定期試験期間終了時までに申請があった場合は春学期に行います。

2)　単位認定を希望する者は、必要事項を記入した「単位認定申請書」とそれぞれの試験の「合格証など」を教務課・学務課に提出して申請してください。卒業・進級学年の学生で卒業・進級のため単位認定が必要な場合は、必ず上記の各試験期間終了時までに申請してください。

3)　法学部の学生については、上の表に示した科目から認定します。

4)　経済・社会・流通情報学部の学生については、学部共通科目の法学分野の科目から認定します。スポーツ健康科学部の学生のうち、2009年度以前の入学生については、副専攻科目・法学の各科目から、2010年度以降の入学生については、学部共通科目の法学分野の科目から、それぞれ認定します。

5)　同一の検定試験で複数の級に合格した場合には、上位の級のみが単位認定の対象となります。異なる級の合格によりすでに単位認定を受けている場合は、新たに認定を受けられる単位数は、認定済みの単位数を減じた単位数とします。

6)　認定を受けられる最高単位数は、総計8単位とします。

⑷　外国留学

本学の「留学に関する規則」に基づき、外国留学をした学生（外国人留学生を除く）に、留学中の学修内容を審査した上で、教育課程表にある科目の単位認定を行います。

1)　外国留学を希望する学生は、留学２ヶ月前までに「留学願」を学長に提出し、国際交流センターの承認を受けてください。

2)　単位認定を希望する学生は、留学先からの「出席状況および成績に関する証明書」、「修了証」等を添付し、「単位認定願」を学長に提出してください。

3)　単位の認定は、国際交流センターの小委員会が原案を作成し、教授会の議を経て決定します。

4)　留学期間中の「演習」については、担当教員と留学者がインターネット等を利用しながら、相互に緊密な連絡を取り合ってください。担当教員は留学者に対して必要な教育、指導を行い、単位を付与します。演習の単位は認定単位には含めません。

5)　外国留学をした学生には、「海外研修」(2単位) の単位認定も行われます。

⑸　キャリア科目の単位認定

一部のキャリア科目について単位認定を行ないます（スポーツ健康科学部は2010年度以降の入学生を対象）。

1)　単位認定を行う科目には、「ＲＫＵ入門」、「ＲＫＵ実践」、「海外研修」、「インターンシップ（海外）」、「就職準備講座」、資格関連科目である「資格一般」、「資格基礎」、「資格専門」があります。

2)　単位認定の方法、認定単位数などについては、「履修の方法」のキャリア科目の項を参照してください。

16. 他キャンパス受講

原則として週１日に限り、他キャンパスで開講される科目の受講を認めることがあります。他キャンパス受講を希望する学生は、履修登録時に教務課・学務課に申請してください。

17. キャンパス変更（スポーツ健康科学部は除く）

所定の要件を満たした場合に限り、所属するキャンパスの変更を認めることがあります。キャンパス変更を希望する学生は、教務課・学務課に申請してください。なお、2015年度以前入学の留学生は３学年進級時に、所属するキャンパスを選択することができます。

18. 履修の方法【2013年度～2016年度の入学生】

ここでは授業科目の履修方法について説明します。「教育課程表」を見ながら、該当する箇所をよく読んで履修して下さい。なお「教育課程表」は、入学年度によって異なる場合があります。自分の所属する学科、入学年度に該当する「教育課程表」を参照してください。また、外国人留学生は、外国人留学生を対象とした説明もよく読んで下さい。

社会学科

⑴　必修科目

必修科目とは、定められた該当学年において必ず履修しなければならない授業科目です。

1)　演習（ゼミ）

(a)　１年演習（ゼミ）

１クラスを20名程度で編成し、所属ゼミは入学時に指定します。１年演習（ゼミ）の未修得者は3学年に進級できません。

(b)　２年演習（ゼミ）

１クラスを20名程度で編成します。２年演習（ゼミ）の選択は、1学年の秋学期に行います。各ゼミの指導計画を選択申込の前に発表します。それらを熟読の上、希望するゼミを各々が所属するキャンパスで開講されるゼミ数まで、第１希望から順位をつけて申し込むことができます。また相談期間を設けますので、希望するゼミの担当教員に相談することもできます。ゼミによっては、希望者が定員を上回ることもあります。その場合には、申込書の志望動機や成績などをもとに、担当教員が履修者を選考することがあります。第１希望のゼミに入れなかった場合には、２回目の選択申込により、定員に満たないゼミの中から、履修するゼミを第２希望以下の順位を考慮しながら社会学科で決定することになります。

(c)　３年演習（ゼミ）、４年演習（ゼミ）

１クラスを20名程度で編成します。3学年、4学年を通じて、同じ教員のゼミを履修します。ゼミの選択は、2学年秋学期に行います。ゼミの決定方法は、上記の「２年演習（ゼミ）」の場合と同様ですが、他キャンパスで開講されるゼミを希望する場合には、必要な手続きがありますので注意してください。３年演習（ゼミ）と４年演習（ゼミ）は、原則として同一学年で履修することはできません。ゼミの単位を修得できなかった場合には、留年となります。

2)　教養コア科目および情報科目

1学年において、「情報基礎Ⅰ・Ⅱ」（各２単位）を履修します。「情報基礎Ⅰ・Ⅱ」は指定されたクラスで履修してください。2学年において、「リベラルアーツ入門」を履修します。履修方法については、別途詳細をお知らせします。

3)　専門コア科目

1学年において、「人間と社会」（２単位）、「社会学基礎」（２単位）を履修します。

4)　卒業論文

４学年秋学期の指定された期日に「卒業論文」（４単位）を教務課・学務課に提出してください。ゼミの担当教員が「卒業論文」を審査し、単位の認定を行います。

⑵　選択必修科目と選択科目

選択必修科目とは、指定された単位数を複数の授業科目の中から選択して履修する授業科目のことです。これに対して選択科目は、単位数に関する規定はなく、自由に選択して履修できる授業科目のことです。

卒業に必要な選択必修科目と選択科目の合計は94単位以上であり、後述の[選択必修科目と選択科目の単位数に関する注意事項]を確認してください。

(ア) 選択必修科目

1) 外国語科目

(a) 1学年と2学年において、入学前に選択した一つの外国語を学修します。指定されたクラスで履修してください。

選択できる外国語は、下記の通りです（いずれも各1単位）。

「英語AI・AII、英語BI・BII、英語CI・CII、英語DI・DII、英語EI・EII」

「ドイツ語AI・AII、ドイツ語BI・BII、ドイツ語CI・CII、ドイツ語DI・DII、ドイツ語EI・EII」

「フランス語AI・AII、フランス語BI・BII、フランス語CI・CII、フランス語DI・DII、フランス語EI・EII」

「中国語AI・AII、中国語BI・BII、中国語CI・CII、中国語DI・DII、中国語EI・EII」

「スペイン語AI・AII、スペイン語BI・BII、スペイン語CI・CII、スペイン語DI・DII、スペイン語EI・EII」

「朝鮮（韓国）語AI・AII、朝鮮（韓国）語BI・BII、朝鮮（韓国）語CI・CII、朝鮮（韓国）語DI・DII、朝鮮（韓国）語EI・EII」

「ポルトガル語・ブラジル語AI・AII、ポルトガル語・ブラジル語BI・BII、ポルトガル語・ブラジル語CI・CII、ポルトガル語・ブラジル語DI・DII、ポルトガル語・ブラジル語EI・EII」

各外国語とも、1学年においては、AI・AII、BI・BIIの4科目（各1単位、計4単位）を、2学年においては、CI・CII、DI・DII、EI・EIIの6科目（各1単位、計6単位）を履修します。

(b) 外国人留学生は、1学年において「（外）日本語AI・AII」「（外）日本語BI・BII」（各1単位）の4単位、2学年において「（外）日本語CI・CII」「（外）日本語DI・DII」「（外）日本語EI・EII」（各1単位）の6単位を それぞれ履修します。

2) キャリア科目

キャリア科目から選択して、6単位以上を履修します。

(a) RKU入門

入学直後に行われる導入教育である「RKU入門」に出席した学生にその単位を認定します。

①単位の認定は、「RKU入門」の中で行われるゼミ、ガイダンスその他各種の講座への出席を前提に、ゼミ担当教員が行います。

②本授業は、すべての学生が履修することを原則とします。

③1学年の春学期に1単位を認定します。

(b) RKU実践

日常のボランティア活動に対して、所定の要件を満たした場合に単位を認定します。

①対象となるボランティア活動は、大学が認める無報酬の活動です。

②「RKU実践届」を学生生活課、学務課に提出してください。

③ボランティア活動の実働３時間を１ポイントとし、合計１５ポイントで１単位認定します。ただし、１日２ポイントまでとし、単位認定は在学中１回限りです。

④ボランティア活動参加者は、参加のつど「RKU実践活動報告書」を別途定める証明部門に提出し、「RKU実践活動証明書」を受け取り保管しておきます。

⑤単位認定を希望する場合は、「RKU実践単位申請書」に１５ポイント分の「RKU実践活動証明書」を添えて学務課・教務課へ提出してください。

⑥単位認定は、秋学期定期試験終了時までに申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、

同試験終了後に申請のあったものについては次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から春学期定期試験終了時までに申請のあった場合は春学期に行います。

(c) 海外研修

「留学に関する規則」に基づき、「海外研修」2単位を認定します。

(d) 資格取得

大学開設の課外講座が対象とする資格・検定試験などに合格した者に単位を認定します。

①資格・検定試験の種類により、１０ポイントを１単位として入学年度別教育課程表の「資格・検定試験の種類」にある単位を認定します。

②単位認定は、秋学期定期試験期間終了時までに申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同試験期間終了後に申請のあったものについては、次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から春学期定期試験期間終了時までに申請があった場合は春学期に行います。

③単位認定を希望する者は、必要事項を記入した「単位認定申請書」とそれぞれの試験の「合格証など」を教務課・学務課に提出して申請してください。卒業・進級学年の学生で卒業・進級のため単位認定が必要な場合は、必ず上記の各試験期間終了時までに申請してください。

④卒業単位として認められる単位は最大20単位です。

(e) 就職準備講座

主として3学年を対象に行われているもので、あらかじめ指定した就職支援センター主催の就職支援プログラムへの出席をもって単位を認定します。

①単位の認定は、就職支援センター内「就職委員会」が原案を作成し、教授会の議を経て決定します。

②1学年からの累積出席回数が、2/3を超えた学生が対象となります。

③3学年の秋学期に1単位を認定します。

(f) その他講義科目

全学共通の科目として「キャリアデザイン」（2単位）、「野村證券寄付講座」（2単位）、「インターンシップ」（4単位）等があります。各自の興味に合わせて履修してください。

3) 教養基礎科目

教養基礎科目から選択して、24単位以上を履修します。

4) 専門基礎科目

専門基礎科目から選択して、36単位以上を履修します。また、社会学重点科目である「地域社会学」「経済社会学」「社会階層論」「産業社会学」「マス・コミュニケーション論」「社会システム論」の6科目から4単位以上を履修する必要があります。

社会学を学びたい人は、「社会調査法」「社会調査実践法」を選択し、その後に上記の社会学重点科目を中心に他の社会学関連科目を履修してください。

心理学を学びたい人は、「心理学概論Ⅰ・Ⅱ」「社会調査法」「社会調査実践法」を履修し、その後に「対人関係論」「社会心理学」「臨床心理学概説」等を中心に履修してください。

社会福祉学を学びたい人は、「社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ」「社会調査法」「社会調査実践法」「心理学概論Ⅰ・Ⅱ」を履修の後、「老人福祉論」「児童・家庭福祉論」「障害者福祉論」等を中心に履修してください。

保育学を学びたい人は、「保育原理Ⅰ・Ⅱ」「社会調査法」「社会調査実践法」を履修の後、「社会福祉原論Ⅰ」「児童・家庭福祉論」「養護原理」「発達心理学」「親子関係の心理」等を中心に履修してください。

方向が明確でない人は、「社会調査法」「社会調査実践法」「心理学概論Ⅰ・Ⅱ」「社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ」

を履修の後、自分の興味に合わせて履修してください。

（イ）選択科目

1）　専門発展科目

専門発展科目として、社会調査士科目、社会福祉士関連科目、保育士関連科目、認定心理士関連科目が用意されています。資格取得を目指す人は、各資格の要件を満たすように注意して履修してください。特に資格取得を目的としない人は、自分の興味に合わせて履修してください。ただし、履修の方法に注意が必要なので、ガイダンスで説明を受けてください。

2）　学部共通科目と副専攻

学部共通科目には、所属学部・学科の学問分野（これを主専攻とよびます）とは別の、下記の各学問分野の科目（他の学部・学科の専門基礎・発展科目に当たる科目）が置かれています。主専攻の枠を超えて他の学問分野の科目をも履修することで複数の学問分野を学修することにより、現代社会が求めている複眼的な視野と能力を養い、個性あふれる人材を育成することを目的としています。

学部共通科目の学問分野

・経済学
・経営学
・流通情報学
・法学
・スポーツ健康科学

学部共通科目は、いくつの学問分野からでも、一分野ごとの履修単位数の上限もなく、自由に履修することができます。

一つの学問分野から20単位以上を修得した場合には、卒業時にその分野の「副専攻」を修了したことの認定をします。 その場合、18単位まで卒業単位に算入することができます。なお、スポーツ健康科学の各科目は、龍ヶ崎キャンパスでのみ開講されます。したがって、新松戸キャンパス所属の学生がこの科目を履修するには「他キャンパス受講」制度によらなければなりません。

3）　教養発展科目・外国語科目・体育科目

教養発展科目、外国語関係の科目と体育の実技科目が用意されています。興味のある学生は積極的に履修してください。

4）　教職科目

教職免許取得に必要な科目であって、課程表に記載されているものについては、20単位まで卒業単位に算入することができます。

［選択必修科目と選択科目の単位数に関する注意事項］

外国語科目を除いて、選択必修科目と選択科目を合計して、84単位以上を履修しなければなりません（「教育課程表」摘要欄の後の列を参照してください）。しかし、指定された単位数の合計は66単位となり、その単位数とはなりません（「教育課程表」摘要欄の前の列を参照してください）。その不足単位数である18単位は、選択必修科目と選択科目の中から、各自が自由に選んで履修できる単位数です。

＊「教育課程表」の摘要欄と注の部分を熟読してください。

国際観光学科

⑴　必修科目

必修科目とは、定められた該当学年において必ず履修しなければならない授業科目です。

1）演習（ゼミ）

(a)　１年演習（ゼミ）

１クラスを20名程度で編成し、所属クラスは入学時に指定します。１年演習（ゼミ）の未修得者は3学年に進級できません。

(b)　２年演習（ゼミ）

１クラスを20名程度で編成します。２年演習（ゼミ）の選択は、1学年の秋学期に行います。各ゼミの指導計画を選択申込の前に発表します。それらを熟読の上、自由に選択してください。また相談期間を設けますので、希望するゼミの担当教員に相談することもできます。ゼミによっては、希望者が定員を上回ることもあります。その場合には、面接やレポートなどにより、担当教員が履修者を選考することがあります。第１～3希望の選択申込により、定員に満たないクラスの中から、履修するクラスを決定することになります。

(c)　３年演習（ゼミ）、４年演習（ゼミ）

１クラスを20名程度で編成します。3学年、4学年を通じて、同じ教員のゼミを履修します。ゼミの選択は、2学年秋学期に行います。ゼミの決定方法は、上記の「２年演習（ゼミ）」の場合と同様です。３年演習（ゼミ）と４年演習（ゼミ）は、原則として同一学年で履修することは出来ません。ゼミの単位を修得できなかった場合には、留年となります。

2）　教養コア科目および情報科目

1学年において、「情報基礎Ⅰ・Ⅱ」（各２単位）を履修します。「情報基礎Ⅰ・Ⅱ」は指定されたクラスで履修してください。2学年において、「リベラルアーツ入門」を履修します。履修方法については、別途詳細をお知らせします。

3）　専門コア科目

1学年において、「社会学概論」（２単位）、「観光学概論」（２単位）、「観光英語Ⅰ・Ⅱ」（各1単位）を履修します。

4）　卒業論文

４学年秋学期の指定された期日に「卒業論文」（４単位）を教務課・学務課に提出してください。ゼミの担当教員が「卒業論文」を審査し、単位の認定を行います。

5）　外国語科目

(a)　1学年において、「英語TAⅠ・TAⅡ」「英語TBⅠ・ＴＢⅡ」（各１単位）、２学年において、「英語ＴＣⅠ・ＴＣⅡ」「英語ＴＤⅠ・ＴＤⅡ」（各１単位）の合計８単位を履修しなければなりません。授業は、指定されたクラスで履修します。

(b)　外国人留学生は、1学年において「（外）日本語ＡⅠ・ＡⅡ」「（外）日本語ＢⅠ・ＢⅡ」「（外）「英語ＴＦＡⅠ・ＴＦＡⅡ」（各１単位）、2学年において、「（外）日本語ＣⅠ・ＣⅡ」「（外）日本語ＤⅠ・ＤⅡ」「（外）「英語ＴＦＢⅠ・ＴＦＢⅡ」（各１単位）」、3学年において、「（外）「英語ＴＦＣⅠ・ＴＦＣⅡ」（各１単位）」を履修しなければならない。

ただし、英語を母語とする外国人留学生、それに準ずる外国人留学生の場合には、当該学生の事情を勘案の上、別途、履修単位の振替科目を定める。

⑵　選択必修科目と選択科目

選択必修科目とは、指定された単位数を複数の授業科目の中から選択して履修する授業科目のことです。これに対して選択科目は、単位数に関する規定はなく、自由に選択して履修できる授業科目のことです。

卒業に必要な選択必修科目と選択科目の合計は84単位以上（外国人留学生は78単位以上）であり、後述の[選択必修科目と選択科目の単位数に関する注意事項]を確認してください。

(ア) 選択必修科目

1)　外国語科目

英語を選択必修科目とした場合は、2学年において、「ＴＥＩ・ＴＥⅡ」（各１単位）、3学年において、「ＴＦＩ・ＴＦⅡ」「ＴＧＩ・ＴＧⅡ」（各1単位）の合計6単位を履修します。

選択必修科目として英語以外の外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮（韓国）語、ポルトガル語・ブラジル語から１言語）を選択した学生は、１学年において当該外国語の「ＡＩ・ＡⅡ」「ＢＩ・ＢⅡ」（各１単位）、２学年において「ＣＩ・ＣⅡ」（各１単位）の合計６単位を履修します。

2)　キャリア科目

キャリア科目から選択して、6単位以上を履修します。

⒜　RKU入門

入学直後に行われる導入教育である「RKU入門」に出席した学生にその単位を認定します。

①単位の認定は、「RKU入門」の中で行われるゼミ、ガイダンスその他各種の講座への出席を前提に、ゼミ担当教員が行います。

②本授業は、すべての学生が履修することを原則とします。

③1学年の春学期に1単位を認定します。

⒝　RKU実践

日常のボランティア活動に対して、所定の要件を満たした場合に単位を認定します。

①対象となるボランティア活動は、大学が認める無報酬の活動です。

②ボランティア活動の実働３時間を１ポイントとし、合計１５ポイントで１単位認定します。ただし、１日２ポイントまでとし、単位認定は在学中１回限りです。

③ボランティア活動参加者は、参加のつど「RKU実践活動報告書」を別途定める証明部門に提出し、「RKU実践活動証明書」を受け取り保管しておきます。

④単位認定を希望する場合は、「RKU実践単位申請書」に１５ポイント分の「RKU実践活動証明書」を添えて学務課・教務課へ提出してください。

⑤単位認定は、秋学期定期試験終了時までに申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同試験終了後に申請のあったものについては次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から春学期定期試験終了時までに申請のあった場合は春学期に行います。

⒞　海外研修

「留学に関する規則」に基づき、「海外研修」2単位を認定します。

⒟　資格取得

大学開設の課外講座が対象とする資格・検定試験などに合格した者に単位を認定します。

①資格・検定試験の種類により、１０ポイントを１単位として入学年度別教育課程表の「資格・検定試験の種類」にある単位を認定します。

②単位認定は、秋学期定期試験期間終了時までに申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同

試験期間終了後に申請のあったものについては、次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から春学期定期試験期間終了時までに申請があった場合は春学期に行います。

③単位認定を希望する者は、必要事項を記入した「単位認定申請書」とそれぞれの試験の「合格証など」を教務課・学務課に提出して申請してください。卒業・進級学年の学生で卒業・進級のため単位認定が必要な場合は、必ず上記の各試験期間終了時までに申請してください。

④卒業単位として認められる単位は最大8単位です。

(e) 災害ボランティアⅠ・Ⅱ

東日本大震災などの災害発生に関する災害ボランティア活動の参加者に対して、その活動が所定の要件を満たす場合に単位を認定します。（ただし、社会学科は除きます。）

①災害ボランティア活動が４５時間相当の場合は１単位、９０時間相当の場合は２単位を認定します。

②単位認定を希望する場合は、事前に学生生活課へ「災害ボランティア活動届」を提出し、活動終了後「災害ボランティア単位認定申請書」に「ボランティア活動日誌」「ボランティア活動証明書」（受け入れ機関・団体の証明）を添えて学務課・教務課へ提出してください。

(f) 就職準備講座

主として3学年を対象に行われているもので、あらかじめ指定した就職支援センター主催の就職支援プログラムへの出席をもって単位を認定します。

①単位の認定は、就職支援センター内「就職委員会」が原案を作成し、教授会の議を経て決定します。

②1学年からの累積出席回数が、2/3を超えた学生が対象となります。

③ 3学年の秋学期に1単位を認定します。

(g) その他講義科目

全学共通の科目として「キャリアデザイン」（2単位）、「野村證券寄付講座」（2単位）、「インターシップ」（4単位）等があります。各自の興味に合わせて履修してください。

3) 教養基礎科目

教養基礎科目から選択して、20単位以上を履修します。

4) 専門基礎科目

専門基礎科目は、2014年度入学生については、観光基礎科目、観光実践科目、社会学基礎科目の3分野に分かれており、合計で34単位以上を履修しなければなりません。

(a) 観光基礎科目

「観光学概論」「観光社会学」「観光心理学」「観光人類学」（各２単位）など18科目を、観光を学ぶ上での基礎科目として設置しています。

(b) 観光実践科目

観光実践科目は、観光現場の実情を理解すること、また観光現場において必要な実践的な知識を身に付けることを目的に設置された科目群です。

なお、「観光インターンシップ」、「インターンシップ」（キャリア科目として配置）、「観光研修」については、実施時期を考えて計画的に履修するようにしてください。同じ年度に履修登録した場合、実施時期が重なると履修できなくなることがあります。

(c) 社会学基礎科目

より深く社会および人間に関する理解を促すことを目的とした社会学および心理学、社会福祉学関連の科目群です。

（イ）選択科目

1）　専門発展科目

専門発展科目として、旅行資格科目、社会調査士科目、社会福祉主事科目を設置しています。これらは国際観光学科で取得可能な資格に対応した科目です。資格取得を目指す人は、積極的に履修してください。

2）　学部共通科目と副専攻

学部共通科目には、所属学部・学科の学問分野（これを主専攻とよびます）とは別の、下記の各学問分野の科目（他の学部・学科の専門基礎・発展科目に当たる科目です。）が置かれています。主専攻の枠を超えて他の学問分野の科目をも履修することで、複数の学問分野を学修することにより、現代社会が求めている複眼的な視野と能力を養い、個性あふれる人材を育成することを目的としています。

学部共通科目の学問分野

・経済学

・経営学

・流通情報学

・法学

・スポーツ健康科学

学部共通科目は、いくつの学問分野からでも、一分野ごとの履修単位数の上限もなく、自由に履修することができます。

一つの学問分野から20単位以上を修得した場合には、卒業時にその分野の「副専攻」を修了したことの認定を受けることができます（卒業年次の履修登録のときに申請が必要です）。なお、スポーツ健康科学の各科目は、龍ケ崎キャンパスでのみ開講されます。したがって、新松戸キャンパス所属の学生がこの科目を履修するには「他キャンパス受講」制度によらなければなりません。

3）　教養発展科目・外国語科目・体育科目

教養発展科目、外国語関係の科目と体育の実技科目が用意されています。興味のある学生は積極的に履修してください。

4）　教職科目

教職免許取得に必要な科目であって、課程表に記載されているものについては、20単位まで卒業単位に算入することができます。

［選択必修科目と選択科目の単位数に関する注意事項］

選択必修科目と選択科目を合計して、2013年度の入学生は78単位以上、を履修しなければなりません（「教育課程表」摘要欄の右の列を参照してください）。しかし、指定された単位数の合計は、60単位となり、その単位数とはなりません（「教育課程表」摘要欄の左の列を参照してください）。その不足単位数である18単位は、選択必修科目と選択科目の中から、各自が自由に選んで履修できる単位数です。

＊「教育課程表」の摘要欄と注の部分を熟読してください。

19. 履修の方法【2009年度～2012年度の入学生】

ここでは授業科目の履修方法について説明します。「教育課程表」を見ながら、該当する箇所をよく読んで履修してください。なお「教育課程表」は、学科、入学年度によって異なる場合があります。自分の所属する学科、入学年度に該当する「教育課程表」を参照してください。また、外国人留学生は、外国人留学生を対象とした説明もよく読んでください。

社会学科

⑴　必修科目

必修科目とは、定められた配当年次において必ず履修しなければならない授業科目です。

1)　演習（ゼミ）

(a)　１年ゼミ（１年基礎演習）

１クラスを20名程度で編成し、所属クラスは入学時に指定します。１年ゼミの未修得者は３学年に進級できません。

(b)　２年ゼミ（２年専門演習）

１クラスを20名程度で編成します。２年ゼミの選択は、１学年の秋学期に行います。各ゼミの指導計画を選択申込の前に発表します。それらを熟読の上、自由に選択してください。また相談期間を設けますので、希望するゼミの担当教員に相談することもできます。ゼミによっては、希望者が定員を上回ることもあります。その場合には、面接やレポートなどにより、担当教員が履修者を選考することがあります。第１～３希望の選択申込により、定員に満たないクラスの中から、履修するクラスを決定することになります。

(c)　３年ゼミ（３年専門演習）４年ゼミ（４年専門演習）

１クラスを20名程度で編成します。３学年、４学年を通じて、同じ教員のゼミを履修します。ゼミの選択は、２学年の秋学期に行います。ゼミの決定方法は、上記の「２年ゼミ」の場合と同様です。３年ゼミと４年ゼミは、原則として同一学年で履修することはできません。ゼミの単位を修得できなかった場合には、留年となります。

2)　教養コア科目および情報科目

１学年において、「教養諸学入門」（２単位）、「情報基礎Ⅰ・Ⅱ」（各２単位）を履修します。すべて指定されたクラスで履修してください。

3)　専門コア科目

１学年において「人間と社会」（２単位）、「社会学基礎」（２単位）を履修します。

4)　卒業論文

４学年秋学期の指定された期日に「卒業論文」（４単位）を教務課・学務課に提出してください。ゼミの担当教員が「卒業論文」を審査し、単位の認定を行います。

⑵　選択必修科目と選択科目

選択必修科目とは、指定された単位数を複数の授業科目の中から選択して履修する授業科目のことです。これに対して選択科目は、単位数に関する規定はなく、自由に選択して履修できる授業科目のことです。

卒業に必要な選択必修科目と選択科目の合計は94単位以上であり、後述の［選択必修科目と選択科目の単位数に関する注意事項］を確認してください。

(ア) 選択必修科目

1)　外国語科目

(a)　１学年において、外国語４単位を選択します。入学前に選択し、指定されたクラスで履修してください。

外国語とは、下記の通りです。（いずれも各１単位）。

「英語ＡⅠ・ＡⅡ」、「英語ＢⅠ・ＢⅡ」

「ドイツ語ＡⅠ・ＡⅡ」、「ドイツ語ＢⅠ・ＢⅡ」

「フランス語ＡⅠ・ＡⅡ」、「フランス語ＢⅠ・ＢⅡ」

「中国語ＡⅠ・ＡⅡ」、「中国語ＢⅠ・ＢⅡ」

「スペイン語ＡⅠ・ＡⅡ」、「スペイン語ＢⅠ・ＢⅡ」

「朝鮮（韓国）語ＡⅠ・ＡⅡ」、「朝鮮（韓国）語ＢⅠ・ＢⅡ」

「ポルトガル語・ブラジル語ＡⅠ・ＡⅡ」、「ポルトガル語・ブラジル語ＢⅠ・ＢⅡ」

２学年においては、１学年で選択した外国語科目（６単位）を履修します。

(b)　外国人留学生は、１学年において「(外)日本語ＡⅠ・ＡⅡ」、「(外)日本語ＢⅠ・ＢⅡ」（各１単位）の４単位、２学年において「(外)日本語ＣⅠ・ＣⅡ」、「(外)日本語ＤⅠ・ＤⅡ」、「(外)日本語ＥⅠ・ＥⅡ」（各１単位）の６単位を履修します。

2)　キャリア科目

キャリア科目から選択して、４単位以上を履修します。

(a)　RKU入門

入学直後に行われる導入教育である「RKU入門」に出席した学生にその単位を認定します。

①単位の認定は、「RKU入門」の中で行われるゼミ、ガイダンスその他各種の講座への出席を前提に、ゼミ担当教員が行います。

②本授業は、すべての学生が履修することを原則とします。

③１学年の春学期に１単位を認定します。

(b)　海外研修

「留学に関する規則」に基づき、「海外研修」２単位を認定します。

(c)　就職準備講座

主として３年生を対象に行われているもので、あらかじめ指定した就職支援センター主催の就職支援プログラムへの出席をもって単位を認定します。

①単位の認定は、就職支援センター内「就職委員会」が原案を作成し、教授会の議を経て決定します。

②１年生からの累積出席回数が、２／３を超えた学生が対象となります。

③３学年の秋学期に１単位を認定します。

(d)　資格関連科目

大学開設の課外講座が対象とする資格・検定試験などに合格した者に単位を認定します。

①資格・検定試験の種類により、入学年度別教育課程表の「資格・検定試験の種類」にある単位を認定します。

②単位認定は、秋学期定期試験期間終了時までに申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同試験期間終了後に申請のあったものについては次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から春学期定期試験期間終了時までに申請があった場合は春学期に行います。

③単位認定を希望する者は、必要事項を記入した「単位認定申請書」とそれぞれの試験の「合格証など」を教務課・学務課に提出して申請してください。卒業・進級学年の学生で卒業・進級のため単位認定が必要な場合は、必ず上記の各試験期間終了時までに申請してください。

④卒業単位として認められる単位は最大20単位です。

(e) その他講義科目

社会学科独自のキャリア科目として「就職の社会学」（２単位）、「ボランティア活動論及び実習Ⅰ・Ⅱ」（各２単位）が、そして全学共通の科目として「キャリアデザイン」（２単位）、「野村證券寄付講座」（２単位）、「インターンシップ」（４単位）等があります。各自の興味に合わせて履修してください。

3) 教養基礎科目

教養基礎科目から選択して、24単位以上を履修します。

4) 専門基礎科目

専門基礎科目から選択して、36単位以上を履修します。

社会学を学びたい人は、「社会学概論」を選択し、その後に「経済社会学」「マス・コミュニケーション論」「産業社会学」「現代組織論」「社会階層論」等を中心に履修してください。

心理学を学びたい人は、「心理学概論Ⅰ・Ⅱ」を履修し、その後に「対人関係論」「社会心理学」「臨床心理学概説」等を中心に履修してください。

社会福祉学を学びたい人は、「社会学概論」「心理学概論Ⅰ・Ⅱ」「社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ」を履修の後、「老人福祉論Ⅰ・Ⅱ」「児童福祉論Ⅰ・Ⅱ」「障害者福祉論Ⅰ・Ⅱ」等を中心に履修してください。

保育を学びたい人は、「保育原理Ⅰ・Ⅱ」を履修の後、「社会福祉原論Ⅰ」「児童・家庭福祉論」「養護原理」「発達心理学Ⅰ」「教育心理学Ⅰ」等を中心に履修してください。

方向が明確でない人は、「社会学概論」「心理学概論Ⅰ・Ⅱ」「社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ」を履修の後、自分の興味に合わせて履修してください。

(イ) 選択科目

1) 専門発展科目

専門発展科目として、社会調査士科目、社会福祉士関連科目、保育士関連科目、認定心理士関連科目、レクリエーション資格科目、旅行資格関連科目、観光学が用意されています。資格取得を目指す人は、各資格の要件を満たすように注意して履修してください。特に資格取得を目的としない人は、自分の興味に合わせて履修してください。ただし、履修の方法に注意が必要なので、ガイダンスで説明を受けてください。

2) 学部共通科目と副専攻

学部共通科目には、所属学部・学科の学問分野（これを主専攻とよびます）とは別の、下記の各学問分野の科目（他の学部・学科の専門基礎・発展科目に当たる科目です。）が置かれています。主専攻の枠を超えて他の学問分野の科目をも履修することで、現代社会が求めている複眼的な視野と能力を養い、個性あふれる人材を育成することを目的としています。

学部共通科目の学問分野

・経済学

・経営学

・流通情報学

・法学

・スポーツ健康科学

学部共通科目は、いくつの学問分野からでも、一分野ごとの履修単位数の上限もなく、自由に履修することができます。

一つの学問分野から20単位以上を修得した場合には、卒業時にその分野の「副専攻」を修了したことの認定

を受けることができます。（卒業年次の履修登録のときに申請が必要です）。

なお、スポーツ健康科学の各科目は、龍ヶ崎キャンパスでのみ開講されます。したがって、新松戸キャンパス所属の学生がこの科目を履修するには「他キャンパス受講」制度によらなければなりません。

3） 教養発展科目・外国語科目・体育科目

教養発展科目、外国語関係の科目と体育の実技科目が用意されています。興味のある学生は積極的に履修してください。

4） 教職科目

教職免許取得に必要な科目であって、課程表に記載されているものについては、20単位まで卒業単位に算入することができます。

［選択必修科目と選択科目の単位数に関する注意事項］

外国語科目を除いて、選択必修科目と選択科目を合計して、84単位以上を履修しなければなりません。（「入学年度別教育課程表」摘要欄の後の列を参照してください）。しかし、指定された単位数の合計は64単位となり、その単位数とはなりません（「入学年度別教育課程表」摘要欄の前の列を参照してください）。その不足単位数である20単位は、選択必修科目と選択科目の中から、各自が自由に選んで履修できる単位数です。

＊「入学年度別教育課程表」の摘要欄と注の部分を熟読してください。

国際観光学科

⑴ 必修科目

必修科目とは、定められた配当年次において必ず履修しなければならない授業科目です。

1） 演習（ゼミ）

(a) １年ゼミ（１年基礎演習）

１クラスを20名程度で編成し、所属クラスは入学時に指定します。１年ゼミの未修得者は３学年に進級できません。

(b) ２年ゼミ（２年専門演習）

１クラスを20名程度で編成します。２年ゼミの選択は、１学年の秋学期に行います。各ゼミの指導計画を選択申込の前に発表します。それらを熟読の上、自由に選択してください。また相談期間を設けますので、希望するゼミの担当教員に相談することもできます。ゼミによっては、希望者が定員を上回ることもあります。その場合には、面接やレポートなどにより、担当教員が履修者を選考することがあります。第１～３希望の選択申込により、定員に満たないクラスの中から、履修するクラスを決定することになります。

(c) ３年ゼミ（３年専門演習）４年ゼミ（４年専門演習）

１クラスを20名程度で編成します。３学年、４学年を通じて、同じ教員のゼミを履修します。ゼミの選択は、２学年の秋学期に行います。ゼミの決定方法は、上記の「２年ゼミ」の場合と同様です。３年ゼミと４年ゼミは、原則として同一学年で履修することはできません。ゼミの単位を修得できなかった場合には、留年となります。

2） 教養コア科目および情報科目

１学年において、「教養諸学入門」（２単位）、「情報基礎Ⅰ・Ⅱ」（各２単位）を履修します。すべて指定されたクラスで履修してください。

3） 専門コア科目

１学年において、2011年度以降入学生は、「人間と社会」（2単位）、「観光学概論」（2単位）、「観光

英語Ⅰ・Ⅱ」（各1単位）を履修します。

2009年度・2010年度入学生は、「人間と社会」（２単位）を履修します。

4）　卒業論文

４学年秋学期の指定された期日に、「卒業論文」（４単位）を教務課・学務課に提出してください。ゼミの担当教員が「卒業論文」を審査し、単位の認定を行います。

⑵　選択必修科目と選択科目

選択必修科目とは、指定された単位数を複数の授業科目の中から選択して履修する授業科目のことです。これに対して選択科目は、単位数に関する規定はなく、自由に選択して履修できる授業科目のことです。

卒業に必要な選択必修科目と選択科目の合計は、2011年度以降の入学生の場合は92単位以上、2009年度・2010年度入学生の場合は96単位以上であり、後述の［選択必修科目と選択科目の単位数に関する注意事項］を確認してください。

(ア) 選択必修科目

1）　外国語科目

(a)　１学年において、外国語４単位を選択します。入学前に選択し、指定されたクラスで履修してください。

外国語とは、下記の通りです。（いずれも各１単位）。

「英語AⅠ・AⅡ」、「英語BⅠ・BⅡ」

「ドイツ語AⅠ・AⅡ」、「ドイツ語BⅠ・BⅡ」

「フランス語AⅠ・AⅡ」、「フランス語BⅠ・BⅡ」

「中国語AⅠ・AⅡ」、「中国語BⅠ・BⅡ」

「スペイン語AⅠ・AⅡ」、「スペイン語BⅠ・BⅡ」

「朝鮮（韓国）語AⅠ・AⅡ」、「朝鮮（韓国）語BⅠ・BⅡ」

「ポルトガル語・ブラジル語AⅠ・AⅡ」、「ポルトガル語・ブラジル語BⅠ・BⅡ」

２学年においては、１学年で選択した外国語科目（６単位）を履修します。

(b)　外国人留学生は、１学年において「(外)日本語AⅠ・AⅡ」、「(外)日本語BⅠ・BⅡ」（各１単位）の４単位、２学年において「(外)日本語CⅠ・CⅡ」、「(外)日本語DⅠ・DⅡ」、「(外)日本語EⅠ・EⅡ」（各１単位）の６単位を履修します。

2）　キャリア科目

キャリア科目から選択して、４単位以上を履修します。

(a)　RKU入門

入学直後に行われる導入教育である「RKU入門」に出席した学生にその単位を認定します。

①単位の認定は、「RKU入門」の中で行われるゼミ、ガイダンスその他各種の講座への出席を前提に、ゼミ担当教員が行います。

②本授業は、すべての学生が履修することを原則とします。

③１学年の春学期に１単位を認定します。

(b)　海外研修

「留学に関する規則」に基づき、「海外研修」２単位を認定します。

(c)　就職準備講座

主として３年生を対象に行われているもので、あらかじめ指定した就職支援センター主催の就職支援プロ

グラムへの出席をもって単位を認定します。

①単位の認定は、就職支援センター内「就職委員会」が原案を作成し、教授会の議を経て決定します。

②１年生からの累積出席回数が、２／３を超えた学生が対象となります。

③３学年の秋学期に１単位を認定します。

(d) 資格関連科目

大学開設の課外講座が対象とする資格・検定試験などに合格した者に単位を認定します。

①資格・検定試験の種類により、入学年度別教育課程表の「資格・検定試験の種類」にある単位を認定します。

②単位認定は、秋学期定期試験期間終了時までに申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同試験期間終了後に申請のあったものについては次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から春学期定期試験期間終了時までに申請があった場合は春学期に行います。

③単位認定を希望する者は、必要事項を記入した「単位認定申請書」とそれぞれの試験の「合格証など」を教務課・学務課に提出して申請してください。卒業・進級学年の学生で卒業・進級のため単位認定が必要な場合は、必ず上記の各試験期間終了時までに申請してください。

④卒業単位として認められる単位は最大20単位です。

(e) その他講義科目

国際観光学科独自のキャリア科目として、「初級英会話（観光）Ⅰ・Ⅱ」および「中上級英会話（観光）Ⅰ・Ⅱ」（各1単位）（2009年度・2010年度入学生のみ）、「初級中国語会話Ⅰ・Ⅱ」および「中上級中国語会話Ⅰ・Ⅱ」（各１単位）があります。旅行業務取扱管理者資格の取得を目指す人、および宿泊業、交通業等での就職を目指す人はできるだけ履修してください。また、全学共通の科目として「キャリアデザイン」（２単位）、「野村證券寄付講座」（２単位）、「インターンシップ」（４単位）等があります。各自の興味に合わせて履修してください。

3) 教養基礎科目

教養基礎科目から選択して、24単位以上を履修します。

4) 専門基礎科目

専門基礎科目は、2011年度入学生については、観光研究科目、観光実践科目、旅行資格科目、社会学基礎科目の４分野に分かれており、合計で34単位を履修しなければなりません。

2009年度・2010年度入学生については、専門基礎科目は、観光基礎科目、観光研究科目、観光実践科目、社会学基礎科目の４分野に分かれており、観光基礎科目からは４単位を、観光研究科目、観光実践科目、社会学基礎科目からは合計で34単位以上をそれぞれ履修しなければなりません。

(a) 観光基礎科目（2009年度・2010年度入学生のみ）

「観光学概論」「観光社会学」「観光心理学」「観光人類学」（各２単位）の４科目を、観光を学ぶ上での基礎科目として設置しています。

なお、2011年度以降入学生については、「観光学概論」は必修科目の専門コア科目に、ほかの３科目は観光研究科目に組み入れられています。

(b) 観光研究科目

観光研究科目は主として、社会学的観点から観光について深く理解し、今後の観光のあり方について考える能力を養うことを目的に設置された科目群です。

(c) 観光実践科目

観光実践科目は、観光現場の実情を理解すること、また観光現場において必要な実践的な知識を身に付け

ることを目的に設置された科目群です。

なお、「観光インターンシップ」、「インターンシップ」、「観光研修」については、実施時期を考えて計画的に履修するようにしてください。同じ年度に履修登録した場合、実施期間が重なると履修できなくなることがあります。

(d) 旅行資格科目（2011年度以降入学生のみ）

旅行資格科目については、**「22. 資格の取得について」**の**「(8) 国内・総合旅行業務取扱管理者」**および巻末の**「旅行業務取扱管理者試験受験のための履修指導」**を見てください。

(e) 社会学基礎科目

より深く社会および人間に関する理解を促すことを目的とした社会学および心理学、社会福祉学関連の科目群です。

(イ) 選択科目

1) 専門発展科目

専門発展科目として、旅行資格科目（2009年度・2010年度入学生のみ）、社会調査士科目、社会福祉主事科目を設置しています。これらは国際観光学科で取得可能な資格に対応した科目です。資格取得を目指す人は、積極的に履修してください。

2) 学部共通科目と副専攻

学部共通科目には、所属学部・学科の学問分野（これを主専攻とよびます）とは別の、下記の各学問分野の科目（他の学部・学科の専門基礎・発展科目に当たる科目です。）が置かれています。主専攻の枠を超えて他の学問分野の科目をも履修することで、現代社会が求めている複眼的な視野と能力を養い、個性あふれる人材を育成することを目的としています。

学部共通科目の学問分野

・経済学
・経営学
・流通情報学
・法学
・スポーツ健康科学

学部共通科目は、いくつの学問分野からでも、一分野ごとの履修単位数の上限もなく、自由に履修することができます。

一つの学問分野から20単位以上を修得した場合には、卒業時にその分野の「副専攻」を修了したことの認定を受けることができます。（卒業年次の履修登録のときに申請が必要です）。

なお、スポーツ健康科学の各科目は、龍ヶ崎キャンパスでのみ開講されます。したがって、新松戸キャンパス所属の学生がこの科目を履修するには「他キャンパス受講」制度によらなければなりません。

3) 教養発展科目・外国語科目・体育科目

教養発展科目、外国語関係の科目と体育の実技科目が用意されています。興味のある学生は積極的に履修してください。

4) 教職科目

教職免許取得に必要な科目であって、課程表に記載されているものについては、20単位まで卒業単位に算入

することができます。

［選択必修科目と選択科目の単位数に関する注意事項］

外国語科目を除いて、選択必修科目と選択科目を合計して、2011年度以降の入学生は82単位以上、2009年度・2010年度入学生は86単位以上をそれぞれ履修しなければなりません。（「入学年度別教育課程表」摘要欄の右の列を参照してください）。しかし、指定された単位数の合計は、2011年度以降入学生の場合は62単位、2009年度・2010年度入学生の場合は66単位となり、その単位数とはなりません（「入学年度別教育課程表」摘要欄の左の列を参照してください）。その不足単位数である20単位は、選択必修科目と選択科目の中から、各自が自由に選んで履修できる単位数です。

＊「入学年度別教育課程表」の摘要欄と注の部分を熟読してください。

20. 卒業に必要な総単位数

卒業するのに必要な必修科目、選択必修科目、選択科目の合計単位数は、以下の通りです。

社会学科（2013～2016年度の入学生）

<table>
<tr><th colspan="3">授　業　科　目</th><th colspan="2">修得すべき単位数</th></tr>
<tr><td rowspan="3">必修科目</td><td colspan="2">演習（ゼミ）</td><td>16単位</td><td rowspan="3">30単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">教養コア科目・情報科目</td><td>6単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">専門コア科目・卒業論文</td><td>8単位</td></tr>
<tr><td rowspan="6">選択必修科目</td><td colspan="2">外国語</td><td>10単位</td><td>10単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャリア科目</td><td>6単位</td><td rowspan="6">84単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">教養基礎科目</td><td>24単位</td></tr>
<tr><td rowspan="2">専門基礎科目</td><td>社会学科重点科目</td><td>4単位</td></tr>
<tr><td>専門基礎科目</td><td>32単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">専門発展科目</td><td rowspan="4"></td></tr>
<tr><td rowspan="4">選択科目</td><td colspan="2">学部共通科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">教養発展科目</td></tr>
<tr><td colspan="2">教職科目</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">合　　計</td><td colspan="2">124単位</td></tr>
</table>

社会学科（2009年度～2012年度の入学生）

<table>
<tr><th colspan="3">授　業　科　目</th><th colspan="2">修得すべき単位数</th></tr>
<tr><td rowspan="3">必修科目</td><td colspan="2">演習</td><td>16単位</td><td rowspan="3">30単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">教養コア科目・情報科目</td><td>6単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">専門コア科目・卒業論文</td><td>8単位</td></tr>
<tr><td>選択必修科目</td><td colspan="2">外国語</td><td>10単位</td><td>10単位</td></tr>
<tr><td rowspan="3">選択必修科目</td><td colspan="2">キャリア科目</td><td>4単位</td><td rowspan="19">84単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">教養基礎科目</td><td>24単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">専門基礎科目</td><td>36単位</td></tr>
<tr><td rowspan="19">選択科目</td><td rowspan="8">専門発展科目</td><td>社会調査士科目</td><td rowspan="16"></td></tr>
<tr><td>社会福祉士関連科目</td></tr>
<tr><td>保育士関連科目（2009年度以降入学生のみ）</td></tr>
<tr><td>認定心理士関連科目</td></tr>
<tr><td>社会教育主事科目（2009年度入学生のみ）</td></tr>
<tr><td>レクリエーション資格科目</td></tr>
<tr><td>旅行資格関連科目</td></tr>
<tr><td>観光学</td></tr>
<tr><td rowspan="5">学部共通科目</td><td>経済学</td></tr>
<tr><td>経営学</td></tr>
<tr><td>流通情報学</td></tr>
<tr><td>法学</td></tr>
<tr><td>スポーツ健康科学</td></tr>
<tr><td rowspan="3">教養発展科目</td><td>教養発展科目</td></tr>
<tr><td>外国語</td></tr>
<tr><td>体育</td></tr>
<tr><td colspan="2">教職科目</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">合　　計</td><td colspan="2">124単位</td></tr>
</table>

国際観光学科（2013～2016年度の入学生）

授　業　科　目			修得すべき単位数	
必修科目	演習		16単位	40単位
	教養コア科目・情報科目		6単位	
	専門コア科目・卒業論文		10単位	
	英語		8単位	
	(外) 日本語、 英語		14単位	(外) 46単位
選択必修科目	外国語		6単位	6単位
	キャリア科目		6単位	78単位
	教養基礎科目		20単位	
	専門基礎科目	観光基礎科目	34単位	
		観光実践科目		
		社会学基礎科目		
選択科目	専門発展科目	旅行資格科目		
		レクリエーション資格科目		
		社会調査士科目		
		社会福祉主事科目		
	学部共通科目	経済学		
		経営学		
		流通情報学		
		法学		
		スポーツ健康科学		
	教養発展科目	教養発展科目		
		外国語		
		体育		
	教職科目			
	合　　計		124単位	

国際観光学科（2011年度～2012年度の入学生）

授　業　科　目			修得すべき単位数	
必修科目	演習		16単位	32単位
	教養コア科目・情報科目		6単位	
	専門コア科目・卒業論文		10単位	
選択必修科目	外国語		10単位	10単位
	キャリア科目		4単位	82単位
	教養基礎科目		24単位	
	専門基礎科目	観光研究科目	34単位	
		観光実践科目		
		旅行資格科目		
		社会学基礎科目		
選択科目	専門発展科目	レクリエーション資格科目		
		社会調査士科目		
		社会福祉主事科目		
	学部共通科目	経済学		
		経営学		
		流通情報学		
		法学		
		スポーツ健康科学		
	教養発展科目	教養発展科目		
		外国語		
		体育		
	教職科目			
	合　　計		124単位	

国際観光学科（2009～2010年度の入学生）

<table>
<tr><th colspan="3">授　業　科　目</th><th colspan="2">修得すべき単位数</th></tr>
<tr><td rowspan="3">必修科目</td><td colspan="2">演習</td><td>16単位</td><td rowspan="3">28単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">教養コア科目・情報科目</td><td>6単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">専門コア科目・卒業論文</td><td>6単位</td></tr>
<tr><td rowspan="4">選択必修科目</td><td colspan="2">外国語</td><td>10単位</td><td>10単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャリア科目</td><td>4単位</td><td rowspan="13">86単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">教養基礎科目</td><td>24単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">専門基礎科目</td><td>38単位</td></tr>
<tr><td rowspan="14">選択科目</td><td rowspan="5">専門発展科目</td><td>旅行資格科目</td><td rowspan="14"></td></tr>
<tr><td>レクリエーション資格科目</td></tr>
<tr><td>社会調査士科目</td></tr>
<tr><td>社会福祉主事科目</td></tr>
<tr><td>社会教育主事科目（2009年度入学生のみ）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">学部共通科目</td><td>経済学</td></tr>
<tr><td>経営学</td></tr>
<tr><td>流通情報学</td></tr>
<tr><td>法学</td></tr>
<tr><td>スポーツ健康科学</td></tr>
<tr><td rowspan="3">教養発展科目</td><td>教養発展科目</td></tr>
<tr><td>外国語</td></tr>
<tr><td>体育</td></tr>
<tr><td colspan="2">教職科目</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">合　　計</td><td colspan="2">124単位</td></tr>
</table>

21. 卒業論文提出に関する注意事項

論文の提出にあたっては、下記の事項に注意して提出してください。

なお、提出期日等の詳細は、10月上旬に掲示板に掲示しますので、その指示に従ってください。

⑴　用紙等

1）　ワープロによる作成

(a)　用紙は、Ａ４判の白用紙を使用します（感熱用紙使用不可）。

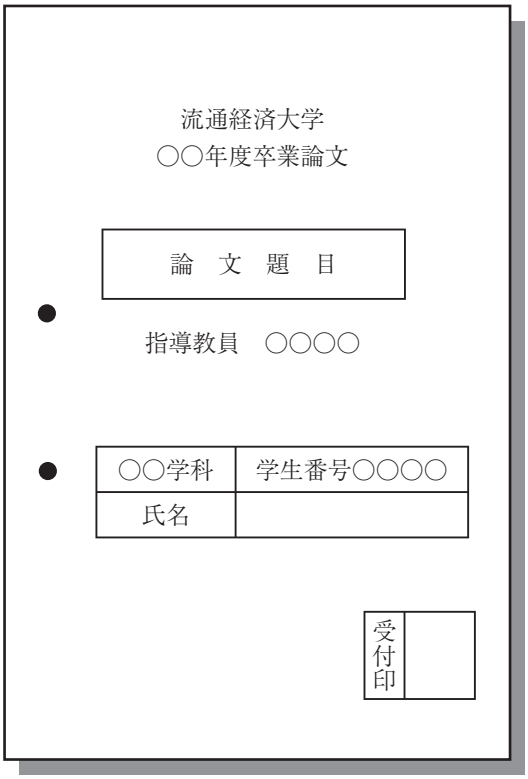
(b)　片面のみに印字し、特に指定のない限り１頁あたりの文字数は、1200字程度にします。

⑵　体裁

1）下に示した表紙をRingからダウンロードし、表紙に必要事項をもれなく記入してください。

2）1）の表紙を卒業論文の一枚目とし、紙ファイル（２穴フラットファイルＡ４版）に綴じこんでください。

3）1）の表紙をもう一枚用意し、紙ファイルの表紙部分に貼り付けてください。



2）　その他

(a)　横書きの場合は原稿の左側に、パンチで穴を開けてください。

(b)　目次を付け、本文にはページを振ります。

(c)　指導教員から特別の指示があれば、上記の体裁に関わらず、その指示に従ってください。

22. 資格の取得について

社会学部において取得できる主な資格は、次のとおりです。資格取得を希望する者は、計画的に科目を履修するよう心がけてください。

社会学部で取得できる主な資格

資格名	資格認定機関	取得可能学科		備考
		社会	観光	
社会福祉士	厚生労働省	○		国家試験受験資格
認定心理士	日本心理学会	○		科目履修
社会調査士	社会調査士認定機構	○	○	科目履修・申請
保育士	厚生労働省	○		科目履修・申請
児童福祉司	厚生労働省	○		任用資格（１年以上相談業務に従事すること）
社会福祉主事	厚生労働省	○	○	任用資格
心肺蘇生法（CPR）資格	日本ライフセービング協会		○	科目履修・講習
国内・総合旅行業務取扱管理者	国土交通省	○	○	関連課外講座あり
GDS（Global Distribution System）	株式会社インフィニトラベルインフォメーション	○	○	科目履修・試験
国内・総合旅程管理業務主任者	観光庁認定研修機関（日本添乗サービス協会）		○	科目履修・課外講座・試験
キャンプ・インストラクター	日本キャンプ協会		○	科目履修
公認スポーツ指導者	日本体育協会	○	○	講習一部免除
ピアヘルパー	NPO 日本教育カウンセラー協会	○		科目履修・試験

⑴　社会福祉士（国家試験受験資格）

社会福祉士は、専門的知識及び技能をもって、身体上もしくは精神上の障害がある者、又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供する者又は医師その他の保健医療サービスを提供する者その他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行うことを業とする者です。社会福祉士国家試験に合格し、所定の登録を受けて、社会福祉士の資格を取得することができます。国家試験は、毎年１回行われます。

⑵　認定心理士（日本心理学会による認定資格）

「認定心理士」の資格をもっているからといってすぐに就職に役立つというものではありませんが、心理学のミニマムエッセンス（最小限の標準的基礎学力と技能）を修得していることの証明になります。試験や有効期間はありません。認定心理士の取得条件は次の通りです。

(a)　基礎科目として「心理学概論」、「心理学研究法」、「心理学実験実習」分野の3領域においてそれぞれ4単位以上、合計12単位以上。

(b)　選択科目として「知覚・学習」、「教育・発達」、「生理・比較」、「臨床・人格」、「社会・産業」の５領域から３領域以上においてそれぞれ４単位以上、計16単位以上。

(c)　その他の科目として心理担当教員の指導での「卒業論文」最大４単位まで。

(d)　(a)～(c)合わせて合計36単位以上。

以下、認定心理士の取得条件に対応して、社会学科で用意している科目を示します。

認定心理士の取得条件		社会学科の科目と認定される単位数	
12単位以上	心理学概論	「心理学概論Ⅰ・Ⅱ」※	各2単位
	心理学研究法	「心理学研究法Ⅰ・Ⅱ」 「心理データ解析」	各2単位
	心理学実験演習	「心理学実験演習」※	4単位
3領域以上で 16単位以上	知覚・学習	「学習心理学」「行動分析学」 「知覚心理学」「認知心理学」	各2単位
	教育・発達	「学校心理学」「親子関係の心理」 「発達心理学」「児童心理学」	各2単位
	臨床・人格	「臨床心理学概説」「実践臨床心理学」 「性格心理学」「適応の心理」 「カウンセリング」「健康心理学」	各2単位
	社会・産業	「社会心理学」「対人関係論」 「産業組織心理学」「家族心理学」 「消費者行動論Ⅰ」「消費者行動論Ⅱ」	各2単位
その他の科目		「卒業論文」	最大4単位
			合計　36単位以上

※)□で囲んだ科目の取得は必修です。その他の科目は卒業論文も含めて選択です。

☆認定は卒業後に各自で申請することになります。手続きの方法や費用など詳しくは日本心理学会のホームページ（http://www.psych.or.jp/）を見てください。

⑶　社会調査士（社会調査協会による認定資格）

社会調査士とは、情報化社会において「社会調査に関する基礎的な知識・技能、相応の応用力と倫理観を身につけた」人材を養成し、「激動の激しい、多極化・複雑化のすすむ社会的現実をとらえ、生起するさまざまな社会問題への対応と解決を図っていく」ために、日本教育社会学会、日本行動計量学会、日本社会学会の３団体の相互連携によって実現した認定資格です（社会調査協会ホームページ）。行政や福祉の現場では政策決定のための基礎資料を得るための方法として、一般企業でも顧客ニーズの把握のためにも各種の社会調査技術が期待されていますが、プライバシー保護が注目されている現在、社会調査に直接間接にかかわる者には調査に関する知識や技術ばかりでなく、高い倫理観や人権意識が要求されており、社会調査士資格への期待が高まっています。

社会調査士資格の取得を希望する者は、調査関連科目「社会調査法」「社会調査実践法」「計量社会学」「社会統計学」（各２単位）および「社会調査実習（国際観光学科については「観光調査実習」）」（４単位）の12単位と、「社会データ解析」「質的調査法」（各２単位）から２単位（「社会データ解析」と「質的調査法」はどちらか2単位だけでも認定されますが、両方履修して申請することもできます）の合計14単位（「社会データ解析」と「質的調査法」を両方履修する場合は16単位）を履修してください。なお、2019年度入学生から社会学科の社会調査士資格への対応を停止します。資格取得希望者は下の表を参照して、遅くとも2021年度までに関連科目の単位取得を目指してください。

担当者：社会学科は都築教授（tsuzuki@rku.ac.jp）、国際観光学科は東教授（azuma@rku.ac.jp）。

次の科目は下の表にしたがって社会調査士資格取得のための社会調査士科目ではなくなります。

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
社会調査法	○	×	×	×	×
社会調査実践法	○	×	×	×	×
計量社会学	○	○	○	○	×
社会統計学	○	○	○	○	×
社会データ解析	○	○	○	○	×
質的調査法	○	○	○	○	×
社会調査実習	○	○	○	○	×

○　社会調査士科目として開講されます

×　社会調査士資格取得の科目ではなくなります

⑷　保育士

保育士は「専門知識及び技術をもって、児童の保育及び児童の保護者に対する保育に関する指導を行うことを業とする者」です。2001年の児童福祉法改正により、名称独占の資格として法定化され、信用失墜行為の禁止、守秘義務等に関する規定が設けられました。本学では、指定科目を履修し卒業し、保育士登録することによって、保育士として働くことができます。なお、保育士コースを希望するためには、事前の申し込みが必要になります。必ず「保育士国家資格取得ガイダンス」に出席し、手続きをしてください。

保育士資格の取得条件は次の通りです。

2015年度以降の入学生

	本学開講科目				履修方法
	教科目	授業形態	配当学年	単位数	
必修科目	保育原理Ⅰ	講義	1	2	必修科目55単位を履修しなければならない
	教育原理	講義	1	2	
	児童・家庭福祉論	講義	2・3・4	2	
	社会福祉原論Ⅰ	講義	1・2	2	
	相談援助演習Ⅰ	演習	2	2	
	社会的養護	講義	2	2	
	保育原理Ⅱ	講義	1	2	
	保育の心理学Ⅰ	講義	2・3・4	2	
	保育の心理学Ⅱ	演習	2・3・4	1	
	子どもの保健Ⅰ	講義	2	2	
	子どもの保健Ⅱ	講義	2	2	
	子どもの保健演習	演習	2	1	
	子どもの食と栄養	演習	2	2	
	家庭支援論	講義	2	2	
	保育課程論	講義	3	2	
	保育内容総論	演習	2	1	
	保育内容演習（健康）	演習	2	1	
	保育内容演習（人間関係）	演習	2	1	
	保育内容演習（環境）	演習	2	1	
	保育内容演習（言葉）	演習	2	1	
	保育内容演習（表現）	演習	2	1	
	乳児保育	演習	3	2	
	障害児保育	演習	2・3	2	
	社会的養護内容	演習	2	1	
	保育相談支援	演習	3	1	
	保育表現技術Ⅰ（体育）	演習	1	1	
	保育表現技術Ⅰ（音楽）	演習	1	1	
	保育表現技術Ⅱ（音楽）	演習	1	1	
	保育表現技術Ⅰ（造形）	演習	1	1	
	保育実習Ⅰ	実習	3	2	
	保育実習Ⅱ	実習	3	2	
	保育実習事前指導	演習	2	1	
	保育実習指導Ⅰ	演習	3	2	
	保育実習指導Ⅱ	演習	3	2	
	保育実践演習	演習	4	2	
選択必修科目	地域福祉論Ⅰ	講義	2・3・4	2	左記の中から17単位以上履修しなければならない。
	地域福祉論Ⅱ	講義	2・3・4	2	
	社会福祉援助技術論（基礎理論）Ⅰ	講義	2	2	
	社会福祉援助技術論（基礎理論）Ⅱ	講義	2	2	
	障害者福祉論	講義	2・3・4	2	
	学習心理学	講義	2・3・4	2	
	行動分析学	講義	2・3・4	2	
	性格心理学	講義	2・3・4	2	
	適応の心理	講義	2・3・4	2	
	家族社会学Ⅰ	講義	2・3・4	2	
	家族社会学Ⅱ	講義	2・3・4	2	
	カウンセリング	講義	2・3・4	2	
	保育表現技術Ⅱ（体育）	演習	2・3	1	
	保育表現技術Ⅲ（音楽）	演習	2・3	1	
	保育表現技術Ⅱ（造形）	演習	2・3	1	
	保育実習Ⅲ	実習	4	2	保育実習ⅢかⅣのどちらかを選択し実習指導を併せて3単位を履修しなければならない。
	保育実習Ⅳ	実習	4	2	
	保育実習指導Ⅲ・Ⅳ	演習	4	1	
教養科目	社会学Ⅰ	講義	1-4	2	左記の中から6単位以上履修しなければならない。
	社会学Ⅱ	講義	1-4	2	
	人間と社会	講義	1	2	
	心理学Ⅰ	講義	1-4	2	
	心理学Ⅱ	講義	1-4	2	
	健康科学論Ⅰ	講義	1-4	2	
	健康科学論Ⅱ	講義	1-4	2	
	英会話ＡⅠ	演習	1-4	1	英会話ＡⅠ・Ⅱの2単位を履修しなければならない。
	英会話ＡⅡ	演習	1-4	1	
	スポーツ科学Ⅰ	講義	1-4	2	左記体育科目の中から、講義2単位以上、実技１単位以上を履修しなければならない。
	スポーツ科学Ⅱ	講義	1-4	2	
	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ	実技	1-4	1	
	選択スポーツトレーニング実技Ⅱ	実技	1-4	1	
					86単位以上

2013年度以降の入学生

	本学開講科目				履修方法
	教科目	授業形態	配当学年	単位数	
必修科目	保育原理Ⅰ	講義	1	2	必修科目55単位を履修しなければならない
	教育原理	講義	1	2	
	児童・家庭福祉論	講義	2・3・4	2	
	社会福祉原論Ⅰ	講義	1・2	2	
	相談援助演習Ⅰ	演習	2	2	
	社会的養護	講義	2	2	
	保育原理Ⅱ	講義	1	2	
	保育の心理学Ⅰ	講義	2・3・4	2	
	保育の心理学Ⅱ	演習	2・3・4	1	
	子どもの保健Ⅰ	講義	2	2	
	子どもの保健Ⅱ	講義	2	2	
	子どもの保健演習	演習	2	1	
	子どもの食と栄養	演習	2	2	
	家庭支援論	講義	2	2	
	保育課程論	講義	3	2	
	保育内容総論	演習	2	1	
	保育内容演習（健康）	演習	2	1	
	保育内容演習（人間関係）	演習	2	1	
	保育内容演習（環境）	演習	2	1	
	保育内容演習（言葉）	演習	2	1	
	保育内容演習（表現）	演習	2	1	
	乳児保育	演習	3	2	
	障害児保育	演習	2・3	2	
	社会的養護内容	演習	2	1	
	保育相談支援	演習	3	1	
	保育表現技術Ⅰ（体育）	演習	1	1	
	保育表現技術Ⅰ（音楽）	演習	1	1	
	保育表現技術Ⅱ（音楽）	演習	1	1	
	保育表現技術Ⅰ（造形）	演習	1	1	
	保育実習Ⅰ	実習	3	2	
	保育実習Ⅱ	実習	3	2	
	保育実習事前指導	演習	2	1	
	保育実習指導Ⅰ	演習	3	2	
	保育実習指導Ⅱ	演習	3	2	
	保育実践演習	演習	4	2	
選択必修科目	地域福祉論Ⅰ	講義	2・3・4	2	左記の中から17単位以上履修しなければならない。
	地域福祉論Ⅱ	講義	2・3・4	2	
	社会福祉援助技術論（基礎理論）Ⅰ	講義	2	2	
	社会福祉援助技術論（基礎理論）Ⅱ	講義	2	2	
	障害者福祉論	講義	2・3・4	2	
	学習心理学	講義	2・3・4	2	
	行動分析学	講義	2・3・4	2	
	性格心理学	講義	2・3・4	2	
	適応の心理	講義	2・3・4	2	
	救急教育	講義	2・3・4	2	
	カウンセリング	講義	2・3・4	2	
	保育表現技術Ⅱ（体育）	演習	2・3	1	
	保育表現技術Ⅲ（音楽）	演習	2・3	1	
	保育表現技術Ⅱ（造形）	演習	2・3	1	
	保育実習Ⅲ	実習	4	2	保育実習ⅢかⅣのどちらかを選択し実習指導を併せて3単位を履修しなければならない。
	保育実習Ⅳ	実習	4	2	
	保育実習指導Ⅲ・Ⅳ	演習	4	1	
教養科目	社会学Ⅰ	講義	1-4	2	左記の中から6単位以上履修しなければならない。
	社会学Ⅱ	講義	1-4	2	
	人間と社会	講義	1	2	
	心理学Ⅰ	講義	1-4	2	
	心理学Ⅱ	講義	1-4	2	
	健康科学論Ⅰ	講義	1-4	2	
	健康科学論Ⅱ	講義	1-4	2	
	英会話ＡⅠ	演習	1-4	1	英会話ＡⅠ・Ⅱの2単位を履修しなければならない。
	英会話ＡⅡ	演習	1-4	1	
	スポーツ科学Ⅰ	講義	1-4	2	左記体育科目の中から、講義2単位以上、実技１単位以上を履修しなければならない。
	スポーツ科学Ⅱ	講義	1-4	2	
	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ	実技	1-4	1	
	選択スポーツトレーニング実技Ⅱ	実技	1-4	1	
					86単位以上

2011・2012年度の入学生

	本学開講科目				履修方法
	教科目	授業形態	配当学年	単位数	
必修科目	保育原理Ⅰ	講義	1	2	必修科目55単位を履修しなければならない
	教育原理	講義	1	2	
	児童・家庭福祉論	講義	2・3・4	2	
	社会福祉原論Ⅰ	講義	1・2	2	
	相談援助演習Ⅰ	演習	2	2	
	社会的養護	講義	2	2	
	保育原理Ⅱ	講義	1	2	
	保育の心理学Ⅰ	講義	2・3・4	2	
	保育の心理学Ⅱ	演習	2・3・4	1	
	子どもの保健Ⅰ	講義	2	2	
	子どもの保健Ⅱ	講義	2	2	
	子どもの保健演習	演習	2	1	
	子どもの食と栄養	演習	2	2	
	家庭支援論	講義	2	2	
	保育課程論	講義	3	2	
	保育内容総論	演習	2	1	
	保育内容演習(健康)	演習	2	1	
	保育内容演習(人間関係)	演習	2	1	
	保育内容演習(環境)	演習	2	1	
	保育内容演習(言葉)	演習	2	1	
	保育内容演習(表現)	演習	2	1	
	乳児保育	演習	3	2	
	障害児保育	演習	2・3	2	
	社会的養護内容	演習	2	1	
	保育相談支援	演習	3	1	
	保育表現技術Ⅰ（体育）	演習	1	1	
	保育表現技術Ⅰ（音楽）	演習	1	1	
	保育表現技術Ⅱ（音楽）	演習	1	1	
	保育表現技術Ⅰ（造形）	演習	1	1	
	保育実習Ⅰ	実習	3	2	
	保育実習Ⅱ	実習	3	2	
	保育実習事前指導	演習	2	1	
	保育実習指導Ⅰ	演習	3	2	
	保育実習指導Ⅱ	演習	3	2	
	保育実践演習	演習	4	2	
選択必修科目	地域福祉論Ⅰ	講義	2・3・4	2	左記の中から17単位以上履修しなければならない。
	地域福祉論Ⅱ	講義	2・3・4	2	
	社会福祉援助技術論(基礎理論)Ⅰ	講義	2	2	
	社会福祉援助技術論(基礎理論)Ⅱ	講義	2	2	
	障害者福祉論	講義	2・3・4	2	
	学習心理学Ⅰ	講義	2・3・4	2	
	学習心理学Ⅱ	講義	2・3・4	2	
	性格心理学Ⅰ	講義	2・3・4	2	
	性格心理学Ⅱ	講義	2・3・4	2	
	救急教育	講義	2・3・4	2	
	カウンセリング	講義	2・3・4	2	
	保育表現技術Ⅱ（体育）	演習	2・3	1	
	保育表現技術Ⅲ（音楽）	演習	2・3	1	
	保育表現技術Ⅱ（造形）	演習	2・3	1	
	保育実習Ⅲ	実習	4	2	保育実習ⅢかⅣのどちらかを選択し実習指導を併せて3単位を履修しなければならない。
	保育実習Ⅳ	実習	4	2	
	保育実習指導Ⅲ・Ⅳ	演習	4	1	
教養科目	社会学Ⅰ	講義	1-4	2	左記の中から6単位以上履修しなければならない。
	社会学Ⅱ	講義	1-4	2	
	人間と社会	講義	1	2	
	心理学Ⅰ	講義	1-4	2	
	心理学Ⅱ	講義	1-4	2	
	健康科学論Ⅰ	講義	1-4	2	
	健康科学論Ⅱ	講義	1-4	2	
	英会話ＡⅠ	演習	1-4	1	英会話ＡⅠ・ＡⅡの2単位を履修しなければならない。
	英会話ＡⅡ	演習	1-4	1	
	スポーツ科学Ⅰ	講義	1-4	2	左記体育科目の中から、講義2単位以上、実技１単位以上を履修しなければならない。
	スポーツ科学Ⅱ	講義	1-4	2	
	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ	実技	1-4	1	
	選択スポーツトレーニング実技Ⅱ	実技	1-4	1	
					86単位以上

⑸　児童福祉司（任用資格）

社会学科を卒業し、厚生労働省令で定める施設において一年以上児童その他の者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行う業務に従事した者に与えられる任用資格です。児童福祉司とは、「児童相談所長の命を受けて、児童の保護その他児童の福祉に関する事項について、相談に応じ、専門的技術に基づいて必要な指導を行う等児童の福祉増進に努める」専門家のことです。

⑹　社会福祉主事（任用資格）

厚生労働大臣の指定する科目のうち3科目を修めて卒業した者に与えられる任用資格です。この任用資格を取得するための履修科目は、2009年度以降の入学生と2008年度以前の入学生で異なります。また、同じ社会学部でも、学科の性質上履修科目が違うので、以下の点に留意し間違いのないように履修してください。

□　社会学科の場合

社会学科は、社会福祉士受験資格の付与、保育士の資格取得（2009年度より）にみられるように、高度な専門性を身につけた社会福祉従事者の養成を教育の柱としています。そのため、課程表には多くの社会福祉関連科目が配置されています。したがって、社会学科で社会福祉主事を取得する場合、厚生労働大臣の指定する３科目（３科目主事という）だけでは、学科の目的や社会のニーズに応えることはできません。この点を理解し、社会福祉主事取得にあたっては、次の通り「社会福祉士指定科目」を履修してください。

☆2009年度以降の入学生

2009年度以降の入学生が社会福祉主事を取得する場合、社会福祉士の基礎科目を中心に履修してください。社会福祉士の基礎科目のうち、社会福祉主事の指定科目とされている科目は、心理学Ⅰ・Ⅱ、社会学Ⅰ・Ⅱ、社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ、保育原理Ⅰ・Ⅱ、老人福祉論、介護福祉論、障害者福祉論、地域福祉論Ⅰ・Ⅱ、社会保障論Ⅰ・Ⅱ、公的扶助論、福祉行財政と福祉計画論、ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ、医学一般、法学Ⅰ・Ⅱです。この中から、次のように履修することが望まれます。

必　修　科　目：社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ、老人福祉論、障害者福祉論、地域福祉論Ⅰ・Ⅱの12単位
選択必修科目：心理学Ⅰ・Ⅱ、社会学Ⅰ・Ⅱ、保育原理Ⅰ・Ⅱ、介護福祉論、社会保障論Ⅰ・Ⅱ、公的扶助論、福祉行財政と福祉計画論、ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ、医学一般、法学Ⅰ・Ⅱのうち12単位

☆2008年度以前の入学生

2008年度以前の入学生が社会福祉主事を取得する場合、社会福祉士の基礎科目を中心に履修します。社会福祉士の基礎科目とは、社会福祉原論、老人福祉論、障害者福祉論、児童福祉論、｛心理学・社会学・法学｝のうち１科目、｛社会保障論・公的扶助論・地域福祉論｝のうち１科目、合計6科目を指します。したがって、次のように履修することが望まれます。

必　修　科　目：社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ、老人福祉論Ⅰ・Ⅱ、障害者福祉論Ⅰ・Ⅱ、児童福祉論Ⅰ・Ⅱの16単位
選択必修科目：社会学概論Ⅰ・Ⅱ（2008年度入学生は、社会学Ⅰ・Ⅱ）または心理学概論Ⅰ・Ⅱ（2008年度入学生は、心理学Ⅰ・Ⅱ）のどちらかを選択し４単位を履修してください。また、｛社会保障論Ⅰ・Ⅱ、公的扶助論Ⅰ・Ⅱ、地域福祉論Ⅰ・Ⅱ｝の中から１つを選択し４単位を履修してください。

＊なお、基礎科目を履修して卒業すると、卒業後に社会福祉士を取得する場合は、半年の養成機関で（通常は１年間）で受験資格を得ることができます。

履修上の留意点

＊Ⅰ・Ⅱと分かれている科目（たとえば社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ）は、セメスター制では２科目となりますが、社会福祉主事の科目としては１科目と数えます。Ⅰ・Ⅱと分かれている科目の履修については、通年で（Ⅰ・Ⅱともに）履修してください。

＊法律上、社会福祉主事は、厚生労働大臣が指定した科目のうち３科目を取得すれば、任用資格が与えられます。したがって、上記の通りに履修しなくても指定科目のうち３科目以上履修していれば、社会福祉主事の任用資格は与えられます。上記の必修科目及び選択必修科目というのは、社会学科が社会福祉従事者の専門養成を行う学科であることを考慮した履修指導であると理解してください。

□　国際観光学科の場合

国際観光学科の場合、社会福祉士関連科目がそれほど多く配置されていません。しかし、課程表中の専門発展科目に「社会福祉主事」科目が設定されていますので、その科目群の中から３科目以上を履修してください。また、他学部の場合とは違い、いくつか「社会学基礎科目」の中に福祉関連科目がありますので、３科目にとどまらず「社会学科の社会福祉主事取得」を参考にして「３科目主事」に終わらないように福祉の勉強することが望まれます。

☆2009年度以降の入学生

選択必修科目の「教養基礎科目」及び「社会学基礎科目」、また選択科目の「社会福祉主事科目」の中から次の科目を３科目以上履修してください。

心理学Ⅰ・Ⅱ、社会学Ⅰ・Ⅱ、社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ、地域福祉論Ⅰ・Ⅱ、障害者福祉論、老人福祉論、介護福祉論、公的扶助論、保育原理Ⅰ・Ⅱ、ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ、福祉行財政と福祉計画論

☆2008年度入学生

専門基礎科目の「社会学基礎科目」及び専門発展科目の「社会福祉主事科目」の中から次の科目を３科目以上履修してください。

社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ、地域福祉論Ⅰ・Ⅱ、障害者福祉論Ⅰ・Ⅱ、老人福祉論Ⅰ・Ⅱ、児童福祉論Ⅰ・Ⅱ、介護概論Ⅰ・Ⅱ、公的扶助論Ⅰ・Ⅱ

履修上の留意点

＊Ⅰ・Ⅱと分かれている科目（たとえば社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ）は、セメスター制では２科目となりますが、社会福祉主事の科目としては１科目と数えます。Ⅰ・Ⅱと分かれている科目の履修については、通年で（Ⅰ・Ⅱともに）履修してください。

＊任用資格とは、任用されて（雇用されて）初めて活かすことのできる資格です。就職のための資格ではありませんので、よく考えて履修してください。

＊「社会福祉主事」取得を希望するなら、「社会学基礎科目」のみならず「社会福祉主事科目」の科目等も併せて履修するように心がけてください。

⑺　心肺蘇生法（CPR）資格

日常生活の中で、いつ出くわすとも限らない事故。それは、福祉現場や観光現場において発生する可能性があります。生命倫理や命の大切さを学び、日常生活や野外活動の場で発生する可能性のある事故に対応でき、

一刻を争う対応力を身につけ、周囲の人やクライエントの命を守る心肺蘇生法（CPR）を中心に一次救命の基礎を学びます。

福祉現場で、室内外での活動に参与する仕事や観光業、ツアーコンダクターを目指す学生に有用な資格です。特に最近の観光では屋外で「活動する観光」が注目されており、救急救命に関する知識は必須になっています。

資格取得は、開講科目「救急教育」を履修し単位修得後、当該協会主催の講習および試験を受けて認定されます。認定機関は「日本ライフセービング協会」です。

⑻ 国内・総合旅行業務取扱管理者

旅行業法に定められている国家資格で、「国内旅行業務取扱管理者」と「総合旅行業務取扱管理者」資格があり、前者は国内旅行を扱う店舗、後者は国内・海外の両方を取り扱う店舗に必要な資格です。しかし、現実的にはほとんどの旅行会社は国内・海外の両方を扱っていますので、旅行業界を目指す学生達に求められるのは「総合旅行業務取扱管理者」ということになります。国内と総合を計画的に取得することを勧めます。

資格取得のための試験科目をみると、国内は「旅行業法」「旅行業約款」「国内旅行実務」の３科目、総合は前３科目に加えて、「海外旅行実務」です。試験科目に対応する授業科目として、社会学部が設置しているのは、以下の科目です。詳細は、巻末の「旅行業務取扱管理者試験受験のための履修指導」を見て下さい。

☆2011年度以降の入学生

「旅行業務論（業法）Ⅰ・Ⅱ」「旅行業務論（約款）Ⅰ・Ⅱ」「旅行業務論（国内料金）Ⅰ・Ⅱ」「旅行業務論（国際運賃・料金）Ⅰ・Ⅱ」「旅行業務論（海外旅行実務）Ⅰ・Ⅱ」「旅行業務論（国内地理）」「旅行業務論（海外地理）」

☆2008 ～ 2010年度入学生

「旅行業務論（業法）Ⅰ・Ⅱ」「旅行業務論（約款）」「旅行業務論（国内料金）Ⅰ・Ⅱ」「旅行業務論（国際運賃・料金）」「旅行業務論（海外旅行実務）Ⅰ・Ⅱ」「旅行業務論（国内地理）」「旅行業務論（海外地理）」

⑼ 国内・総合旅程管理業務主任者

旅行前のホテルや飛行機などの予約確認から企画旅行に参加する旅行者に同行（添乗）して旅行を円滑に実施するための必要な措置を講ずる進行役として旅行会社から選任される添乗員、ツアーコンダクターと言われている資格です。

この資格には国内旅程管理業務主任者（国内旅行のみ）と総合旅程管理業務主任者（海外、国内旅行とも可能）の2種類があります。観光庁から認定された専任講師から基礎研修カリキュラムに基づいて講義を受け、その後日本添乗サービス協会で3日間の指定研修を受講し、試験に合格した人に「旅程管理研修修了証明書」が交付されます。この指定研修修了前または後1年以内に1回以上、または3年以内に2回以上の添乗業務の経験を経て「旅程管理主任者証」を交付することが法律で定められています。

本学では、この資格の取得のためだけの課外講座を開設していますが、この講座を正規の授業科目である観光実践科目「観光インターンシップ」と連動させています。この科目の履修者は、夏休み期間中に観光の現場での就業体験を行っていますので、講座の受講者も、この科目を履修し、夏休みを利用して添乗実務に参加することにより、この資格を取得することができます。

⑽　キャンプインストラクター

これは、社団法人　日本キャンプ協会公認のキャンプインストラクター資格であり、総合的な自然体験である「キャンプ」の指導者として、キャンプの楽しさを多くの人に伝えられるようにキャンプの基礎を学習し、取得するもので、キャンプ・ディレクター２級、１級へステップアップするための基礎資格となります。野外活動は、現代では社会教育の現場ばかりでなく福祉現場における指導においても、観光現場のレジャーとしても注目されており、広い範囲で活用できる知識、技術を背景とする資格です。資格取得のために「スポーツ方法実習」（2010年度以前入学生）または「キャンプ実習」（2011年度以降入学生）が開講されています。

⑾　公益社団法人　日本体育協会「公認スポーツ指導者」について

日本体育協会は、国民のスポーツ振興と競技力向上にあたる各種スポーツ指導者の資質と指導力の向上をはかり、指導活動の促進と指導体制を確立、総合型地域スポーツクラブでのスタッフの育成を図るため、「（財）日本体育協会公認スポーツ指導者制度」を制定しています。

将来、スポーツ指導者、総合型地域スポーツクラブでのスタッフ等を目指す学生は、日本体育協会資格一覧の資格を取得することが望まれます。

「共通科目Ⅰ・Ⅱ」の修了証は下記の表に示す科目の単位を取得し、申請を行ったものが取得できます。また、「共通科目Ⅰ・Ⅱ」の修了証の申請と同時に、「スポーツリーダー」の資格取得が同時にできます。

2010年度以降入学生

No.	科目名	単位数
1	スポーツと文化	2
2	コーチング論	2
3	スポーツと法	2
4	トレーニング論	2
5	発育発達老化の理論・実習	2
6	スポーツ栄養学Ⅰ	2
7	スポーツ社会学	2
8	スポーツ外傷・障害と予防	2
9	スポーツ心理学	2
10	スポーツマネジメント論	2

2009年度以前入学生

No.	科目名	単位数
1	スポーツ文化論	2
2	コーチ学	2
3	スポーツと法	2
4	スポーツトレーニング論	2
5	発育・発達論	2
6	スポーツと栄養Ⅰ	2
7	スポーツ・ジェンダー論（スポーツと女性）	2
8	スポーツ外傷・障害と予防	2
9	スポーツ心理学	2
10	スポーツマネジメント論	2

これらの申請は、卒業年次のみにしか受け付けることができません。卒業後の申請は、いかなる理由であれ認められませんので、注意してください。申請には別途申請料を徴収します。

日本体育協会が認定する様々な資格を取得するためには、日本体育協会が開催する講習会等に出席し、各専門科目を取得する必要があります。

資格の詳細は、日本体育協会のホームページで確認してください。

http://www.japan-sports.or.jp/

日本体育協会資格一覧

スポーツ指導基礎資格

（h=時間）

資格	内容	要件
スポーツリーダー	・地域におけるスポーツグループやサークルなどのリーダーとして、基礎的なスポーツ指導や運営にあたる。	共通I

競技別指導者資格

資格	内容	要件
指導員	・地域スポーツクラブ等において、スポーツに初めて出会う子どもたちや初心者を対象に、競技別の専門知識を活かし、個々人の年齢や性別などの対象に合わせた指導にあたる。	共通I 専門:40h以上
上級指導員	・地域スポーツクラブ等において、年齢、競技レベルに応じた指導にあたる。 ・事業計画の立案などクラブ内指導者の中心的な役割を担う。	共通I+II 専門:20h以上
コーチ	・地域において、競技者育成のための指導にあたる。 ・広域スポーツセンターや各競技別のトレーニング拠点において、有望な競技者の育成にあたる。	共通I+II+III 専門:60h以上
上級コーチ	・ナショナルレベルのトレーニング拠点において、各年代で選抜された競技者の育成強化にあたる。	共通I+II+III+IV 専門:40h以上
教師	・商業スポーツ施設等において、競技別の専門的指導者として、質の高い実技指導を行う。	共通I+II+III 専門:80h以上
上級教師	・商業スポーツ施設等において、競技別の専門的指導者として質の高い実技指導を行う。 ・会員（顧客）が満足できるよう、個々人の年齢や性別、技能レベルやニーズなどに合わせたサービスを提供する。	共通I+II+III+IV 専門:60h以上

フィットネス系資格

資格	内容	要件
ジュニアスポーツ指導員	・地域スポーツクラブ等において、幼・少年期の子どもたちに遊びを通した身体づくり、動きづくりの指導を行う。	共通I 専門:40h
スポーツプログラマー	・主として青年期以降のすべての人に対し、地域スポーツクラブなどにおいて、フィットネスの維持や向上のための指導・助言を行う。	共通I+II 専門:63h

メディカル・コンディショニング系資格

資格	内容	要件
アスレティックトレーナー	・スポーツドクター及びコーチとの緊密な協力のもとに、競技者の健康管理、障害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション及びトレーニング、コンディショニング等にあたる。	共通I+II+III 専門:600h
スポーツ栄養士	・スポーツ活動現場において、競技者の栄養・食事に関する専門的なサポートにあたる。 ・競技者の栄養・食事に関する自己管理能力を高める栄養教育を行う。	共通I+II+III 専門:116.5h

マネジメント資格

資格	内容	要件
アシスタントマネジャー	・総合型の地域スポーツクラブなどにおいて、クラブ員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネジャーを補佐し、クラブマネジメントのための諸活動をサポートする。	共通I 専門:35h
クラブマネジャー	・総合型の地域スポーツクラブなどにおいて、クラブの経営資源を有効に活用し、クラブ会員が継続的に快適なクラブライフを送ることができるよう健全なマネジメントを行う。	共通I 専門:167.5h

なお、卒業時には、課程修了の「認定証」および「スポーツリーダー」の資格が取得できますが、日本体育協会および各種スポーツ団体が認定する資格を取得するためには、それぞれの団体が開催する講習会等に出席し、各専門科目を取得していなければなりません。また、より上位の資格取得のためなどには、「共通科目Ⅰ・Ⅱ」の他、「共通科目Ⅲ、Ⅳ」および指定された専門科目の講習会等への出席、各科目の取得が必要です。

⑿ ピアヘルパー

NPO日本教育カウンセラー協会の認定資格であり、教育カウンセラーの基礎となる資格でもあります。ピアは仲間、ピアヘルパーは仲間を助ける人という意味です。友人や知人の相談相手になったり、サークルのまとめ役をしたり、人とかかわるために必要な基本的な力を身につけていることが認定される資格です。学生向けの資格ですので、在学中に受験・取得が可能です。本学は加盟校となっていますので、本学で受験することが

できます。「臨床心理学概説」、「実践臨床心理学」、「カウンセリング」、「キャリアカウンセリング」、「産業組織心理学」、「対人関係論」の６科目（12単位）の中から３科目（６単位）を取得すれば受験できます（取得見込みでも受験はできます）。2年次での受験を推奨しています。希望者は心理系の教員に問い合わせてください。

社会福祉士受験資格取得希望者のための履修指導

Ⅰ 履修の方法

１．指定科目の履修

社会福祉士受験資格を得るためには、厚生労働省が指定した次の科目を履修しなければなりません。入学年度によって履修科目が異なりますので、履修登録には十分注意してください。

⑴ 基礎科目の履修（13科目30単位：ただし法学Ⅰ・Ⅱ、心理学Ⅰ・Ⅱ、社会学Ⅰ・Ⅱを選択の場合34単位）

社会調査法、ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ、福祉行財政と福祉計画論、福祉運営管理、社会保障論Ⅰ・Ⅱ、老人福祉論、介護福祉論、障害者福祉論、児童・家庭福祉論、公的扶助論、保健医療

（就労支援、 法学Ⅰ・Ⅱ、 刑法（総論）Ⅰ）のうち１科目２単位（ただし、 法学の場合は４単位）

（医学一般、 心理学Ⅰ・Ⅱ、 社会学Ⅰ・Ⅱ）のうち１科目２単位（ただし、 心理学、 社会学の場合は４単位）

⑵ 基礎科目以外の指定科目の履修（９科目30単位）

社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ、社会福祉援助技術論（基礎理論）Ⅰ・Ⅱ、社会福祉技術論（実践応用）Ⅰ・Ⅱ、地域福祉論Ⅰ・Ⅱ、相談援助演習Ⅰ、相談援助演習Ⅱ、相談援助演習Ⅲ、相談援助実習指導、相談援助実習

履修の注意点

①科目のカウントについては、社会福祉原論Ⅰ・Ⅱを１科目として数えています。

②相談援助演習I及び相談援助演習Ⅱはそれぞれ２単位、相談援助演習Ⅲは１単位です。

③相談援助実習指導は、３年生秋学期から４年生全期にかけて履修し、３単位です。相談援助実習は、６単位です。

④それぞれの科目は、配当学年（例えば、社会福祉原論Ⅰ・Ⅱだと、１年生～２年生に履修する）があるので、入学年度の課程表と照らし合わせて計画的に履修してください。

２．関連科目の履修

2008年度以降の入学生からは、社会福祉士受験資格以外に社会調査士、認定心理士及び観光資格、また副専攻の履修が可能となったので、基本的には各自の関心に沿って履修科目を決定しますが、福祉を専攻する学生には次の科目を選択することを奨励します。

地域社会学Ⅰ・Ⅱ、社会心理学、社会統計学、ボランティア活動論及び実習Ⅰ・Ⅱ、臨床心理学概説、実践臨床心理学、カウンセリング

Ⅱ 相談援助実習について

１．実習の目標

①現場体験を通して相談援助専門職に必要な「専門知識」及び「専門技術」の理解を深めます。

②「専門知識」及び「専門技術」を実際の場で活用し、相談援助専門職の業務に必要な資質・能力・技術を習得します。

③職業倫理を身につけ、相談援助専門職としての自覚にもとづいた行動ができるようにします。

④具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化・理論化し体系だてていくことができる能力を涵養します。

⑤関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を理解します。

２．相談援助実習の履修要件

①実習の目的を理解し、社会福祉士の受験資格の獲得をめざし、将来社会福祉従事者になる意欲を持っている者。

②社会学科３年生で、社会福祉士指定科目の単位履修が可能な者。

③指定科目のうち、「社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ」を含む４科目以上を習得し、３学年までの社会学科の必修科目単位を修得している者。

④「相談援助実習指導」を履修のうえ、法定条件である4/5以上の出席をクリアし、単位習得が可能な者。

３．実習単位について

実習単位は、相談援助実習が６単位、「相談援助実習指導」が３単位です。６単位の実習は、現場実習指導を履修することが必修条件です。また、５週間の配属実習、実習総括レポートの提出、「実習指導」の4/5以上の出席が最低のノルマです。

４．実習時期及び期間

原則として実習期間は５週間で、3～４年次に行います。

５．実習対象機関及び施設

以下の施設を実習対象機関・施設とし、それ以外の実習先は現場実習の配属実習としては認めません。

相談援助実習施設及び機関（主な実習先）

根拠法	実習先
児童福祉法	児童相談所、乳児院、母子生活支援施設、児童養護施設、知的障害児施設、知的障害児通園施設、盲ろうあ児施設、肢体不自由児施設、重症心身障害児施設、情緒障害児短期治療施設、児童自立支援施設、児童家庭支援センター及び指定医療機関
医療法	病院及び診療所
身体障害者福祉法	身体障害者更生相談所及び身体障害者福祉センター
精神保健及び精神障害者福祉に関する法律	精神保健福祉センター
生活保護法	救護施設、更生施設、授産施設及び宿泊提供施設
社会福祉法	福祉事務所、市町村社会福祉協議会
売春防止法	婦人相談所、婦人保護施設
知的障害者福祉法	知的障害者更生相談所
障害者の雇用の促進等に関する法律	広域障害者職業センター、地域障害者職業センター及び障害者就業・生活支援センター
老人福祉法	老人デイサービスセンター、老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、老人福祉センター及び老人介護支援センター並びに老人デイサービス事業
母子及び寡婦福祉法	母子福祉センター
更生保護事業法	更生保護施設
介護保険法	介護老人保健施設及び地域包括支援センター並びに居宅サービス事業のうち通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護又は特定施設入所生活介護行う事業、地域密着型サービス事業のうち認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護又は地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護を行う事業、居宅介護支援事業、介護予防サービス事業のうち介護予防通所介護、介護予防通所リハビリテーション、介護予防短期入所生活介護又は介護予防短期入所療養介護を行う事業、地域密着型介護予防サービス事業のうち介護予防認知症対応型通所介護、介護予防小規模多機能型居宅介護又は介護予防認知症対応型共同生活介護を行う事業並びに介護予防支援事業
発達障害者支援法	発達障害者支援センター
障害者総合支援法	障害者支援施設、地域活動支援センター並びに相談支援事業 障害福祉サービス事業のうち療養介護、生活介護、児童デイサービス、短期入所、重度障害者等包括支援、共同生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援及び共同生活援助を行う事業並びに相談支援事業

６．実習先の決定

実習生は、上記の機関および施設の中からあらかじめ希望の実習先を選定し、２年生の11月までに実習希望先を定め、相談援助実習申込み書を提出してください。場所の選定にあたっては、配属実習の機関に対して教員の巡回指導（原則として週１回）が必要となりますので、実習場所は近県（茨城県、埼玉県、千葉県、東京都）において設定することが望ましいです。

７．事前訪問指導

実習先が決定した後、実習生は必ず実習先を訪問し指導を受けなければなりません。

８．実習費

4,000円とします。ただし、実習謝金、交通費、宿泊費、食費など実習にかかわる経費は自己負担とします。

旅行業務取扱管理者試験受験のための履修指導

この資格の概要については、**「22. 資格の取得について」**の**(8)**で説明しましたので、ここでは、国家試験を受験するためにはどのように計画的に関連科目を履修するのが良いのかを説明します。

まず、国家試験の「国内(3科目)」および**「総合(4科目)」**の試験科目と、本学がそれに対応して開設している授業科目は、下の表の通りです。

国家試験の試験区分	国家試験の試験科目	対応している授業科目 (上段は2011年度以降入学生、下段は2008~2010年度入学生)	単位数
国内 / **総合**	1 旅行業法及びこれに基づく命令	1 旅行業務論（業法）Ⅰ・Ⅱ	各1
		旅行業務論（業法）Ⅰ・Ⅱ	各1
国内 / **総合**	2 旅行業約款、運送約款、宿泊約款	2 旅行業務論（約款）Ⅰ・Ⅱ	各1
		旅行業務論（約款）	2
国内 / **総合**	3 国内旅行実務	3	
	1) 本邦内の運送機関と宿泊機関の利用料金、その他の本邦内の旅行業務に関する料金	旅行業務論（国内料金）Ⅰ・Ⅱ	各1
		旅行業務論（国内料金）Ⅰ・Ⅱ	各1
	2) その他本邦内の旅行業務に関する実務	旅行業務論（国内地理）	1
		旅行業務論（国内地理）	2
国内 / **総合**	4 海外旅行実務	4	
	1) 本邦外の運送機関の利用料金、その他本邦外の旅行業務に関する料金	旅行業務論（国際運賃・料金）Ⅰ・Ⅱ	各1
		旅行業務論（国際運賃・料金）	2
	2) 旅券の申請手続、通関手続、為替管理、その他の本邦外の旅行業務に必要な法令	旅行業務論（海外旅行実務）Ⅰ・Ⅱ	各1
		旅行業務論（海外旅行実務）	2
	3) 本邦及び主要国における出入国に必要な手続に関する実務	旅行業務論（海外旅行実務）Ⅰ・Ⅱ	各1
		旅行業務論（海外旅行実務）	2
	4) 主要国の観光	旅行業務論（海外地理）	1
		旅行業務論（海外地理）	2
	5) 本邦外の旅行業務に必要な語学	中学・高校程度の英語力	
	6) その他本邦外の旅行業務に関する実務	旅行業務論（海外旅行実務）Ⅰ・Ⅱ	各1
		旅行業務論（海外旅行実務）	2

(理想的な科目履修の方法)

1．1年生から履修可能ですが、**各「旅行業務論」のⅠとⅡを併せて履修する**ようにして下さい。

2．**「国内旅行業務取扱管理者資格」**の取得のためには、1, 2年生の間に、上記1、2、3の授業科目を履修し、毎年9月に行われる国家試験を受験します(合格発表は11月)。

(この「国内」合格者は、総合旅行業務取扱管理者試験を受験する際、試験科目の１と３、つまり「旅行業法」と「国内旅行実務」の２科目が免除されます。また、３の「国内旅行実務」を合格した場合は、次年度のみですが、再受験の際この科目の受験が免除されます。)

3．「国内」資格を取得後、**「総合旅行業務取扱管理者資格」**の取得のためには、2、3年生の間に、４の授業科目を重点的に履修するとともに、２の「約款」を自分で復習(あるいは講義を聴講)し、毎年10月に行われる国家試験を受験します(合格発表は12月)。

できるだけ、3年生までに取得しましょう。就職には相当有利に働くことになります。

(「総合」の場合も、３の「国内旅行実務」あるいは４の「海外旅行実務科目」を合格すれば、次年度のみですが、再受験の際、合格した科目の受験が免除されます。)

4．初めから総合の4科目受験に挑戦することも可能ですが、人一倍の努力と覚悟が必要となります。**できるだけ、1～3年生の間に計画的に**必要な科目を履修して下さい。

5．これらの授業のほかに、課外講座として夏休み期間を利用して、直前の受験対策講座も開講していますが、それまでに上記の各種授業科目を履修していたか、あるいは少なくとも自習して勉強していた者を対象としていますので、事前の知識がないままで受講することは相当の困難を伴います。（毎年、4年生で旅行会社に就職が内定し、有資格者には特別手当が支給されると会社から言われ、慌てて課外講座のみを受講する者がいますが、残念ながら合格していません。）

（最後に、資格と就職について）

4年制大学卒業生の企業の採用方針として、従来は多くの企業が学生の可能性で採用し、採用後じっくりと育成すれば良いと考えていました。しかし最近では、経済環境厳しい折、新卒に**早期**のあるいは**即戦力化**を期待しております。

かつては、どの大学に入学できたかという「学生の潜在資質」を可能性と見て大学名で採用し企業内研修で十分な費用と時間をかけて育成していました。しかし、最近では多くの企業にはそれだけの体力的な余裕が無く、企業は学生の学びの質、すなわち**「資質の潜在化」**を求め、大学に対しても実社会で役に立つことを学ぶという社会的機能を求めています。言い換えれば、「学校歴」ではなく**「学習歴」**を重視し、学生にも専門性が問われる時代となってきています。この「学習歴」として一般的に評価され、最も判り易いのが**「資格」**です。企業が大学に求めている社会的機能と言いましたが、本学ではこれに応え、今まで記載の通り、種々の資格を取得することを目的とした講義科目を設定しています。

自らの進むべき業界を良く見定め、それに必要な資格を計画的に取得していくことが、今後とも重要になっていきます。その資格を取得するために、一生懸命に努力したことを評価され、また業種別に役に立つ資格であれば、昨日今日の思いつきでこの業界、この企業へ応募してきたのではなく、学生時代から、計画的にしっかりとした就職観と目的を持って応募してきた者として高く評価されます。

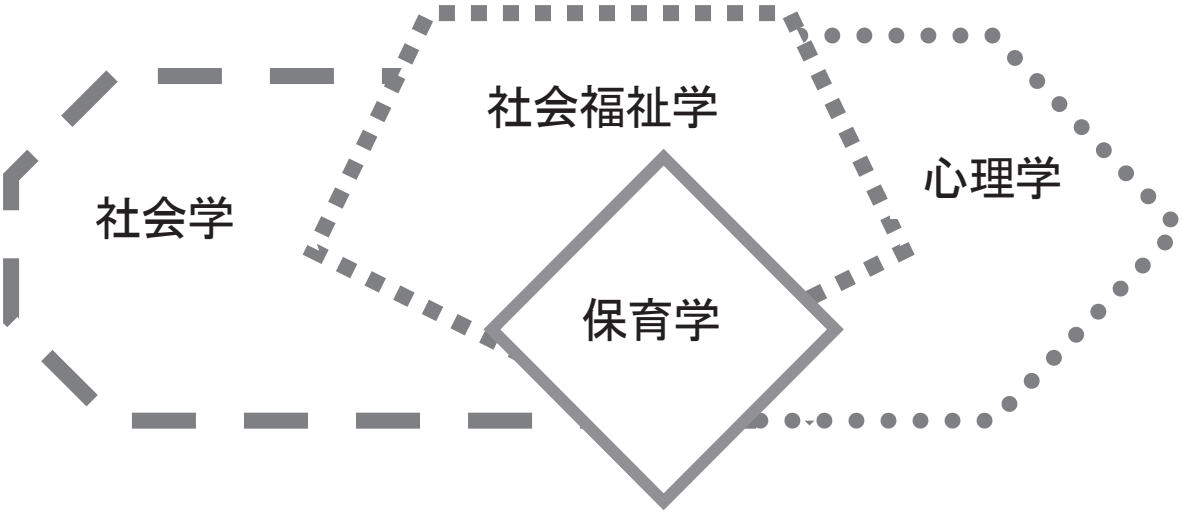
就職氷河期に突入している現在、自分の将来の目標を、今からしっかりと見定め、その業種に必要な資格とは何か、そのために何を勉強しなければならないかをよく考え研究して、講義の履修や課外講座の受講を考えてください。

23. 履修モデル

社会学科の履修モデル［2013年度以降入学生］

ー「社会学」、「心理学」、「社会福祉学」、「保育学」を核とした履修モデルー

社会学科を作り上げている「社会学」「心理学」「社会福祉学」「保育学」の関係は、下の図のようなものかもしれません。それぞれは、独立した学問として固有の関心やテーマをもっていますが、その領域はお互いに重なり合っていて、中間には多様な組み合わせがあります。



２年生になると、「社会学」「心理学」「社会福祉学」「保育学」の４つの分野を中心に、いよいよ本格的な専門教育が始まります。みなさんは、自分の進路や目標、興味にあわせて科目を選んでいくことになります。以下に、科目の選び方の例を紹介した履修モデルを紹介します。これらのほかにも科目の選び方はたくさんありますから、シラバス（授業の紹介）を読んだり本を読んだりして情報を集め、科目を選んでいきましょう。

【社会学を中心とした履修モデル】

① 社会学を専門的に勉強したい
② 社会学を中心に心理学も勉強したい
③ 社会学を中心に社会福祉のことも勉強したい

【心理学を中心とした履修モデル】

④ 心理学を勉強したいキャンパス別パターン
⑤ 心理学を勉強したいキャンパス別パターン
⑥ 心理学を勉強しながら副専攻でスポーツ健康科学も学びたい

【社会福祉学を中心とした履修モデル】

⑦ 市役所や県庁また社会福祉協議会に勤務し、福祉行政や地域福祉の仕事をしたい（社会福祉を中心に社会学を勉強したい）
⑧ 病院や社会福祉施設で相談業務の仕事をしたい（社会福祉を中心に心理学を勉強したい）

【保育学を中心とした履修モデル】

⑨ 保育士になりたい（保育士の資格をとりたい）

⑴　社会学を中心とした履修モデル

社会学を中心に学ぶには、選択必修科目から社会学に関連のある科目をたくさん履修すること。ただし、社会学といっても対象がたくさんあるので、あるていどの方向感覚をもっていたほうがよいでしょう。家族や地域社会、学校などは比較的小さな社会といえます。そこでは、ひとりひとりの果たす役割が相対的に大きく、具体的な“人”に近い人びとの集まりについて勉強することになるでしょう。

組織や産業、国際社会になると、かなり大きな人の集まりを対象にします。社会階層もひとつの国の範囲にいる人びとが対象です。人びとの集まりの大きさのほかにも分類する基準があります。社会システム、ジェンダー、文化、法などは、人びとを捉えている仕組みにかかわるものです。

ただし、このような分類は相対的なものなので、実際の「…社会学」はこれらの境界を横断しているものが多いといえます。具体的には、やはり授業を聞いてみてください。

一般教養科目について、まず「哲学」や「論理学」はこの世界について考えるときの基本になります。人びとがどのような世界を意味づけ、価値づけているかを理解するためには、「宗教学」「イスラム学」などを勉強するとよいかもしれません。日本で宗教というと、何か特別な人の営みのように思われるかもしれませんが、かならずしもそうではないことがわかるでしょう。

「民俗学」や「考古学」は、現代社会とは違う世界での人びとのことを学ぶ学問です。「地理」というと、どこの地域では何が特産でどのような地下資源がある…のようなことを学ぶものだと思っている人がいるかもしれませんが、「人文地理学」はすこし違います。人の営みとの関係で私たちの生活空間について学ぶのがこの科目です。「文学」や「歴史学」からも、人間のことはたくさん学ぶことができます。

上に説明した科目は、人間と社会に直接的に関係しそうなものですが、一見、あまり関係なさそうに思える自然科学や数学などの科目も、深いところで私たちの生活に関わっています。このように書くと、「けっきょく、どれを履修したらよいかわからない」という反応が返ってきそうですが、しかたありません。何を勉強すればよかったのかは、最終的には学生のみなさんが、みなさんなりに見つけていかなければならないことがらです。

「この世界について、何かを知りたい」という好奇心をもって勉強すれば、どのような道筋で勉強しても、かならず何かが身につきます。逆に、自分には知りたいことがあるわけではないけれど、「何か面白いことがあるなら教えて」のような気持ちで勉強していては、何も身につかないことは請け合います。

①　社会学を専門的に勉強したい！

○社会学科基本科目

社会調査法、社会調査実践法、心理学概論Ⅰ・Ⅱ、社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ

○社会学重点科目

地域社会学、産業社会学、経済社会学、マス・コミュニケーション論、社会階層論、社会システム論

○方法論科目

計量社会学、社会統計学、社会データ解析、質的調査法

○専門基礎科目

地域空間論、家族社会学Ⅰ・Ⅱ、教育社会学Ⅰ・Ⅱ、現代組織論、ジェンダー論Ⅰ・Ⅱ、社会病理学、法社会学Ⅰ・Ⅱ、文化人類学、開発社会学、余暇社会学、国際社会学、グローバル化と文化、地域づくりの社会学、市民社会政策論、アジア社会論、防災社会論

○選択科目（社会調査士科目）

社会調査実習

② 社会学を中心に心理学も勉強したい！

○社会学科基本科目

社会調査法、社会調査実践法、心理学概論Ⅰ・Ⅱ

○社会学重点科目

地域社会学、産業社会学、経済社会学、マス・コミュニケーション論、社会階層論、社会システム論

○方法論科目

計量社会学、社会統計学、社会データ解析、質的調査法

○専門基礎科目

家族社会学Ⅰ・Ⅱ、教育社会学Ⅰ・Ⅱ、文化人類学、地域空間論、ジェンダー論Ⅰ・Ⅱ、社会病理学、グローバル化と文化、地域づくりの社会学、防災社会論

○選択科目（社会調査士科目）

社会調査実習

③ 社会学を中心に社会福祉のことも勉強したい！

○社会学科基本科目

社会調査法、社会調査実践法、社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ

○社会学重点科目

地域社会学、産業社会学、経済社会学、マス・コミュニケーション論、社会階層論、社会システム論

○方法論科目

計量社会学、社会統計学、社会データ解析、質的調査法

○専門基礎科目

家族社会学Ⅰ・Ⅱ、教育社会学Ⅰ・Ⅱ、地域空間論、ジェンダー論Ⅰ・Ⅱ、社会病理学、法社会学、地域づくりの社会学、市民社会政策論、防災社会論、老人福祉論、障害者福祉論、児童・家庭福祉論、社会保障論Ⅰ・Ⅱ、介護福祉論、公的扶助論、地域福祉論Ⅰ・Ⅱ

○選択科目（社会調査士科目）

社会調査実習

○選択科目（社会福祉士受験資格取得希望者は必要に応じて社会福祉士科目を選択）

社会学系の教員（50音順）

恩田守雄（経済社会学、開発社会学、市民社会政策論、地域づくりの社会学）
沢谷　豊（社会学基礎、社会システム論）
都築一治（社会階層論、社会統計学、社会データ解析、社会調査実習）
津村　修（産業社会学、現代組織論、就職の社会学、社会調査実習）
根橋正一（国際社会学、アジア社会論、地域社会学、地域空間論）
八田正信（マス・コミュニケーション論、社会調査法、社会調査実践法、社会調査実習）

① 社会学を専門的に勉強したい！

	1学年	2学年	3学年	4学年
必修科目	**1年演習（ゼミ）** **情報基礎Ⅰ・Ⅱ** **人間と社会** **社会学基礎**	**2年演習（ゼミ）** **リベラルアーツ入門**	**3年演習（ゼミ）**	**4年演習（ゼミ）** **卒業論文**
外国語科目	**外国語ＡⅠ・ＡⅡ** **外国語ＢⅠ・ＢⅡ**	**外国語ＣⅠ・ＣⅡ** **外国語ＤⅠ・ＤⅡ** **外国語ＥⅠ・ＥⅡ**		
キャリア科目	*RKU入門* *キャリアデザイン*	*キャリアマネジメント*	*キャリアカウンセリング* インターンシップ基礎 インターンシップ	
一般教養科目	*哲学Ⅰ・Ⅱ* *法学Ⅰ・Ⅱ* *歴史学入門(日本史)Ⅰ・Ⅱ* 自然環境論Ⅰ・Ⅱ 現代文章論Ⅰ・Ⅱ	*宗教学Ⅰ・Ⅱ* *民俗学Ⅰ・Ⅱ* 教育学Ⅰ・Ⅱ 生態学Ⅰ・Ⅱ 人文地理学Ⅰ・Ⅱ	*日本文化論Ⅰ・Ⅱ* *イスラム学Ⅰ・Ⅱ* 健康科学論Ⅰ・Ⅱ 生命科学Ⅰ・Ⅱ 自然地理学Ⅰ・Ⅱ	論理学Ⅰ・Ⅱ 数学Ⅰ・Ⅱ 文学関連科目Ⅰ・Ⅱ 歴史学関連科目Ⅰ・Ⅱ
社会学科基本科目	**社会調査法** **社会調査実践法** *心理学概論Ⅰ・Ⅱ* *社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ* 保育原理Ⅰ・Ⅱ			
社会学科重点科目		*地域社会学* *経済社会学* *産業社会学*	*マス・コミュニケーション論* *社会階層論* *社会システム論*	
方法論科目		*計量社会学* *社会統計学*	*質的調査法* *社会データ解析* **社会調査実習**	
専門基礎科目		*家族社会学Ⅰ・Ⅱ* *教育社会学Ⅰ・Ⅱ* *文化人類学* *地域空間論* *現代組織論* *国際社会学* *社会病理学* *開発社会学*	*ジェンダー論Ⅰ・Ⅱ* *法社会学Ⅰ・Ⅱ* *グローバル化と文化* *地域づくりの社会学* *市民社会政策論* *アジア社会論* *防災社会論* *余暇社会学*	
学部共通科目ほか	日本経済史Ⅰ・Ⅱ 経済地理学Ⅰ・Ⅱ 統計学概論Ⅰ・Ⅱ	日本経済論Ⅰ・Ⅱ 経済発展論Ⅰ・Ⅱ	公共経済学Ⅰ・Ⅱ 産業組織論Ⅰ・Ⅱ	

＊社会調査実習は選択の社会調査士科目の枠の中にあります

太字：履修しなければならない科目　　*斜体：履修が勧められる科目*

② 社会学を中心に心理学も勉強したい！

	1学年	2学年	3学年	4学年
必修科目	**1年演習（ゼミ）** **情報基礎Ⅰ・Ⅱ** **人間と社会** **社会学基礎**	**2年演習（ゼミ）** **リベラルアーツ入門**	**3年演習（ゼミ）**	**4年演習（ゼミ）** **卒業論文**
外国語科目	**外国語ＡⅠ・ＡⅡ** **外国語ＢⅠ・ＢⅡ**	**外国語ＣⅠ・ＣⅡ** **外国語ＤⅠ・ＤⅡ** **外国語ＥⅠ・ＥⅡ**		
キャリア科目	*RKU入門* *キャリアデザイン*	*キャリアマネジメント*	*キャリアカウンセリング* インターンシップ基礎 インターンシップ	
一般教養科目	*哲学Ⅰ・Ⅱ* 法学Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門（日本史）Ⅰ・Ⅱ *自然環境論Ⅰ・Ⅱ* *現代文章論Ⅰ・Ⅱ*	宗教学Ⅰ・Ⅱ *民俗学Ⅰ・Ⅱ* *教育学Ⅰ・Ⅱ* 生態学Ⅰ・Ⅱ 人文地理学Ⅰ・Ⅱ	日本文化論Ⅰ・Ⅱ イスラム学Ⅰ・Ⅱ *健康科学論Ⅰ・Ⅱ* *生命科学Ⅰ・Ⅱ* 自然地理学Ⅰ・Ⅱ	論理学Ⅰ・Ⅱ 数学Ⅰ・Ⅱ 文学関連科目Ⅰ・Ⅱ 歴史学関連科目Ⅰ・Ⅱ
社会学科基本科目	**社会調査法** **社会調査実践法** **心理学概論Ⅰ・Ⅱ** 社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ 保育原理Ⅰ・Ⅱ			
社会学科重点科目		*地域社会学* *経済社会学* *産業社会学*	*マス・コミュニケーション論* *社会階層論* *社会システム論*	
方法論科目		*計量社会学* *社会統計学*	*質的調査法* *社会データ解析* **社会調査実習**	
専門基礎科目		*家族社会学Ⅰ・Ⅱ* *教育社会学Ⅰ・Ⅱ* *文化人類学* *地域空間論* 現代組織論 国際社会学 *社会病理学* 開発社会学	ジェンダー論Ⅰ・Ⅱ 法社会学Ⅰ・Ⅱ グローバル化と文化 地域づくりの社会学 市民社会政策論 アジア社会論 防災社会論 余暇社会学	
		社会心理学 発達心理学 学習心理学 臨床心理学概説 性格心理学	対人関係論 児童心理学 産業組織心理学 実践臨床心理学 行動分析学	適応の心理 親子関係の心理 学校心理学 カウンセリング
認定心理士関連科目		心理学研究法Ⅰ・Ⅱ 認知心理学 家族心理学	心理データ解析 知覚心理学 健康心理学	

太字：履修しなければならない科目　　*斜体：履修が勧められる科目*

③ 社会学を中心に社会福祉のことも勉強したい！

	1学年	2学年	3学年	4学年
必修科目	**1年演習（ゼミ）** **情報基礎Ⅰ・Ⅱ** **人間と社会** **社会学基礎**	**2年演習（ゼミ）** **リベラルアーツ入門**	**3年演習（ゼミ）**	**4年演習（ゼミ）** **卒業論文**
外国語科目	**外国語ＡⅠ・ＡⅡ** **外国語ＢⅠ・ＢⅡ**	**外国語ＣⅠ・ＣⅡ** **外国語ＤⅠ・ＤⅡ** **外国語ＥⅠ・ＥⅡ**		
キャリア科目	*RKU入門* *キャリアデザイン*	*キャリアマネジメント*	*キャリアカウンセリング* インターンシップ基礎 インターンシップ	
一般教養科目	*哲学Ⅰ・Ⅱ* *法学Ⅰ・Ⅱ* *歴史学入門（日本史）Ⅰ・Ⅱ* 自然環境論Ⅰ・Ⅱ 現代文章論Ⅰ・Ⅱ	*宗教学Ⅰ・Ⅱ* *民俗学Ⅰ・Ⅱ* *教育学Ⅰ・Ⅱ* 生態学Ⅰ・Ⅱ 人文地理学Ⅰ・Ⅱ	*日本文化論Ⅰ・Ⅱ* イスラム学Ⅰ・Ⅱ *健康科学論Ⅰ・Ⅱ* *生命科学Ⅰ・Ⅱ* 自然地理学Ⅰ・Ⅱ	論理学Ⅰ・Ⅱ 数学Ⅰ・Ⅱ 文学関連科目Ⅰ・Ⅱ 歴史学関連科目Ⅰ・Ⅱ
社会学科基本科目	**社会調査法** **社会調査実践法** 心理学概論Ⅰ・Ⅱ **社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ** 保育原理Ⅰ・Ⅱ			
社会学科重点科目		*地域社会学* *経済社会学* *産業社会学*	*マス・コミュニケーション論* *社会階層論* *社会システム論*	
方法論科目		*計量社会学* *社会統計学*	*質的調査法* *社会データ解析* **社会調査実習**	
専門基礎科目		*家族社会学Ⅰ・Ⅱ* *教育社会学Ⅰ・Ⅱ* 文化人類学 *地域空間論* 現代組織論 国際社会学 *社会病理学* 開発社会学	*ジェンダー論Ⅰ・Ⅱ* *法社会学Ⅰ・Ⅱ* グローバル化と文化 *地域づくりの社会学* *市民社会政策論* アジア社会論 *防災社会論* 余暇社会学	
		老人福祉論 *障害者福祉論* *児童・家庭福祉論* *社会保障論Ⅰ・Ⅱ*	*介護福祉論* *公的扶助論* *地域福祉論Ⅰ・Ⅱ*	
学部共通科目ほか	日本経済史Ⅰ・Ⅱ 経済地理学Ⅰ・Ⅱ 統計学概論Ⅰ・Ⅱ	日本経済論Ⅰ・Ⅱ 経済発展論Ⅰ・Ⅱ	公共経済学Ⅰ・Ⅱ 産業組織論Ⅰ・Ⅱ	

太字：履修しなければならない科目　　*斜体：履修が勧められる科目*

⑵　心理学を中心とした履修モデル

心理学に興味がある人は、まず、心理学概論Ⅰ・Ⅱで心理学にはどのような分野があるのかを把握しましょう。本格的に勉強したい（認定心理士の資格を取得したい、大学院に進学したい）人は、基礎をしっかり固めてから、自分の興味･関心に応じて心理系の専門基礎科目を選び､さらに認定心理士科目を履修しましょう。何となく心理っぽい話に興味があるという人は、シラバス（授業の紹介）を読んで「これだ！」と思う科目を選んで履修すればよいでしょう。

○認定心理士

認定心理士の資格を取得するには、決められた科目の中から条件を満たすように履修する必要があります。心理学概論Ⅰ・Ⅱ（各２単位)、心理学研究法Ⅰ・Ⅱ（各２単位)、心理学実験演習（4 単位）の 12 単位は基礎科目として必ず取らなければなりません。それ以外の科目は、専門基礎科目と認定心理士科目の中から、分野ごとのバランスを考えながら自分の興味・関心に応じて取っていきます。卒業後に申請手続きをして認められれば、資格が取得できます（手続きに費用がかかります)。

○ピアヘルパー

NPO 日本教育カウンセラー協会の認定資格です。学生向けの資格ですから、在学中でも受験･取得が可能です。本学は加盟校となっていますので、本学で受験することができます。決められた講義・演習の中から 6 単位を取得すれば受験できますから、ステップアップのためにチャレンジするとよいでしょう。

ピアヘルパーとは（協会 HP　http://www.jeca.gr.jp/peer/peer.htm　より抜粋）

“Peer”は「仲間」、“Helper”はもちろん「助ける人」。ですから、ピアヘルパーは直訳すれば仲間を助ける人という意味です。青年や学生なら誰でも遭遇する問題の相談相手になる､あるいはピアグループ(たとえば各種サークルなど）の世話役をつとめるのがピアヘルパーの活動許容範囲です。

心理学系の教員（50 音順）

高口　央　（対人関係論、社会心理学、心理学概論）
佐藤尚人　（臨床心理学概説、実践臨床心理学、カウンセリング）
中村美枝子（産業組織心理学、心理学研究法、心理学実験演習）
山岸直基　（学習心理学、行動分析学、知覚心理学、心理学実験演習）

④ 心理学を勉強したい（できれば認定心理士の資格も取りたい！）キャンパス別パターン1

	1年生	2年生	3年生	4年生
必修科目	1年演習（ゼミ）	2年演習（ゼミ）	3年演習（ゼミ）	4年演習（ゼミ）
	情報基礎Ⅰ・Ⅱ	リベラルアーツ入門		卒業論文
	人間と社会			
	社会学基礎			
外国語科目	外国語ＡⅠ・ＡⅡ 外国語ＢⅠ・ＢⅡ	外国語ＣⅠ・ＣⅡ 外国語ＤⅠ・ＤⅡ 外国語ＥⅠ・ＥⅡ		
キャリア科目	ＲＫＵ入門 キャリアデザイン キャリア基礎Ⅰ・Ⅱ	キャリアマネジメント	キャリアカウンセリング インターンシップ基礎 インターンシップ	
教養基礎科目	心理学Ⅰ・Ⅱ 社会学Ⅰ・Ⅱ 関連科目Ⅰ・Ⅱ	現代文章論Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ 関連科目Ⅰ・Ⅱ	関連科目Ⅰ・Ⅱ 関連科目Ⅰ・Ⅱ 関連科目Ⅰ・Ⅱ	関連科目Ⅰ・Ⅱ 関連科目Ⅰ・Ⅱ
社会学科重点科目		地域社会学 経済社会学 産業社会学	マス・コミュニケーション論 社会階層論 社会システム論	
社会学科基本科目	社会調査法 社会調査実践法 心理学概論Ⅰ・Ⅱ			
方法論科目		計量社会学 社会統計学	質的調査法	
専門基礎科目		臨床心理学概説 実践臨床心理学 対人関係論 社会心理学 学校心理学 親子関係の心理 発達心理学 児童心理学	学習心理学 行動分析学 産業組織心理学 カウンセリング 性格心理学 適応の心理	関連科目Ⅰ・Ⅱ 関連科目Ⅰ・Ⅱ 関連科目Ⅰ・Ⅱ
		現代組織論 国際社会学 家族社会学Ⅰ・Ⅱ	地域づくりの社会学 市民社会政策論 社会病理学 ジェンダー論Ⅰ・Ⅱ	
認定心理士関連科目		心理学研究法Ⅰ・Ⅱ 心理データ解析 認知心理学 知覚心理学	心理学実験演習 消費者行動論Ⅰ・Ⅱ 家族心理学 健康心理学	

※ 各科目の履修にあたっては、履修要綱記載の社会学科履修モデルを参考として下さい。ただし、本学が２キャンパス制であるため、科目によっては隔年開講となっているものがあります。このため、所属キャンパスに合わせて無理なく４年間で希望する心理系科目が履修できるようこのキャンパス別パターン１、及び２も参考にして下さい。

⑤ 心理学を勉強したい（できれば認定心理士の資格も取りたい！）キャンパス別パターン2

	1年生	2年生	3年生	4年生
必修科目	1年演習（ゼミ）	2年演習（ゼミ）	3年演習（ゼミ）	4年演習（ゼミ）
	情報基礎Ⅰ・Ⅱ	リベラルアーツ入門		卒業論文
	人間と社会			
	社会学基礎			
外国語科目	外国語ＡⅠ・ＡⅡ 外国語ＢⅠ・ＢⅡ	外国語ＣⅠ・ＣⅡ 外国語ＤⅠ・ＤⅡ 外国語ＥⅠ・ＥⅡ		
キャリア科目	ＲＫＵ入門 キャリアデザイン キャリア基礎Ⅰ・Ⅱ	キャリアマネジメント	キャリアカウンセリング インターンシップ基礎 インターンシップ	
教養基礎科目	心理学Ⅰ・Ⅱ 社会学Ⅰ・Ⅱ 関連科目Ⅰ・Ⅱ	現代文章論Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ 関連科目Ⅰ・Ⅱ	関連科目Ⅰ・Ⅱ 関連科目Ⅰ・Ⅱ 関連科目Ⅰ・Ⅱ	関連科目Ⅰ・Ⅱ 関連科目Ⅰ・Ⅱ
社会学科重点科目		地域社会学 経済社会学 産業社会学	マス・コミュニケーション論 社会階層論 社会システム論	
社会学科基本科目	社会調査法 社会調査実践法 心理学概論Ⅰ・Ⅱ			
方法論科目		計量社会学 社会統計学	質的調査法	
専門基礎科目		学習心理学 行動分析学 対人関係論 社会心理学 臨床心理学概説 実践臨床心理学 性格心理学 適応の心理	カウンセリング 産業組織心理学 学校心理学 親子関係の心理 発達心理学 児童心理学	関連科目Ⅰ・Ⅱ 関連科目Ⅰ・Ⅱ 関連科目Ⅰ・Ⅱ
		現代組織論 国際社会学 家族社会学Ⅰ・Ⅱ	地域づくりの社会学 市民社会政策論 社会病理学 ジェンダー論Ⅰ・Ⅱ	
認定心理士関連科目		心理学研究法Ⅰ・Ⅱ 消費者行動論Ⅰ・Ⅱ 家族心理学 健康心理学	心理学実験演習 心理データ解析 認知心理学 知覚心理学	

⑥ 心理学を勉強しながら副専攻でスポーツ健康科学も学びたい！

	1年生	2年生	3年生	4年生
必修科目	1年演習（ゼミ）	2年演習（ゼミ）	3年演習（ゼミ）	4年演習（ゼミ）
	情報基礎Ⅰ・Ⅱ	リベラルアーツ入門		卒業論文
	人間と社会			
	社会学基礎			
外国語科目	外国語ＡⅠ・ＡⅡ 外国語ＢⅠ・ＢⅡ	外国語ＣⅠ・ＣⅡ 外国語ＤⅠ・ＤⅡ 外国語ＥⅠ・ＥⅡ		
キャリア科目	ＲＫＵ入門 キャリアデザイン キャリア基礎Ⅰ・Ⅱ	キャリアマネジメント	キャリアカウンセリング インターンシップ基礎 インターンシップ	
教養基礎科目	心理学Ⅰ・Ⅱ 社会学Ⅰ・Ⅱ 関連科目Ⅰ・Ⅱ	現代文章論Ⅰ・Ⅱ スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ 関連科目Ⅰ・Ⅱ	健康科学論Ⅰ・Ⅱ 関連科目Ⅰ・Ⅱ 関連科目Ⅰ・Ⅱ	生涯スポーツの理論と実技 関連科目Ⅰ・Ⅱ
社会学科重点科目		地域社会学 経済社会学 産業社会学	マス・コミュニケーション論 社会階層論 社会システム論	
社会学科基本科目	社会調査法 社会調査実践法 心理学概論Ⅰ・Ⅱ			
方法論科目		計量社会学 社会統計学	質的調査法	
専門基礎科目		臨床心理学概説 実践臨床心理学 学習心理学 行動分析学 対人関係論 社会心理学	産業組織心理学 カウンセリング	関連科目Ⅰ・Ⅱ 関連科目Ⅰ・Ⅱ 関連科目Ⅰ・Ⅱ
		現代組織論 国際社会学 防災社会論 ジェンダー論Ⅰ・Ⅱ 家族社会学Ⅰ・Ⅱ	障害者福祉論 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ 地域づくりの社会学 市民社会政策論	
学部共通科目（スポーツ健康科学）		スポーツ心理学 コーチング論 スポーツ社会学 スポーツと国際関係	スポーツとメディア スポーツマネジメント論 スポーツと文化 スポーツ外傷・障害と予防	スポーツ栄養学Ⅰ 発育発達老化の理論・実習 トレーニング論

⑶　社会福祉学を中心とした履修モデル

社会福祉学は、おおむね二つの性格がある学問です。その一つは、「応用科学」、すなわち色々な学問をベースに成り立っている学問であるということでしょう。ですから、社会福祉学を修得するためには、他の先行する学問である「社会学」や「心理学」、「経済学」等を基礎として学ぶことが必要です。また、二つ目には、「実践科学」ということが挙げられるでしょう。社会福祉学を修得するだけではなく、その知識を社会や人のために役立てることが必要とされる学問です。これは、医学や保健学などと同様に、他の学問よりも強く社会福祉学に要請されているものです。

さて、みなさんが本学社会学科で社会福祉学を学ぶ場合、幸いにも社会福祉学の源流である「社会学」や「心理学」を基盤に学習できる環境が整っています。社会福祉学は、ここ100年弱の歴史しかありませんが、二つのことに注目して発展してきたといってもいいでしょう。一つは、どうすれば「社会全体が幸せになれるか」ということでした。しかし、「社会全体の幸せ」を考える場合、「社会とは何か」の解明なしにその方向性を見出すことはできません。ですから、社会福祉学はどうしても「社会学」や「経済学」から学ばなければなりませんでした。もう一つの注目点は、個人の人生を支援することです。人は、人生を歩む際に生きにくくなることがあります。たとえ、それが社会の仕組みに起因していても、「今・ここで」起きている問題を解決し、人は希望をもって「明日に向かって」歩んでいかなければなりません。人びとにふりかかるこうした問題に個人の生活レベルで援助し支援するために、社会福祉学は「心理学」から大いに学び、「ソーシャルワーク」として集大成してきました。

ソーシャル・ケースワーク（個別援助技術）の祖であるリッチモンドという人は、前者の視点に立った援助を「卸売り的方法」（社会改良）と呼び、後者の方法を「小売的方法」（ケースワーク）と名づけて、社会改良と個別援助の重要性を指摘しました。その意味で、社会福祉学を学ぶ意義は、社会の仕組みや働きを知り住みよい社会づくりを目指すことであり、さらに個人のより良い人生を支援することにあるといえるでしょう。

社会福祉を学ぶにあたっては、学科に用意された「社会学」及び「心理学」関連科目の両方を学習することが必要ですが、将来の進路に応じてどちらかを重点的に学習しておくことも大切です。一応、これは履修のモデルなので必ずこの通りに履修しなければならないということはありません。あくまで、今後の道案内として履修の参考にしてください。

⑷　保育学を中心とした履修モデル

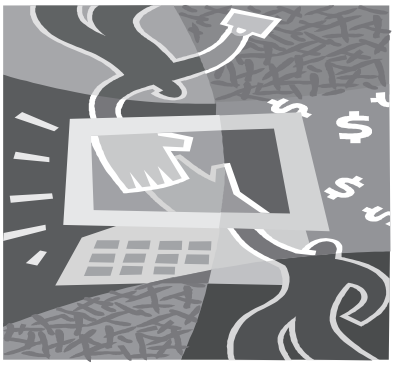
保育学では主に小学校に入る前の子どもや周囲の人々・環境について学びます。子どものことだけでなくて、保護者の子育て支援や子どもに関わる地域のことについても学ぶのです。ですから、保育学は教育学、社会福祉学、心理学、社会学と深く関係しています。

社会学科には保育士養成コースがあり、入学時に保育士養成コースを希望した学生は、保育園や児童福祉施設などで働く際に必要とされる資格、「保育士」の取得をめざすことができます。そのためには、①年度の初めにあらためて資格取得の意思を明らかにして、届けを出しましょう。②卒業までに必要な科目を履修して単位をとりましょう。講義科目のほかに、ピアノなどの実技科目や、保育所や児童福祉施設での実習など決められた単位をすべてとることができれば、卒業と同時に保育士資格を得ることができます。また、保育士資格と同時に社会福祉主事の資格も同時に取得しておきましょう。そうすれば、将来保育士の経験を積んで、保育者として指導的な役割を果たすことができます。

卒業するために必要な単位のほかに必修科目（必ずとらなければならない科目）が少なからずありますので、途中から保育士養成コースに入ることはできません。しかし、万一資格取得をあきらめる場合でも卒業することはできますが、その場合は早急に届けを出してください。なお、保育表現技術の体育・音楽・造形など授業の一部は、龍ケ崎キャンパスのみで行います。

社会福祉・保育系の教員（50 音順）

大橋純一（地域福祉論、福祉行財政と福祉計画論、社会調査実習）
川﨑　愛（社会的養護、家庭支援論、保健医療、保育実習Ⅱ）
下司優里（障害者福祉論、障害児保育、福祉運営管理、相談援助演習・実習）
佐藤克繁（社会福祉原論、ソーシャルワーク論、相談援助演習・実習）
田中　光（保育表現技術（体育）、保育内容演習（表現）、保育内容演習（健康））
村田典子（児童・家庭福祉論、社会福祉援助技術論（基礎理論）、相談援助演習・実習）
米原立将（保育原理、保育内容総論、保育内容演習（言葉）、保育実習Ⅰ）



⑦ 市役所や県庁また社会福祉協議会に勤務し、福祉行政や地域福祉の仕事をしたい！
—社会福祉を中心に社会学を勉強するモデル—

<table>
<tr><th></th><th>1年生</th><th>2年生</th><th>3年生</th><th>4年生</th></tr>
<tr><td rowspan="4">必修科目</td><td>1年演習（ゼミ）</td><td>2年演習（ゼミ）</td><td>3年演習（ゼミ）</td><td>4年演習（ゼミ）</td></tr>
<tr><td>情報基礎Ⅰ・Ⅱ</td><td>リベラルアーツ入門</td><td></td><td>卒業論文</td></tr>
<tr><td>人間と社会</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>社会学基礎</td></tr>
<tr><td>外国語科目</td><td>外国語ＡⅠ・ＡⅡ
外国語ＢⅠ・ＢⅡ</td><td>外国語ＣⅠ・ＣⅡ
外国語ＤⅠ・ＤⅡ
外国語ＥⅠ・ＥⅡ</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>キャリア科目</td><td>ＲＫＵ入門
キャリアデザイン
キャリア基礎Ⅰ・Ⅱ</td><td>キャリアマネジメント</td><td>インターンシップ基礎
インターンシップ</td><td></td></tr>
<tr><td>教養基礎科目</td><td>＊心理学Ⅰ・Ⅱ
＊社会学Ⅰ・Ⅱ
関連科目Ⅰ・Ⅱ</td><td>宗教学Ⅰ・Ⅱ
民俗学Ⅰ・Ⅱ
関連科目Ⅰ・Ⅱ
＊法学Ⅰ・Ⅱ</td><td>関連科目Ⅰ・Ⅱ</td><td></td></tr>
<tr><td>社会学科重点科目</td><td></td><td colspan="3">地域社会学　経済社会学　社会階層論　産業社会学
マス・コミュニケーション論　社会システム論</td></tr>
<tr><td>方法論科目</td><td></td><td colspan="3">計量社会学　質的調査法　社会統計学　社会データ解析</td></tr>
<tr><td rowspan="3">専門基礎科目</td><td rowspan="3">社会学概論
社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ
社会調査法
社会調査実践法</td><td>老人福祉論
児童・家庭福祉論
障害者福祉論</td><td rowspan="2">福祉運営管理
就労支援
保健医療
公的扶助論
福祉行財政と福祉計画論
介護福祉論
社会保障論Ⅰ・Ⅱ
地域福祉論Ⅰ・Ⅱ</td><td rowspan="3">関連科目</td></tr>
<tr><td>地域空間論
社会病理学
家族社会学Ⅰ・Ⅱ
地域社会学
地域空間論
教育社会学Ⅰ・Ⅱ
社会的養護
家庭支援論</td></tr>
<tr><td>防災社会論
市民社会政策論
カウンセリング
現代組織論
人口論
社会的養護内容
乳児保育</td></tr>
<tr><td rowspan="2">社会福祉士関連科目</td><td rowspan="2"></td><td colspan="3">ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ、社会福祉援助技術論（基礎理論）Ⅰ・Ⅱ、
社会福祉援助技術論（実践応用）Ⅰ・Ⅱ、医学一般、
社会保障法Ⅰ・Ⅱ＊、社会福祉法概論Ⅰ・Ⅱ＊</td></tr>
<tr><td>相談援助演習Ⅰ</td><td>相談援助演習Ⅱ
相談援助実習指導
相談援助実習</td><td>相談援助演習Ⅲ
相談援助実習指導
相談援助実習</td></tr>
<tr><td>学部共通科目</td><td></td><td>＊刑法（総論）Ⅰ</td><td></td><td></td></tr>
</table>

＊ 教養基礎科目の「法学Ⅰ・Ⅱ」「社会学Ⅰ・Ⅱ」「心理学Ⅰ・Ⅱ」と学部共通科目の「刑法(総論)Ⅰ」は社会福祉士指定科目

⑧ 病院や社会福祉施設で相談業務の仕事をしたい！
―社会福祉を中心に心理学を勉強するモデル―

<table>
<tr><th></th><th>1年生</th><th>2年生</th><th>3年生</th><th>4年生</th></tr>
<tr><td rowspan="4">必修科目</td><td>1年演習（ゼミ）</td><td>2年演習（ゼミ）</td><td>3年演習（ゼミ）</td><td>4年演習（ゼミ）</td></tr>
<tr><td>情報基礎Ⅰ・Ⅱ</td><td>リベラルアーツ入門</td><td></td><td>卒業論文</td></tr>
<tr><td>人間と社会</td><td></td><td></td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>社会学基礎</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>外国語科目</td><td>外国語ＡⅠ・ＡⅡ
外国語ＢⅠ・ＢⅡ</td><td>外国語ＣⅠ・ＣⅡ
外国語ＤⅠ・ＤⅡ
外国語ＥⅠ・ＥⅡ</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>キャリア科目</td><td>ＲＫＵ入門
キャリアデザイン
キャリア基礎Ⅰ・Ⅱ</td><td>キャリアマネジメント</td><td>インターンシップ基礎
インターンシップ</td><td></td></tr>
<tr><td>教養基礎科目</td><td>＊心理学Ⅰ・Ⅱ、
＊社会学Ⅰ・Ⅱ
関連科目Ⅰ・Ⅱ</td><td>宗教学Ⅰ・Ⅱ
民族学Ⅰ・Ⅱ
＊法学Ⅰ・Ⅱ
関連科目Ⅰ・Ⅱ</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>社会学科重点科目</td><td></td><td colspan="3">地域社会学　経済社会学　社会階層論　産業社会学
マス・コミュニケーション論　社会システム論</td></tr>
<tr><td>方法論科目</td><td></td><td colspan="3">計量社会学　質的調査法　社会統計学　社会データ解析</td></tr>
<tr><td>専門基礎科目</td><td>心理学概論Ⅰ・Ⅱ
社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ</td><td>老人福祉論
児童・家庭福祉論
障害者福祉論
臨床心理学概説
学習心理学
行動分析学
適応の心理学
性格心理学
社会心理学
対人関係論
実践臨床心理学
社会病理学
社会的養護
家庭支援論</td><td>福祉運営管理
就労支援
保健医療
公的扶助論
福祉行財政と福祉計画論
介護福祉論
社会保障論Ⅰ・Ⅱ
地域福祉論Ⅰ・Ⅱ
カウンセリング
発達心理学
教育心理学
産業組織心理学
社会的養護内容
人口論</td><td>関連科目</td></tr>
<tr><td rowspan="2">社会福祉士関連科目</td><td rowspan="2"></td><td colspan="3">ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ、社会福祉援助技術論（基礎理論）Ⅰ・Ⅱ、
社会福祉援助技術論（実践応用）Ⅰ・Ⅱ、医学一般、社会保障法Ⅰ・Ⅱ＊、
社会福祉法概論Ⅰ・Ⅱ＊</td></tr>
<tr><td>相談援助演習Ⅰ</td><td>相談援助演習Ⅱ
相談援助実習指導
相談援助実習</td><td>相談援助演習Ⅲ
相談援助実習指導
相談援助実習</td></tr>
<tr><td>学部共通科目</td><td></td><td>＊刑法（総論）Ⅰ</td><td></td><td></td></tr>
</table>

＊ 教養基礎科目の「法学Ⅰ・Ⅱ」「社会学Ⅰ・Ⅱ」「心理学Ⅰ・Ⅱ」と学部共通科目の「刑法(総論)Ⅰ」は社会福祉士指定科目

⑨ 保育士になりたい！

	1年生	2年生	3年生	4年生
必修科目	1年演習（ゼミ）	2年演習（ゼミ）	3年演習（ゼミ）	4年演習（ゼミ）
	情報基礎Ⅰ・Ⅱ	リベラルアーツ入門		卒業論文
	人間と社会			
	社会学基礎			
外国語科目	外国語ＡⅠ・ＡⅡ 外国語ＢⅠ・ＢⅡ	外国語ＣⅠ・ＣⅡ 外国語ＤⅠ・ＤⅡ 外国語ＥⅠ・ＥⅡ		
キャリア科目	ＲＫＵ入門 キャリアデザイン キャリア基礎Ⅰ・Ⅱ	キャリアマネジメント	インターンシップ基礎 インターンシップ	
教養基礎科目	法学Ⅰ・Ⅱ　その他関連科目Ⅰ・Ⅱ			
社会学科 重点科目		地域社会学　経済社会学　社会階層論　産業社会学 マス・コミュニケーション論　社会システム論		
方法論科目		計量社会学　質的調査法　社会統計学　社会データ解析		
保育士科目 （必修）	社会福祉原論Ⅰ 保育原理Ⅰ・Ⅱ 保育表現技術（体育）Ⅰ 保育表現技術（音楽）Ⅰ・Ⅱ 保育表現技術（造形）Ⅰ ＊教育原理 ＊英会話ＡⅠ・Ⅱ ＊選択スポーツトレーニング実技ⅠもしくはⅡ	子どもの保健Ⅰ・Ⅱ 子どもの保健演習 子どもの食と栄養 家庭支援論 保育内容総論 保育内容演習（健康） 保育内容演習（人間関係） 保育内容演習（環境） 保育内容演習（言葉） 保育内容演習（表現） 相談援助演習Ⅰ 社会的養護 社会的養護内容 ＊保育実習事前指導 保育の心理学Ⅰ 障害児保育	保育相談支援 保育課程論 乳児保育 ＊保育実習Ⅰ ＊保育実習Ⅱ ＊保育実習指導Ⅰ ＊保育実習指導Ⅱ 児童・家庭福祉論 保育の心理学Ⅱ ＊スポーツ科学ⅠもしくはⅡ	保育実践演習 ＊保育実習Ⅲもしくは Ⅳ ＊保育実習指導Ⅲ・Ⅳ
保育士科目 （選択必修）	健康科学論Ⅰ・Ⅱ ○心理学Ⅰ・Ⅱ ○社会学Ⅰ・Ⅱ	保育表現技術Ⅱ（体育） 保育表現技術Ⅲ（音楽） 保育表現技術Ⅱ（造形） 社会福祉援助技術論 （基礎理論）Ⅰ・Ⅱ		
		地域福祉論Ⅰ・Ⅱ　障害者福祉論　学習心理学 性格心理学　家族社会学Ⅰ・Ⅱ　カウンセリング 行動分析学　適応の心理		

＊印の科目は、社会学科の課程表上は選択科目群であるが、保育士資格を取得するためには必修科目となっている。○は教養基礎科目であり、社会福祉主事科目。

⑸　資格取得のための科目履修

専門科目の学習の中心は２年生からですが、それぞれの学問に関わる資格を取得するには２年生からでは遅いものもあります。４つの核となる学問に関わる代表的な資格としては、

「社会学」：社会調査士

「心理学」：ピアヘルパー、認定心理士

「社会福祉学」：社会福祉士

「保育学」：保育士

などがあります。これらの資格を取得するには、１年生からの計画的な履修が必要です。

資格については、「22.　資格の取得について」を読んでください。

国際観光学科履修モデル

<table>
<tr><th></th><th colspan="2">科目種類</th><th colspan="4">科目名</th></tr>
<tr><td rowspan="6">1
学
年</td><td colspan="2">必修</td><td colspan="4">社会学概論、観光学概論、
1年演習
情報基礎、観光英語Ⅰ・Ⅱ
外国語（英語）、（外）日本語、英語</td></tr>
<tr><td colspan="2">外国語</td><td colspan="4">英語
英語以外の外国語</td></tr>
<tr><td colspan="2">旅行実務基礎</td><td colspan="4">旅行業務論（業法、約款、国内料金、GDS中級）Ⅰ・Ⅱ、旅行業務論（国内地理）</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャリア</td><td colspan="4">RKU入門、キャリアデザイン、キャリアマネジメント、海外研修</td></tr>
<tr><td colspan="2">教養基礎</td><td>言葉や思想に
関する領域</td><td>社会や健康に
関する領域</td><td>自然や環境に
関する領域</td><td>歴史や文学に
関する領域</td></tr>
<tr><td colspan="2">履修モデル</td><td colspan="2">観光関連サービス</td><td>地域振興</td><td>国際交流</td></tr>
<tr><td rowspan="13">2
学
年
以
降</td><td colspan="2">必修</td><td colspan="4">リベラルアーツ入門
2年・3年・4年演習
卒業論文</td></tr>
<tr><td colspan="2">社会学
基礎</td><td colspan="4">産業社会学、経済社会学、国際社会学、社会システム論、社会階層論、
マス・コミュニケーション論、余暇社会学、心理学概論Ⅰ・Ⅱ、
文化人類学</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">観光基礎</td><td colspan="4">観光心理学、観光社会学、観光人類学</td></tr>
<tr><td colspan="2">観光産業論
観光行動論
観光教育論</td><td colspan="2">観光事業論
観光政策論
観光資源論</td><td>観光交流論
文化と観光
観光地理</td></tr>
<tr><td colspan="2">社会心理学
対人関係論</td><td colspan="2">地域社会学</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">旅行実務基礎</td><td colspan="4">旅行業務論（国際運賃・料金、海外旅行実務、GDS上級）Ⅰ・Ⅱ、旅行業務論（海外地理）
※旅行業務論（GDS上級）は、旅行業務論（GDS中級）の単位取得後に受講可とする。ただし、2014年度以前の入学生については、旅行業務論（CRS・国内／国際）のいずれかの単位を取得していれば受講可とする。</td></tr>
<tr><td colspan="2">観光実践</td><td colspan="4">観光研修、観光インターンシップ
ホスピタリティ論及び実践</td></tr>
<tr><td rowspan="5">学部共通</td><td>経済</td><td colspan="4">日本経済史Ⅰ・Ⅱ、西洋経済史Ⅰ・Ⅱ、交通論Ⅰ・Ⅱ</td></tr>
<tr><td>経営</td><td colspan="4">経営学総論Ⅰ・Ⅱ、流通概論Ⅰ・Ⅱ、会計学総論Ⅰ・Ⅱ、</td></tr>
<tr><td>流通情報</td><td colspan="4">情報学概論Ⅰ・Ⅱ、ヒューマンインターフェイス論、情報科学Ⅰ・Ⅱ</td></tr>
<tr><td>法学</td><td colspan="4">政治学Ⅰ・Ⅱ、</td></tr>
<tr><td>スポーツ
健康科学</td><td colspan="4">スポーツ社会学、スポーツ心理学、スポーツと政治、トレーニング論、
スポーツとメディア、スポーツマネジメント論、スポーツと政治、コーチング論、
スポーツと国際関係、スポーツと法、スポーツと文化</td></tr>
<tr><td colspan="2">履修モデル</td><td colspan="2">観光関連サービス</td><td>地域振興</td><td>国際交流</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th></th><th colspan="2">科目種類</th><th colspan="3">科目名</th></tr>
<tr><td rowspan="6">3・4学年</td><td colspan="2">観光基礎・実践</td><td>空間観光論
危機管理と法
旅行産業論
旅行サービス論
交通サービス論
航空・空港事業論
ホテルマネジメント論
リゾートマネジメント論
産業組織心理学
現代組織論</td><td>観光と法
まちづくりと法
地域づくりの社会学
開発社会学
地域空間論
市民社会政策論
防災社会論
家族社会学Ⅰ・Ⅱ</td><td>グローバル化と文化
南欧文化論
西欧文化論
アメリカ文化論
アジア社会論
国際法Ⅰ・Ⅱ</td></tr>
<tr><td rowspan="4">学部共通</td><td>経済</td><td colspan="3">財政学Ⅰ・Ⅱ、国際経済論Ⅰ・Ⅱ、社会保障論Ⅰ・Ⅱ、日本経済論Ⅰ・Ⅱ、
金融論Ⅰ・Ⅱ、産業組織論Ⅰ・Ⅱ</td></tr>
<tr><td>経営</td><td colspan="3">事業創造論Ⅰ・Ⅱ、流通政策論Ⅰ・Ⅱ、人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ、
経営情報論、事業戦略論、マーケティング論Ⅰ・Ⅱ、管理会計論Ⅰ・Ⅱ</td></tr>
<tr><td>流通情報</td><td colspan="3">通信ネットワーク概論、流通情報システム論Ⅰ・Ⅱ、
ロジスティクスビジネス論Ⅰ・Ⅱ、災害ロジスティクス論</td></tr>
<tr><td>法学</td><td colspan="3">憲法Ⅰ・Ⅱ、民法（財産法）Ⅰ・Ⅱ、商法（会社法）Ⅰ・Ⅱ、
経済法Ⅰ・Ⅱ、労働法Ⅰ・Ⅱ</td></tr>
</table>

2016年（平成28年）4月発行

社 会 学 部

履　修　要　綱

流通経済大学

RKU

http://www.rku.ac.jp